

資料 1

第41回評価委員会
村田町竹の内地区産業廃棄物最終処分場
生活環境影響調査報告書
(案)

令和7年9月1日

宮 城 県

目次

■生活環境影響調査	1
1. 生活環境影響調査の概要	1
1.1 調査実施期間	1
1.2 調査項目	1
2. 環境モニタリングの結果	8
2.1 生活環境保全上の支障の有無の把握に関する環境モニタリング	8
2.1.1 大気環境調査	8
2.1.2 硫化水素連続調査	9
2.1.3 放流水及び河川水水質調査	9
2.1.4 バイオモニタリング	10
2.2 処分場内廃棄物により汚染された浸透水の地下水への拡散又はそのおそれの把握に関する環境モニタリング	11
2.2.1 浸透水及び地下水水質調査	11
2.3 処分場内の状況把握に関する環境モニタリング	13
2.3.1 発生ガス調査	13
2.3.2 地中温度及び地下水位調査	14
2.3.3 多機能性覆土状況調査及び地表ガス調査	15
2.4 環境モニタリングの評価（総括）	16
< 資料 >	17
■生活環境影響調査結果（詳細）	17
1. 大気環境調査	17
1.1 大気環境調査結果表	17
1.2 県内他地域及び全国平均と処分場の大気環境調査結果の比較表	18
1.3 これまでの大気環境調査結果との比較表	18
1.4 大気環境調査結果図	19

1.4.1 大気環環境調査測定結果図（地点毎）	19
1.4.2 大気環境調査測定結果図（項目毎）	21
1.5 硫化水素連続調査結果表	26
1.6 硫化水素連続調査結果図	27
2. 放流水及び河川水水質調査	28
2.1 放流水及び河川水水質測定結果表	28
2.1.1 放流水及び河川水水質測定結果表	28
2.1.2 放流水及び河川水水質測定結果図	29
3. バイオモニタリング調査	38
3.1 バイオモニタリング調査結果	38
4. 浸透水及び地下水水質調査	39
4.1 浸透水及び地下水水質測定結果表	39
4.1.1 浸透水及び地下水水質測定結果表	39
4.1.2 浸透水及び地下水水質調査結果表（ダイオキシン類）	44
4.2 浸透水及び地下水水質測定結果図	48
5. 発生ガス調査	65
5.1 発生ガス調査結果表	65
5.2 これまでの発生ガス調査結果との比較	67
5.3 発生ガス調査結果図	68
6. 地中温度及び地下水位調査	71
6.1 地中温度調査	71
6.1.1 地中温度測定結果表	71
6.1.2 地中温度平均値変化図	72
6.1.3 地中温度測定結果図	73
6.2 地下水位調査	78
6.2.1 地下水位調査結果表	78
6.2.2 北側測線(旧工区)の地下水・浸透水の水位図	80
6.2.3 南側測線(新～旧工区)の地下水・浸透水の水位図	81

6.2.4 その他地点の地下水・浸透水の水位図	82
6.2.5 日降雨量一覧表	83
6.2.6 多機能性覆土状況及び地表ガス調査	85
■最終処分場の廃止基準項目等とその経年変化（～令和7年3月）	88
1. 廃棄物処理法による最終処分場の廃止基準及び達成状況	88
1.1 最終処分場の廃止基準及び達成状況一覧表	88
1.2 廃棄物処理法基準及び地下水環境基準一覧表	89
2. 廃棄物処理法による最終処分場の廃止基準項目等の経年変化	90
2.1 鉛	90
2.2 硒素	91
2.3 1,4-ジオキサン	92
2.4 BOD	93
2.5 ほう素	94
2.6 ふつ素	95
2.7 ダイオキシン類	96
2.8 発生ガス量	97
2.9 硫化水素濃度	98
2.10 メタン濃度	99
2.11 地中温度	100
■水族環境診断法（AOD 試験）の概要	101
1. 調査対象及び供試魚	101
2. 試料の調整	101
3. 毒性試験	101
4. AOD 値の評価	101

■ 生活環境影響調査

1. 生活環境影響調査の概要

村田町竹の内地区産業廃棄物最終処分場（以下、「処分場※」という。）に係る処分場内廃棄物による周辺の生活環境への影響を把握し、地域住民の安全安心を確保するために、生活環境影響調査（以下、「環境モニタリング」という。）を実施したものである。

本報告では、令和6年10月から令和7年3月まで実施した環境モニタリングの結果を示す。

※ 平成2年に安定型産業廃棄物最終処分場として設置されたが、その後、産業廃棄物処理基準に適合しない処分がなされ、平成13年5月に埋立処分が終了した。

1.1 調査実施期間

令和6年10月から令和7年3月まで。

1.2 調査項目

モニタリング計画は、表Ⅰに示すとおりである。調査実施期間における調査実績は表Ⅱに示すとおりである。

なお、各調査の調査位置は、図Ⅰ～図VIIに示した。

表 I モニタリング計画

調査目的	調査名	調査項目		調査地点数	調査箇所	調査頻度等			
処分場による生活環境保全上の支障の有無の把握	大気環境調査	大気環境基準項目	塩化ビニルモマ、1,3-ブタジエン、ジクロロメタン、アクリロトリル、クロロホルム、1,2-ジクロロエタン、ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、水銀及びその化合物	2 地点	処分場内 村田町役場	年 1 回			
		その他項目	硫化水素、メタン、アンモニア						
	硫化水素連続調査	硫化水素、風向、風速		2 地点	処分場内敷地境界 村田第二中学校	通年 (30 秒毎に 24 時間連続測定)			
	放流水水質調査	排水基準項目	1,4-ジオキサン、水素イオン濃度 (pH) 鉛及びその化合物、砒素及びその化合物、ほう素及びその化合物、ふつ素及びその化合物、アンモニア等(アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物)、生物化学的酸素要求量 (BOD)、浮遊物質量 (SS)、ノルマルヘキサン抽出物質含有量(鉱油類含有量)、ノルマルヘキサン抽出物質含有量(動植物油脂類含有量)、フェノール含有量、亜鉛含有量、溶解性鉄含有量、溶解性マンガン含有量、大腸菌群数、ダ付キシ類	1 地点	放流水採取地点	年 4 回			
		その他項目	溶存酸素量 (DO)、塩化物イオン、硫酸イオン、水温、透視度、流量、電気伝導率						
	河川水水質調査	環境基準健康項目	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、1,4-ジオキサン	2 地点	荒川上流側 荒川下流側	年 4 回			
		環境基準生活環境項目	鉛、砒素、ふつ素、ほう素						
		pH、生物化学的酸素要求量 (BOD)、浮遊物質量 (SS)、溶存酸素量 (DO)							
		大腸菌数							
		その他項目	アンモニア(アンモニア、アンモニウム化合物)、塩化物イオン、硫酸イオン、水温、透視度、流量、電気伝導率						
	バイオモニタリング	AOD 試験 ^{*1} による半数致死濃度 (^{*1} :水族環境診断法 : Aquatic Organisms environment Diagnostics)		2 地点	荒川上流側 荒川下流側	年 1 回			
処分場内廃棄物により汚染された浸透水等の地下水の拡散又はそのおそれの把握	浸透水及び地下水水質調査	地下水等検査項目	鉛、砒素、1,4-ジオキサン 総水銀、六価鉛、1,2-ジクロロエタン、ベンゼン、塩化ビニルモマ、アルキル水銀、カドミウム、全シアン、ホリ塩化ビニル、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロベンゼン、チカラム、シマジン、チオベンカルブロ、セレン	21 地点	浸透水 11 地点 No.3b、No.5b、H16-3、H16-5、H16-6、H16-10、H16-11、H16-13、H17-15、H26-3a、H26-3b 地下水 10 地点 Loc.1、Loc.1a、Loc.1b、Loc.3、H16-1b、H16-15、H17-19、H26-1a、H26-1b、H26-2 ※ 平成 28 年 2 月より調査箇所を、No.3 及び No.5 を No.3b 及び No.5b へ変更	年 4 回 年 1 回 (浸透水のみ) 年 4 回 年 2 回 年 1 回			
			BOD、pH、SS、ほう素、ふつ素、アンモニア(アンモニア、アンモニウム化合物)、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、塩化物イオン、硫酸イオン、水温、電気伝導率、酸化還元電位						
			ダ付キシ類 (H16-1b を除く)						
		その他項目	重炭酸イオン、硫化物イオン						
処分場の状況の把握	発生ガス調査	発生ガス	発生ガス量、メタン、二酸化炭素、硫化水素、酸素、孔内温度 (管頭下 1m)、気象 (気温、気圧)	17 地点	No.3、No.3a、No.3b、No.5、No.5a、No.5b、H16-3、H16-5、H16-6、H16-10、H16-11、H16-13、H17-15、H26-3a、H26-3b、7-2、7-4	月 1 回			
	地中温度調査	鉛直方向 1 m 毎の温度、帶水域の温度		10 地点	廃棄物埋立区域内 9 地点 No.3、No.5、H16-3、H16-5、H16-6、H16-10、H16-11、H16-13、H17-15 廃棄物埋立区域外 1 地点 Loc.1a	年 2 回			
	地下水位調査	地下水位、降雨量		21 地点	廃棄物埋立区域内 11 地点 No.3、No.5、H16-3、H16-5、H16-6、H16-10、H16-11、H16-13、H17-15、H26-3a、H26-3b 廃棄物埋立区域外 10 地点 Loc.1、Loc.1a、Loc.1b、Loc.3、Loc.4、H16-15、H17-19、H26-1a、H26-1b、H26-2	通年 (1 時間毎に 24 時間連続測定)			
	多機能性覆土状況調査	硫化水素		26 地点	多機能性覆土施工箇所 13 地点 A-1、A-2、A-3、A-4、A-5、A-6、B-1、B-2、B-3、B-4、B-5、B-6、B-7 多機能性覆土隣接地等 13 地点	年 1 回			
	地表ガス調査			5 地点	平成 22 年度表層ガス調査において、比較的高いガス濃度の硫化水素が検出された地点の周辺				

表Ⅱ 令和6年度環境モニタリングの実績

調査名	調査地点	調査頻度等	令和6年度調査											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
大気環境調査	2地点 (処分場内、村田町役場)	年1回										●		
硫化水素連続調査	2地点 (処分場内敷地境界1、村田第二中学校)	24時間連続	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
放流水水質調査	1地点 (放流水採取地点)	年4回 ※1 1,4-ジオキサン、pH		●			●			●			●	●
		年1回 ※2 ダイオキシン類は7月に実施					●							
河川水水質調査	2地点 (荒川上流、荒川下流)	年4回		●			●			●		●		
		年1回 ※3 鉛、砒素、ふつ素、ほう素、大腸菌数					●							
バイオモニタリング	2地点 (荒川上流、荒川下流)	年1回									●			
浸透水及び地下水水質調査	浸透水 11地点 (No3b, No5b, H16-3, H16-5, H16-6, H16-10, H16-11, H16-13, H17-15, H26-3a, H26-3b)	年4回		●			●			●		●		
	地下水 10地点 (Loc. 1, Loc. 1a, Loc. 1b, Loc. 3, H16-15, H16-1b, H17-19, H26-1a, H26-1b, H26-2)	年1回 (浸透水のみ)		●										
	※4 H16-1bはダイオキシン類を除く ※5 平成28年2月より調査箇所を、No.3及びNo.5をNo.3b及びNo.5bへ変更	ダイオキシン類は年2回		●				●						
発生ガス調査	17地点 (No.3, No.3a, No.3b, No.5, No.5a, No.5b, H16-3, H16-5, H16-6, H16-10, H16-11, H16-13, H17-15, H26-3a, H26-3b)	月1回	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
地中温度調査	廃棄物埋立区域内 9地点 (No.3, No.5, H16-3, H16-5, H16-6, H16-10, H16-11, H16-13, H17-15) 廃棄物埋立区域外 1地点 (Loc. 1a)	年2回						●				●		
地下水位調査	廃棄物埋立区域内 11地点 (No.3, No.5, H16-3, H16-5, H16-6, H16-10, H16-11, H16-13, H17-15, H26-3a, H26-3b) 廃棄物埋立区域外 10地点 (Loc. 1, Loc. 1a, Loc. 1b, Loc. 3, Loc. 4, H16-15, H17-19, H26-1a, H26-1b, H26-2)	通年(1時間毎)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
多機能性覆土状況調査	多機能性覆土施工箇所 13地点 (A-1, A-2, A-3, A-4, A-5, A-6, B-1, B-2, B-3, B-4, B-5, B-6, B-7) 多機能性覆土隣接地等 13地点	年1回									●			
地表ガス調査	5地点 (平成22年度表層ガス調査において、比較的高いガス濃度の硫化水素が検出された地点)	年1回									●			

● : 調査済み

◆ : 調査予定



右下図：国土地理院発行 5 万分の 1 地形図「白石」を加工

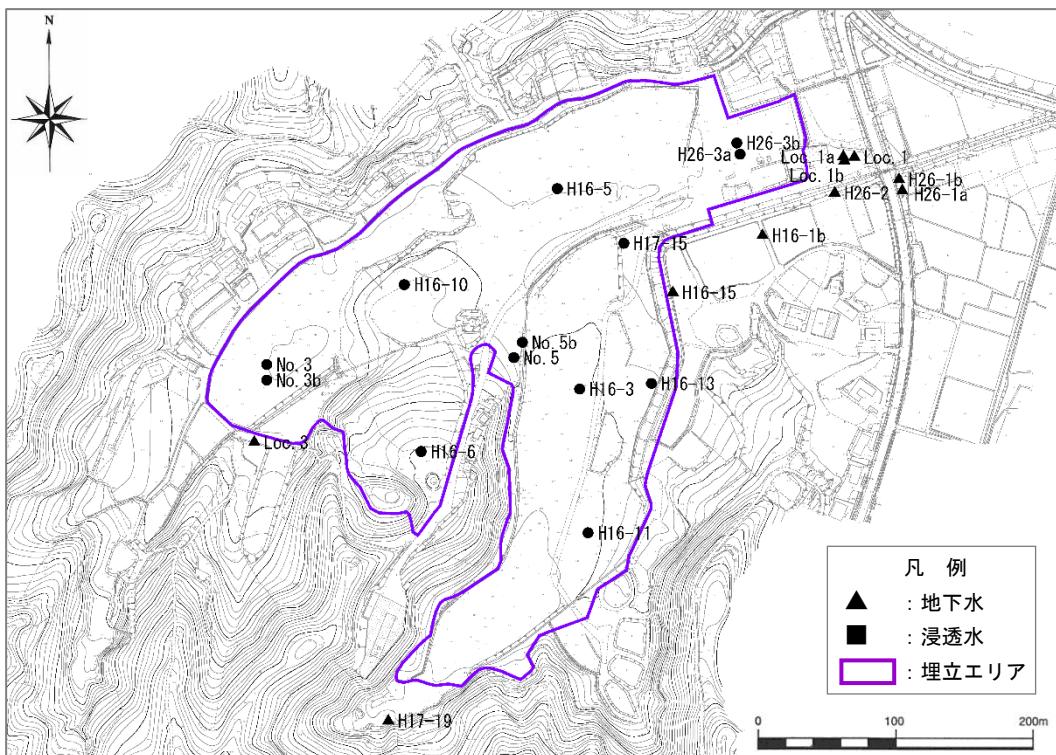
図 I 大気環境調査及び硫化水素連続調査地点図



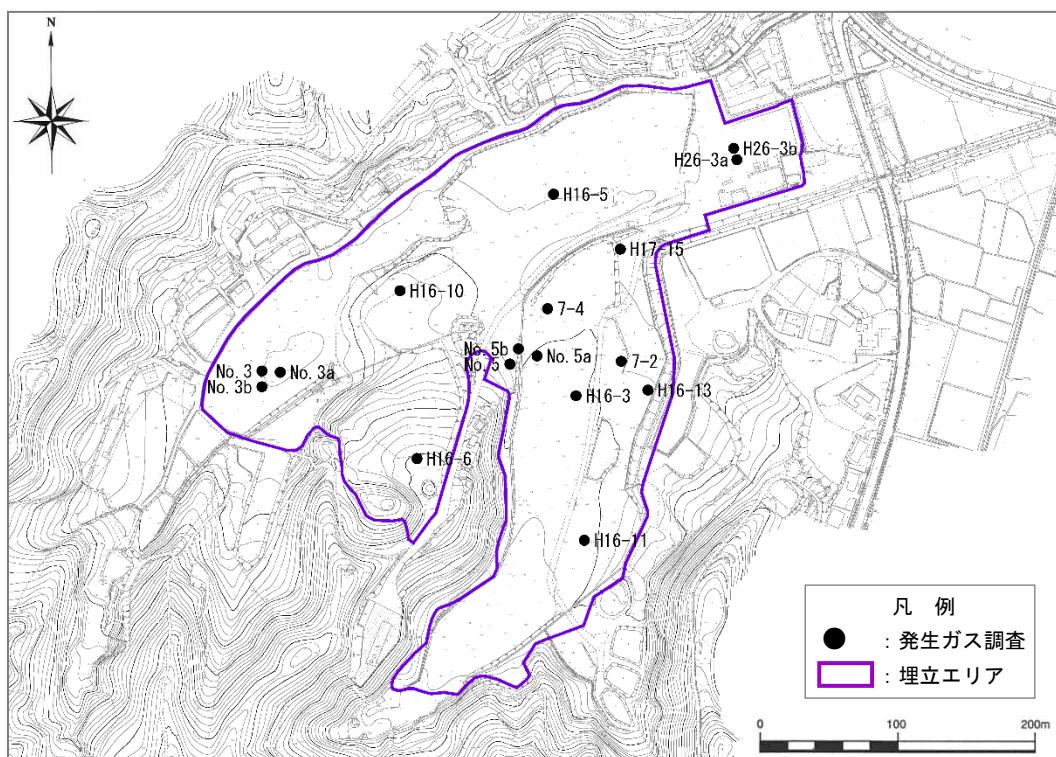
村田町都市計画基本図（2千5百分の1）を加工

放流水は平成 25 年 5 月より、三段池から放流された直後の側溝入口の水を採水

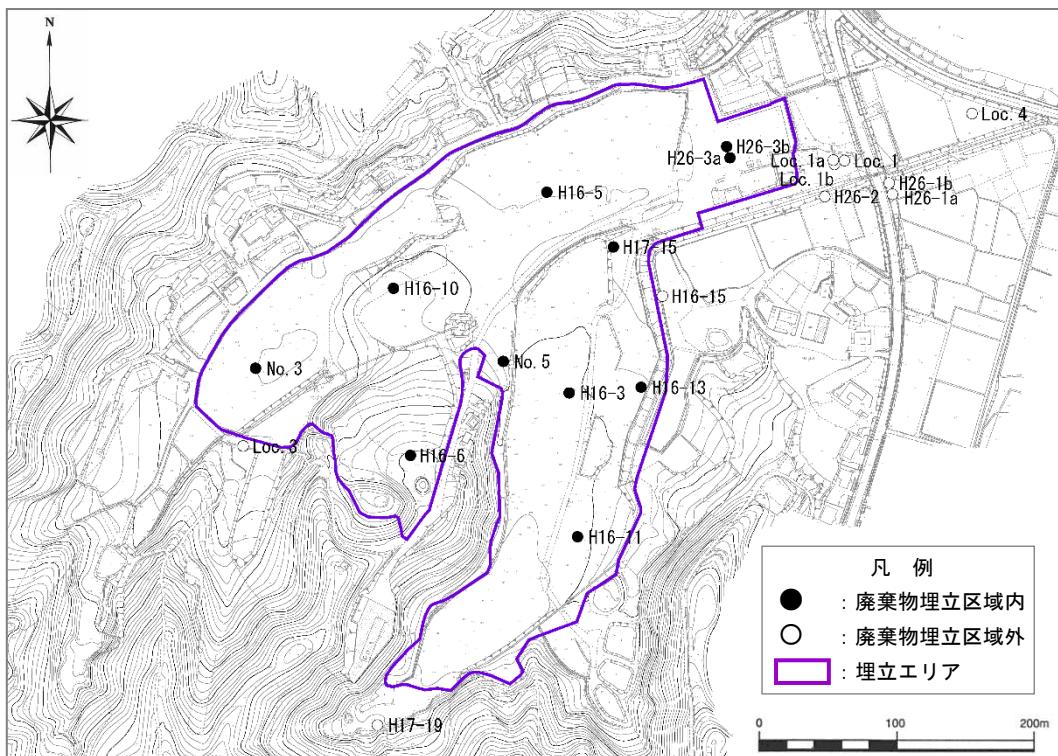
図 II 放流水及び河川水の水質調査、バイオモニタリング地点図



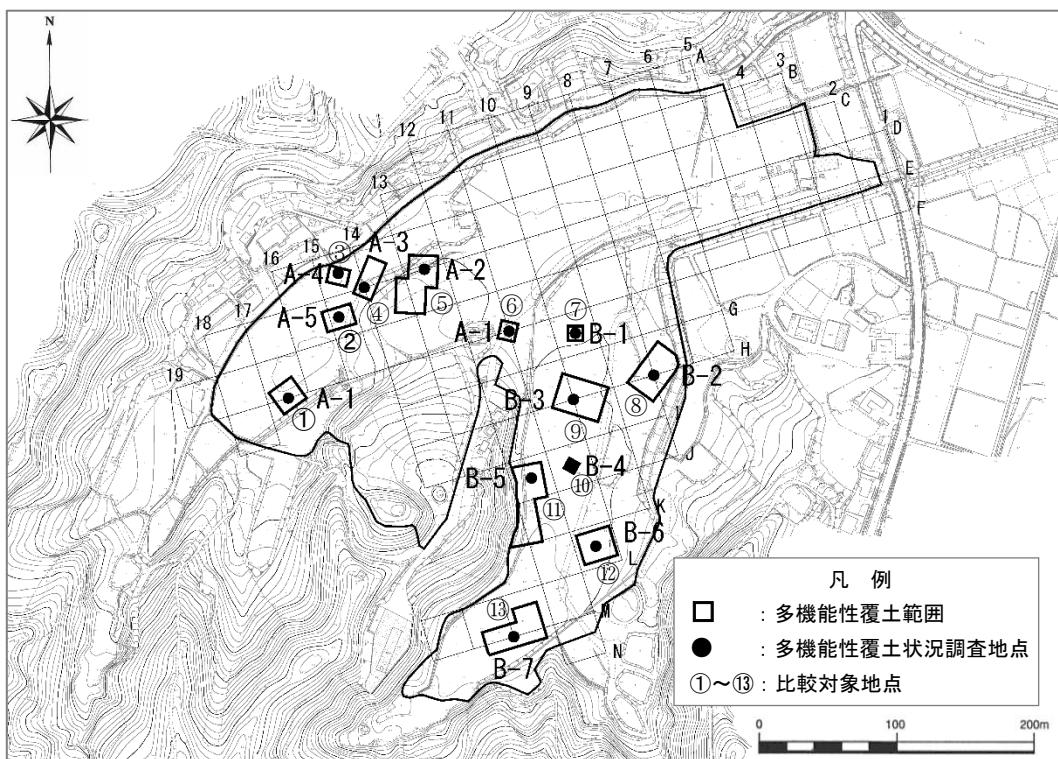
図III 滲透水及び地下水水質調査地点図



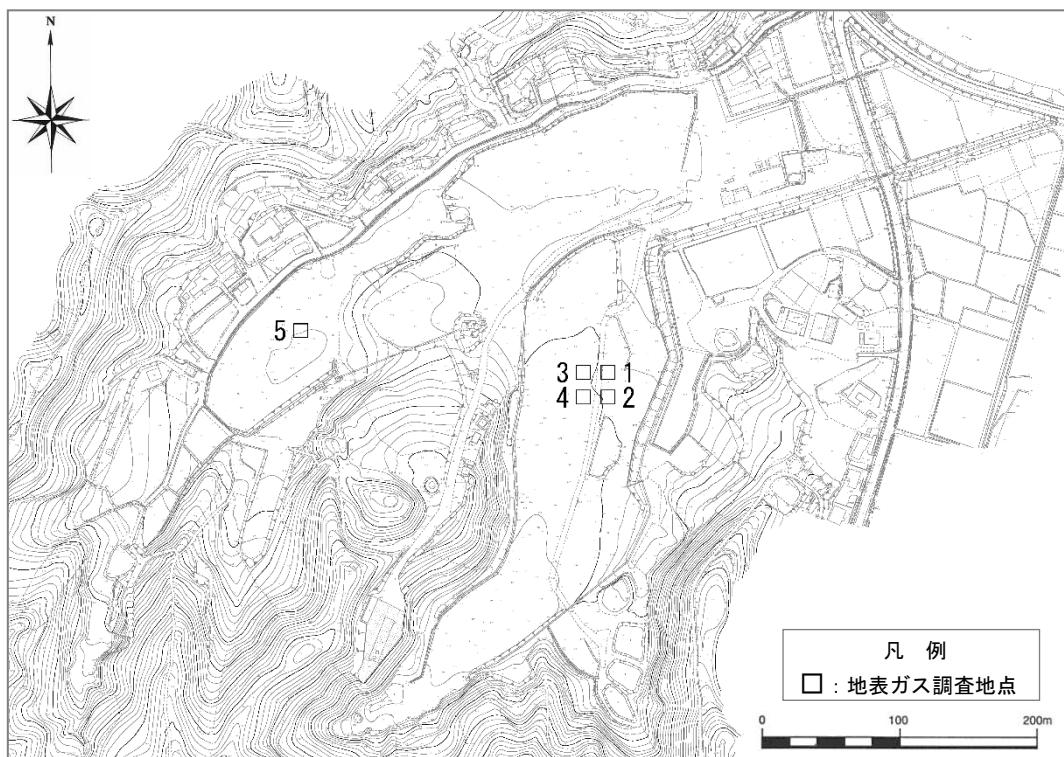
図IV 発生ガス調査地点図



図V 地中温度及び地下水位調査地点図



図VI 多機能性覆土状況調査地点図



図VII 地表ガス調査地点図

2. 環境モニタリングの結果

本調査期間における環境モニタリング結果の概要を以下に示す。

2.1 生活環境保全上の支障の有無の把握に関する環境モニタリング

2.1.1 大気環境調査

処分場の発生ガスによる生活環境保全上の支障の有無を把握するため、令和7年1月の1回、処分場内と対照地点（処分場から4km以上離れた村田町役場）の2地点で大気環境調査を実施した。調査項目は13物質とし、環境基準が定められている4物質（ジクロロメタン、ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン）、指針値が定められている6物質（塩化ビニルモノマー、1,3-ブタジエン、アクリロニトリル、クロロホルム、1,2-ジクロロエタン、水銀及びその化合物）については、基準値や指針値及び対照地点と比較し、その他の3物質（硫化水素、メタン、アンモニア）については、対照地点と比較した。その結果は、次のとおりであった。

調査結果を表1-1、表1-3及び図1-1～図1-17、県内他地域及び全国平均と処分場の大気調査結果の比較を表1-2に示す。

- 処分場内の調査地点における環境基準が定められている4物質の濃度は、いずれも環境基準を満たしており、対照地点と同程度の値であった。
- 処分場内の調査地点における指針値が定められている6物質の濃度は、いずれも指針値を満たしており、対照地点と同程度の値であった。
- 環境基準又は指針値が定められている10物質について、県内の有害大気汚染物質モニタリング地点（8地点）における令和3年度の測定結果と比較すると、ほぼ同程度の濃度レベルであった。
- 処分場内の調査地点における硫化水素濃度は、定量下限値※（0.0001ppm）よりもわずかに高い値が検出されたが、悪臭防止法に定める硫化水素濃度の規制基準として示される濃度範囲のうち最も厳しい濃度である0.02ppmを下回る値であった。
- 処分場の発生ガスが大気環境に及ぼす影響は、ほとんどないものと考えられる。

※ 炎光光度検出器（FPD）付ガスクロマトグラフによる測定における定量下限値

2.1.2 硫化水素連続調査

硫化水素による生活環境保全上の支障の有無を把握するため、処分場の敷地境界 1 地点と村田第二中学校 1 地点の合計 2 地点において、調査期間中 30 秒毎に 24 時間連続で硫化水素を測定することとしている。

調査結果については、村田町竹の内地区は、悪臭防止法に基づく規制は適用されないが、この法令を準用し、硫化水素の規制基準として示される濃度範囲（臭気強度 2.5（0.02ppm）～3.5（0.2ppm））のうち最も低い（厳しい）濃度である 0.02ppm を管理目標基準濃度として処分場等の濃度と比較した。

硫化水素の連続調査結果を、表 1-4 及び図 1-18 に示す。

- 両地点の全ての観測において、硫化水素の値は定量下限値*（0.005ppm）を下回った。
- 平成 20 年 12 月以降から現在までの全ての観測で、基準濃度とした 0.02ppm を超えるような濃度は測定されておらず、目標値を満たす状況が継続している。

* 高感度毒性ガスマニターによる測定（検知原理：検知テープ光電光度法）における定量下限値

2.1.3 放流水及び河川水水質調査

処分場からの放流水による生活環境保全上の支障の有無を把握するため、放流水 1 地点と河川水 2 地点（放流水と河川水が合流する地点よりも上流側及び下流側）で令和 6 年 12 月、令和 7 年 2 月の 2 回、水質調査を実施した。結果は次のとおりであった。なお、ダイオキシン類については放流水 1 地点で 7 月に、測定回数を年 1 回とした放流水の 15 項目及び河川水の 5 項目については 9 月に実施した。

放流水及び河川水水質調査結果を表 2-1 及び図 2-1～図 2-25 に示す。

(1) 放流水

- 処分場からの放流水の水質は、準用する管理型最終処分場の放流水基準に適合していた。

(2) 河川水

- 河川水の水質は、放流水の合流地点より上流側と下流側で同程度の値を示し、放流水が荒川の水質に及ぼす影響は概ねないものと考えられる。
- 浸透水の一部観測井戸で地下水等検査項目基準を超過した BOD について、河川水では定量下限値を超えて検出されたものの、上流側と下流側で同程度の値を示した。

2.1.4 バイオモニタリング

処分場からの放流水に含まれる物質による周辺環境への複合影響の確認のため、特に流下する河川の生物生息環境への影響を確認するため、魚類（アカヒレ）を用いた水族環境診断法（以下「AOD 試験」という。）を実施した。試験に当たっては、放流水が流下する荒川において、放流水が合流する地点よりも上流側及び下流側の河川水を採取し、5段階の濃縮倍率による河川水の半数致死濃度（以下「AOD 値」という。）を上流側及び下流側とで比較した。試験は令和6年12月に実施し、結果は次のとおりであった。

なお、この診断法において、AOD 値が 200%（河川水の2倍濃縮に相当）以下で魚類の生息限界とされ、AOD 値が 400%（河川水の4倍濃縮に相当）以上であれば、通常の河川での魚類の生育に支障がないとされている。

調査結果を表3-1、図3-1に示す。また、AOD 試験の概要を101ページに記載した。

（1）12月調査

- AOD 値が荒川上流で 600%、荒川下流で 420% であった。
- 調査前日までの7日間の降雨状況は、1.5mm であった。また、調査当日の降雨量（24時間）は 0.0mm であった。
- 調査地点及びその周辺で魚類の斃死が確認されていないことから、放流水の魚毒性は荒川の生物生息環境へ影響を及ぼさないレベルであったと考えられる。

2.2 処分場内廃棄物により汚染された浸透水の地下水への拡散又はそのおそれの把握に関する環境モニタリング

2.2.1 浸透水及び地下水水質調査

処分場内の廃棄物により汚染された浸透水の地下水への拡散又はそのおそれを把握するため、11 地点（No.3b、No.5b、H16-3、H16-5、H16-6、H16-10、H16-11、H16-13、H17-15、H26-3a、H26-3b）及び処分場周辺の地下水観測井戸 10 地点（Loc.1、Loc.1a、Loc.1b、Loc.3、H16-1b、H16-15、H17-19、H26-1a、H26-1b、H26-2）合計 21 地点で、令和 6 年 12 月、令和 7 年 2 月に水質調査を実施した。ダイオキシン類については 10～11 月に実施した。なお、測定回数を年 1 回とした 24 項目のうち 22 項目については、6 月に浸透水 11 地点で、他 2 項目については浸透水及び地下水の 21 地点で実施している。調査の結果は、次のとおりであった。

浸透水及び地下水水質調査結果を表 4-1～表 4-3、表 4-8、表 4-9 及び図 4-3～図 4-53 に示す。

なお、地下水等検査項目基準とは、廃棄物処理法に定める地下水等検査項目基準をいう。

（1）処分場内の浸透水

- 浸透水は、一部の観測井戸で鉛、砒素、BOD が地下水等検査項目基準を、ほう素及びふっ素が地下水環境基準を超過したが、それ以外の項目は基準に適合していた。
- 鉛については、H16-11で令和 7 年 2 月に、地下水等検査項目基準に適合しなかつた。
- 砒素については、H16-13で令和 6 年 12 月に、地下水等検査項目基準に適合しなかつた。
- BOD については、7 地点（No.3b、H16-3、H16-5、H16-10、H16-11、H16-13、H17-15）で地下水等検査項目基準に適合しなかつた。
- 地下水等検査項目基準に適合しなかつた BOD の経年変化をみると、No.3b、H16-3、H16-10、H17-15 は緩やかな上昇傾向を示す。その他の地点については概ね横ばいもしくは穏やかな低下傾向であった。
- ほう素については、5 地点（No.3b、H16-3、H16-10、H16-11、H16-13）で地下水環境基準に適合しなかつた。経年変化を見ると、横ばいもしくは緩やかな低下傾向であった。
- ふっ素については、7 地点（No.3b、No.5b、H16-3、H16-10、H16-11、H16-13、H17-15）で地下水環境基準に適合しなかつた。経年変化を見ると、横ばいもしくは緩やかな低下傾向であった。
- ダイオキシン類については、すべての地点で検出されているものの、0.028～0.16pg-TEQ/L と環境基準に適合していた。

(2) 処分場周辺の地下水

- 硒素については、H17-19 で令和 7 年 2 月に地下水等検査項目基準を超過した。
- BOD については、H26-2 で令和 7 年 2 月に地下水等検査項目基準を超過した。BOD の経年変化をみると、これまで低レベル～基準値レベルの間で横ばい傾向であり、令和 7 年 2 月の調査時にわずかに基準値を超過した。
- 処分場内の浸透水で地下水等検査項目基準を超過していた鉛及び地下水環境基準を超過していたほう素とふつ素については、周辺地下水ではいずれも基準に適合していた。
- ダイオキシン類について、すべての地点で検出されているものの、0.026～0.50pg-TEQ/L と環境基準に適合していた。

2.3 処分場内の状況把握に関する環境モニタリング

2.3.1 発生ガス調査

処分場の状況を確認するため、処分場内の観測井戸 17 地点 (No.3、No.3a、No.3b、No.5、No.5a、No.5b、H16-3、H16-5、H16-6、H16-10、H16-11、H16-13、H17-15、H26-3a、H26-3b、7-2、7-4) で硫化水素等の発生ガスについて毎月調査を実施した。その結果は、次のとおりであった。

硫化水素等の定期状況調査の結果を表 5-1～表 5-6f 及び図 5-1～図 5-6 に示す。また、それぞれの項目についての検出範囲を表 5-7 に示す。

(1) 発生ガス

- 硫化水素濃度は、0.2 未満～47ppm の範囲で測定され、期間中では H16-6 で 47ppm (令和 6 年 11 月) と他の地点より高い値であった。
- メタン濃度は、0～85vol% の範囲で測定され、期間中では No.3 で 85vol% (令和 7 年 3 月) と他の地点より高い値を示した。
- 発生ガス量は、0.01 未満～0.78L/分の範囲で測定された。発生ガス量が定量下限値以上であった各観測井戸の最大量は、No.3 で最大 0.11L/分、No.5 で最大 0.01L/分、No.5a で最大 0.02L/分、H16-6 で最大 0.78L/分、7-4 で最大 0.02L/分だった。モニタリングを行っている 17 地点のうち 12 地点 (No.3a、No.3b、No.5b、H16-3、H16-5、H16-10、H16-11、H16-13、H17-15、H26-3a、H26-3b、7-2) においては、0.01L/分未満で推移しており、ガスの発生は非常に少ないが、廃棄物埋立区域の内部では、微生物による廃棄物の分解反応が継続していると考えられる。

2.3.2 地中温度及び地下水位調査

廃棄物埋立区域内外の地中温度及び地下水位の状況を把握するために、浸透水観測井戸 11 地点 (No.3、No.5、H16-3、H16-5、H16-6、H16-10、H16-11、H16-13、H17-15、H26-3a、H26-3b) 及び、地下水観測井戸 10 地点 (Loc.1、Loc.1a、Loc.1b、Loc.3、Loc.4、H16-15、H17-19、H26-1a、H26-1b、H26-2)、合計 21 地点のうち 10 地点 (No.3、No.5、H16-3、H16-5、H16-6、H16-10、H16-11、H16-13、H17-15、Loc.1a) の地中温度と、21 地点の地下水位の変動を調査した。地中温度は令和 6 年 9 月に計測を実施し、地下水位変動は調査期間中 1 時間毎に連続測定した。地下水位は、実測値を用いて平成 21 年度以降の地下水位データの補正を実施している。なお、浸透水観測井戸は、廃棄物層の下限（難透水性岩盤層より上側）まで掘削している。

地中温度調査結果を表 6-1、表 6-2 及び図 6-1～図 6-7 に、地下水位調査結果を表 6-3 及び図 6-12、日降雨量一覧を表 6-4 に、年間降雨量一覧を表 6-5 及び図 6-15 にそれぞれ示す。

(1) 地中温度

廃棄物埋立区域内の各調査地点における水面以下の最高温度と、廃棄物埋立区域外の調査地点 Loc.1a 最深部との温度差は次のとおりであった。ただし、各調査地点の水面以下の最高温度は、地表からの影響を勘案し、管頭から深度 5 m 以浅の部分を除外している。

1) 2月調査時

- 廃棄物埋立区域内の調査地点のうち最も温度が高かった地点は、H16-13 で 23.0°C（深度 11m）であり、廃棄物埋立区域外の調査地点 Loc.1a の深部（15.2°C、深度 20m）と比較してみると、その差は 7.8°C であった。
- 令和 6 年 2 月調査時の地点ごとの最高温度と比べ、H16-13 は温度は同じだが、Loc.1a との温度差は 0.4°C 小さくなった。
- 令和 4 年 12 月頃より温度上昇傾向が確認されていた No.5 については、令和 7 年 2 月調査時は 20.7°C（深度 5 m）であり、廃棄物埋立区域外の調査地点 Loc.1a の深部（15.2°C、深度 20m）と比較してみると、その差は 5.5°C であった。令和 6 年 2 月調査時の No.5 の最高温度 21.5°C と比べ 0.8°C 低くなり、Loc.1a との温度差は 1.2°C 小さくなった。

(2) 地下水位調査

- 令和 6 年 10 月から令和 7 年 3 月までの半年間での降雨量は 216mm であり、過去 9 年間（平成 28 年度～令和 6 年度）の上半期降雨量の中で、3 番目に少なかった。
- 廃棄物埋立区域外の地下水位は、上流側で標高 16.36～20.97m の間で変動し、H17-19 で最大 0.93m の高低差であった。また、下流側では標高 12.78～16.81m の間で変動し、Loc.1b で 0.88m の高低差であった。
- 廃棄物埋立区域内の地下水の水位は、上流側で標高 16.31～17.66m の間で変動し、No.3 で最大 1.36m の高低差であった。また、下流側では標高 15.57～17.23m の間で変動し、H26-3a で最大 1.53m の高低差であった。
- 処分場北側測線、南側測線沿いに、今回比較に用いる渴水期を令和 7 年 2 月 1 日、出水期を令和 6 年 8 月 1 日とし、観測井戸の水位標高の変化を比較した。処分場内及び上流側では、渴水期と出水期でほとんど傾向が変わらなかった。
- 地下水位の高低差からみると、処分場内の地下水は、概ね処分場西側（高標高部）から東側（低標高部）の方向に少しずつ流下していると考えられる。既往の調査では、処分場の一番上流の端から下流の端まで数十年～百年かかるくらいの流動速度であるとの報告や、地下の構造に応じて流動速度が一様でないとの解析がなされている。

2.3.3 多機能性覆土状況調査及び地表ガス調査

多機能性覆土の性能の確認のため、多機能性覆土施工箇所 13 地点と比較対照地点 13 地点で、地中のガスを地表から強制的に吸引し分析する非穿孔型土壤ガス調査法（グラウンドエアシステム）による調査を令和 6 年 11 月に実施した。また、平成 22 年度表層ガス調査において比較的硫化水素濃度が高かった 2 箇所（うち 1 箇所は作業道路上であったため周囲の 4 地点で実施。）計 5 地点を選定し、多機能性覆土状況調査と同様の調査方法で地表からの放散状況を調査した。その結果は、次のとおりであった。

(1) 多機能性覆土状況調査

- 対照地点及び多機能性覆土施工地点の全ての地点で、硫化水素濃度は定量下限値※（0.1ppm）未満であった。

(2) 地表ガス調査

- 地表ガス調査地点の全てにおいて、硫化水素濃度は定量下限値※（0.1ppm）未満であった。

※ 検知管式ガス測定器の定量下限値

2.4 環境モニタリングの評価（総括）

処分場敷地境界において、硫化水素、有機物質の拡散による大気汚染は認められなかった。さらに、処分場からの放流水の放流先である河川水の水質調査では、上流側と下流側で同様の水質の傾向を示しており、バイオモニタリング試験でも魚類の生育に支障がないと考えられる結果であったことから、処分場からの放流水による河川水への影響はないものと考えられる。また、処分場下流側地下水の水質は、一部の観測井戸における BOD を除き、廃棄物処理法で規定される規制基準を満たしており、場内浸透水が周辺地下水へ及ぼしている影響は少ないと考えられる。

よって、本調査期間においては処分場から発生するガス及び処分場の浸透水等に起因する周辺生活環境への影響は概ねないものと考えられる。一方、処分場の環境モニタリングの各調査項目の結果から次の課題が考えられる。

- 処分場内の観測井戸の地中温度については、周辺の Loc.1a と比較して前年度の同じ期間よりも差が縮小しており、埋立区域内のほとんどの観測井戸では横ばいか低下傾向を示している。しかし、No.5 地点の浅部で令和4年12月～令和5年9月頃に一時的に温度が高い状況が確認されたことや、一部観測井戸ではガスの発生が依然として認められること、他地点と比較し硫化水素やメタンが高い濃度を示す地点も確認されることから、廃棄物埋立区域内では、微生物による廃棄物の分解反応が継続しているものと考えられる。また、処分場内の浸透水では、鉛、砒素、BOD が廃棄物処理法に定める地下水等検査項目基準を超える地点、ほう素、ふつ素が環境基準を超える地点があることなどから、処分場内はまだ安定した状況には至っていないと考えられる。
- 周辺地下水では、埋立区域よりも上流側に位置する H17-19 で砒素が地下水等検査項目基準を超過したが、これまでの調査結果から自然由来である可能性が考えられる。また、H26-2 で BOD が地下水等検査項目基準を超過したが、その他の項目については、全ての地点で地下水等検査項目基準等に適合していた。処分場内の浸透水では地下水等検査項目基準を超過している項目（鉛、砒素、BOD）や環境基準を超過している項目（ほう素、ふつ素）があり、これらによる周辺地下水での値の上昇傾向は現状では認められないものの、処分場内の地下水は上流側から下流側へ少しづつ流下していると考えられることを踏まえ、今後も状況の変化を確認するための継続した調査が必要である。

このようなことから、引き続きモニタリングを継続し、処分場の状況を把握し、周辺環境への影響を考慮しながら、生活環境の保全に繋がるよう、適切な対応を図っていく必要がある。また、処分場の安定化に向け、下流側の周辺地下水では基準値超過は概ね認められないものの、処分場内の浸透水で基準値を超過する項目が確認されていることを考慮し、値の変化に注視しながらデータの集積と解析を進める。また、近年緩やかな上昇傾向を示す地点もある BOD については、処分場内における有機物の分解反応や窒素化合物の硝化反応に着目しながら、必要に応じて ATU-BOD 分析を行うなど、データの集積と解析を進め、当該処分場が廃止に至るまで、適切な維持管理を継続する必要がある。

< 資料 >

■ 生活環境影響調査結果（詳細）

1. 大気環境調査

1.1 大気環境調査結果表

表 1-1 大気環境調査結果表（令和7年1月23,24日）

No.	測定項目 物質名	単位	測定地点		検出下限値	定量下限値	環境基準・指針値	令和7年1月23,24日
			最終処分場	村田町役場				
1	塩化ビニルモノマー	μg/m ³	(0.0060)	(0.0059)	0.0025	0.0083	10	
2	1,3-ブタジエン	μg/m ³	0.018	0.018	0.004	0.012	2.5	
3	ジクロロメタン	μg/m ³	0.99	0.98	0.006	0.020	150	
4	アクリロニトリル	μg/m ³	(0.010)	(0.009)	0.007	0.024	2	
5	クロロホルム	μg/m ³	0.14	0.14	0.007	0.023	18	
6	1,2-ジクロロエタン	μg/m ³	0.23	0.22	0.006	0.021	1.6	
7	ベンゼン	μg/m ³	0.74	0.74	0.004	0.012	3	
8	トリクロロエチレン	μg/m ³	0.11	0.064	0.005	0.018	130	
9	テトラクロロエチレン	μg/m ³	(0.019)	(0.016)	0.008	0.025	200	
10	水銀及びその化合物	ngHg/m ³	1.5	1.5	0.016	0.053	40	
11	硫化水素	ppm	0.0002	0.0003		0.0001	-	
12	メタン	mg/m ³	1.5	2.0		0.1	-	
13	アンモニア	ppm	ND	ND		0.1	-	

備考

()内の数値は、検出下限値以上、定量下限値未満の濃度を示す。

NDとは、検出下限値未満を示す。ただし、アンモニアは、定量下限値未満を示す。

水銀濃度単位"ngHg/m³"は、金属水銀換算濃度を示す。(環境省の調査結果に示す濃度単位とした)

の数値は、環境省が定める基準値を示し、それ以外の数値は、指針値を示す。

1.2 県内他地域及び全国平均と処分場の大気環境調査結果の比較表

表 1-2 県内他地域及び全国平均と処分場の大気調査結果の比較表

測定項目		県内他地域及び全国平均										モニタリング対象地域																									環境基準	指針値						
		令和5年度実施主体及び測定地点名										令和5年度 全国平均	令和5年度 最小値	令和5年度 最大値	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度			
		宮城県		環境省		仙台市										処分場 中央	村田町 役場																											
		塩釜 一般環境 大気測定 局	名取 自動車 排出ガス 測定局	大河原 合同会社 一般環境 大気測定 局	国設 箕岳局	中野局	榴岡局	五橋局	将監局	処分場 中央	村田町 役場				処分場 中央	村田町 役場																												
		トリクロロエチレン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	0.034	0.048	0.130	0.017	0.029	0.033	0.034	0.067	0.017	0.130	0.91	0.75	0.42	0.36	0.30	1.9	0.19	0.56	0.15	0.75	0.12	0.42	0.15	0.30	0.14	0.20	0.12	0.30	0.13	0.13	0.10	0.23	0.12	0.20	0.11	0.11	0.06	0.05	0.04	0.11	0.06	130
トリクロロエチレン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	0.071	0.068	0.077	0.019	0.020	0.071	0.024	0.020	0.019	0.077	0.084	0.068	0.052	0.055	0.042	0.038	0.037	0.055	0.057	0.026	0.026	0.036	0.028	0.027	0.028	0.026	0.023	0.034	0.021	0.022	0.019	0.033	0.031	0.012	0.014	0.014	0.031	0.015	0.013	0.013	200	-		
ベンゼン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	0.52	0.46	0.39	0.40	0.42	0.40	0.51	0.58	0.39	0.58	0.73	0.83	1.0	0.64	0.77	0.93	1.2	0.92	1.0	0.59	0.63	0.47	0.54	0.54	0.64	0.33	0.41	0.51	0.53	0.48	0.49	0.57	0.59	0.44	0.49	0.37	0.45	0.54	0.62	0.74	0.74	3	-	
ジクロロメタン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	1.1	1.1	0.72	0.49	0.80	0.66	0.74	2.2	0.49	2.2	1.5	1.3	1.1	0.84	0.99	0.48	0.52	0.52	0.51	0.41	0.47	0.39	0.47	0.46	0.49	0.36	0.40	0.56	0.61	0.6	0.51	0.7	0.64	2.42	2.42	0.46	0.44	0.42	0.43	0.99	0.98	150	-	
アクリロニトリル ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	0.024	0.031	0.029	0.019	0.025	0.024	0.026	0.033	0.019	0.033	0.052	0.009	0.011	0.007	0.011	0.009	0.014	0.016	0.023	0.017	0.019	0.025	0.025	0.013	0.014	0.009	0.009	0.008	0.009	0.009	0.011	0.011	0.013	0.013	0.015	0.015	0.009	0.009	0.012	0.012	-	2		
クロロホルム ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	0.13	0.14	0.14	0.13	0.09	0.10	0.17	0.10	0.09	0.17	0.24	0.17	0.16	0.13	0.14	0.10	0.11	0.14	0.16	0.11	0.12	0.13	0.14	0.14	0.17	0.16	0.16	0.14	0.14	0.18	0.13	0.15	0.14	0.13	0.13	0.12	0.11	0.12	0.12	0.14	0.14	-	18	
塩化ビニルモノマー ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	0.0069	0.0064	0.006	0.012	(0.009)	0.010	0.010	0.018	0.006	0.018	0.037	0.011	0.010	0.010	0.010	0.010	0.013	0.014	0.015	0.015	0.015	0.005	0.005	0.006	0.006	0.014	0.012	0.006	0.006	0.007	0.007	0.009	0.009	0.008	0.008	0.006	0.006	0.004	0.004	-	10			
1,2-ジクロロエタン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	0.15	0.16	0.16	0.12	0.10	0.10	0.10	0.08	0.08	0.16	0.2	0.11	0.12	0.080	0.090	0.090	0.088	0.17	0.16	0.14	0.13	0.091	0.10	0.066	0.062	0.066	0.068	0.091	0.091	0.072	0.069	0.108	0.102	0.095	0.094	0.062	0.063	0.097	0.097	0.23	0.22	-	1.6	
1,3-ブタジエン ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	0.038	0.046	0.038	0.0072	0.033	0.033	0.053	0.066	0.0072	0.066	0.074	0.081	0.12	0.058	0.088	0.10	0.16	0.080	0.083	0.040	0.048	0.047	0.063	0.020	0.035	0.018	0.022	0.036	0.017	0.026	0.018	0.025	0.019	0.029	0.018	0.027	0.016	0.110	0.018	0.018	-	2.5		
水銀及びその化合物 (ng/m ³)	1.6	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.7	-	1.5	1.7	1.7	1.5	1.6	1.6	1.8	1.7	1.9	1.6	1.7	1.5	1.6	1.6	1.0	1.3	1.4	1.4	1.4	1.4	1.5	1.3	1.4	1.4	1.4	1.5	1.5	-	40							

注1: 平均値の算出に際して、測定結果が定量下限値未満の場合は、定量下限値の1/2として算出している。

注2:全国平均は環境省及び地方公共団体が実施したモニタリング結果を環境省が取りまとめたものである。

注3:トリクロロエチレンの環境基準値は、平成30年11月19日環境省告示第100号により200 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ から130 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ に改定された。

注4: ()内の数字は、得られた平均値が検出下限値より小さい値であるもの。最大値の算出からは除外している。

1.3 これまでの大気環境調査結果との比較表

表 1-3 処分場の大気環境調査結果の濃度範囲

No.	測定項目 物質名	単位	環境基準 ・指針値	令和5年度まで		令和5年度	令和6年度
				最小値	最大値	R6.1	R7.1
1	塩化ビニルモノマー	μ g/m ³	10	ND	0.15	ND	(0.0060)
2	1,3-ブタジエン	μ g/m ³	2.5	ND	0.20	(0.026)	0.018
3	ジクロロメタン	μ g/m ³	150	0.24	8.1	0.42	0.99
4	アクリロニトリル	μ g/m ³	2	ND	0.31	(0.008)	(0.010)
5	クロロホルム	μ g/m ³	18	0.04	0.34	0.12	0.14
6	1,2-ジクロロエタン	μ g/m ³	1.6	ND	0.31	0.097	0.23
7	ベンゼン	μ g/m ³	3	ND	2.4	0.54	0.74
8	トリクロロエチレン	μ g/m ³	130	ND	4.5	0.053	0.11
9	テトラクロロエチレン	μ g/m ³	200	ND	0.35	0.031	(0.019)
10	水銀及びその化合物	ngHg/m ³	40	0.90	4.5	1.4	1.5
11	硫化水素	ppm	—	ND	0.0023	ND	0.0002
12	メタン	mg/m ³	—	0.99	6.0	2.7	1.5
13	アンモニア	ppm	—	ND	0.89	ND	ND

備考

ND とは、検出下限値未満を示す。ただし、硫化水素、アンモニア、メタンは、定量下限値未満を示す。

水銀濃度単位"ngHg/m³"は、金属水銀換算濃度を示す。(環境省の調査結果に示す濃度単位とした)

の数値は、環境省が定める基準値を示し、それ以外の数値は、指針値を示す。

トリクロロエチレンの環境基準値は、平成30年11月19日付け環境省告示第100号により200 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ から130 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ に改定された。

1.4 大気環境調査結果図

1.4.1 大気環境調査測定結果図（地点毎）

(1) 有害大気汚染物質

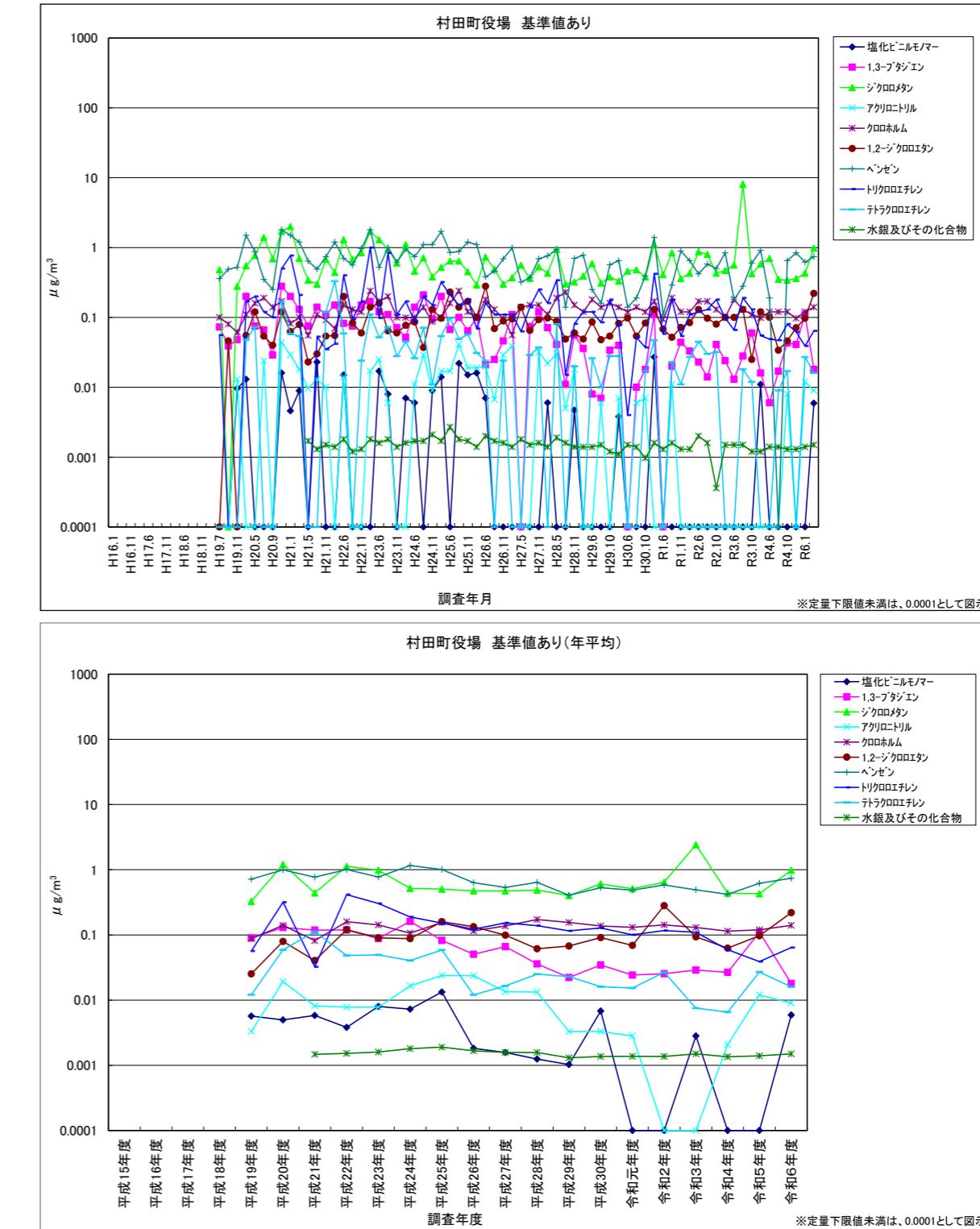
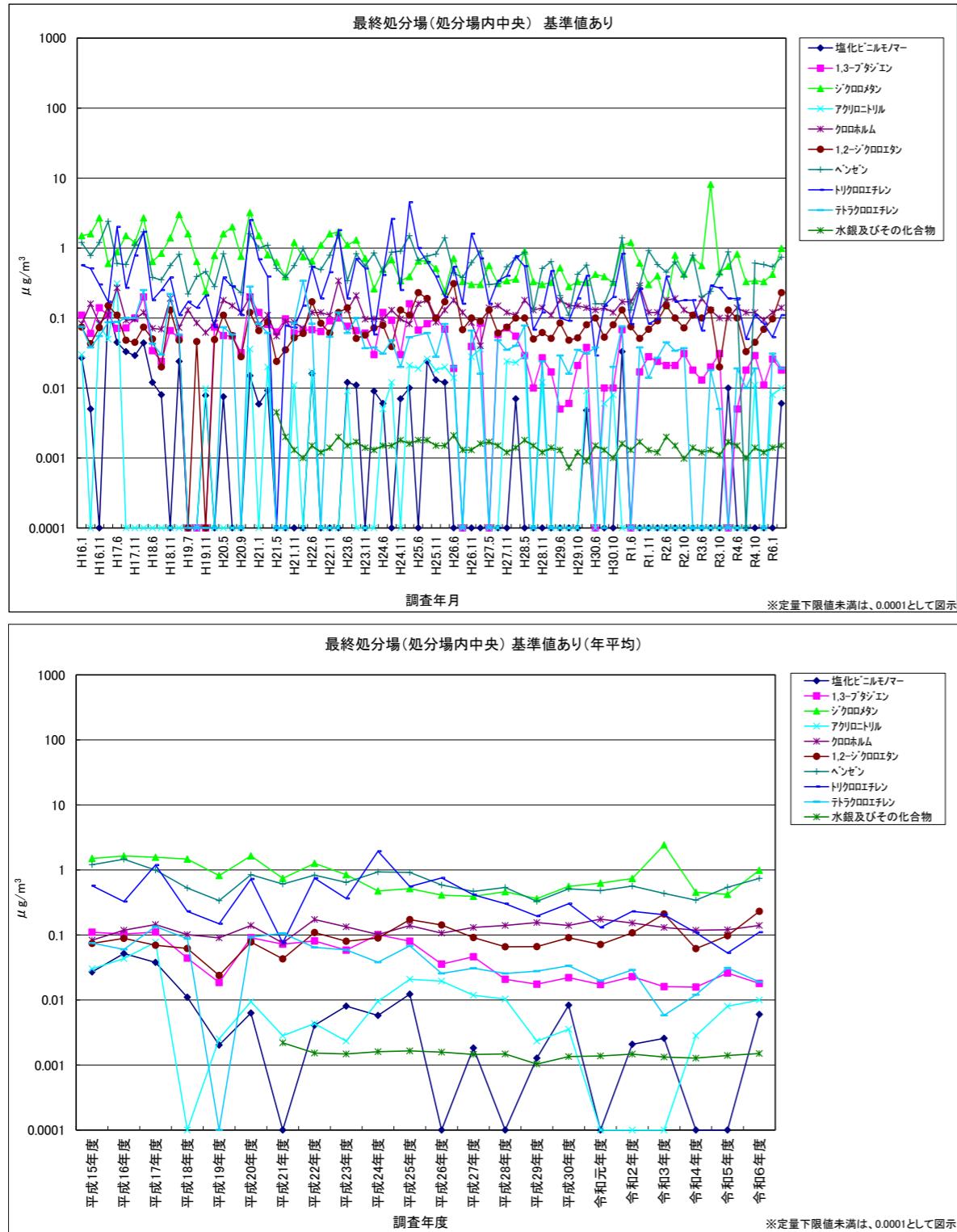


図 1-1 処分場内（中央）

図 1-2 村田町役場

(2) その他事項

■ アンモニア
▲ 硫化水素
◆ メタン

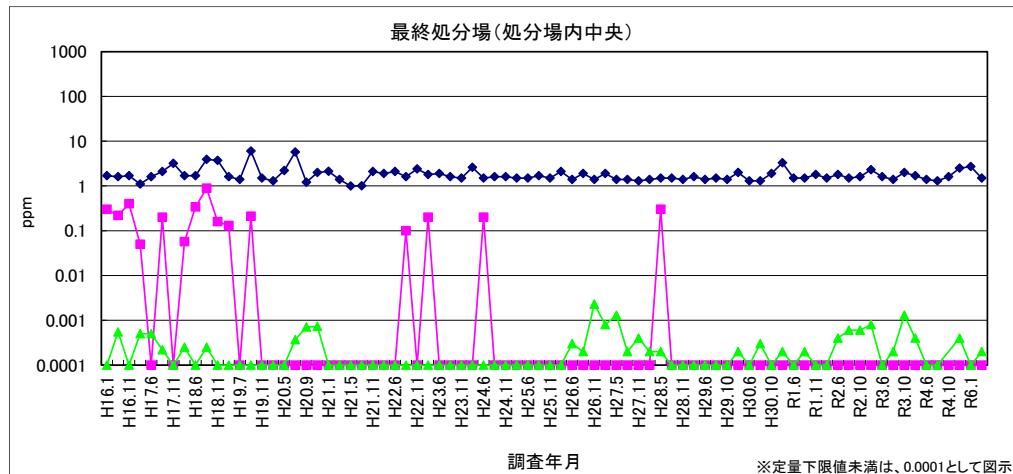


図 1-3 処分場内（中央）

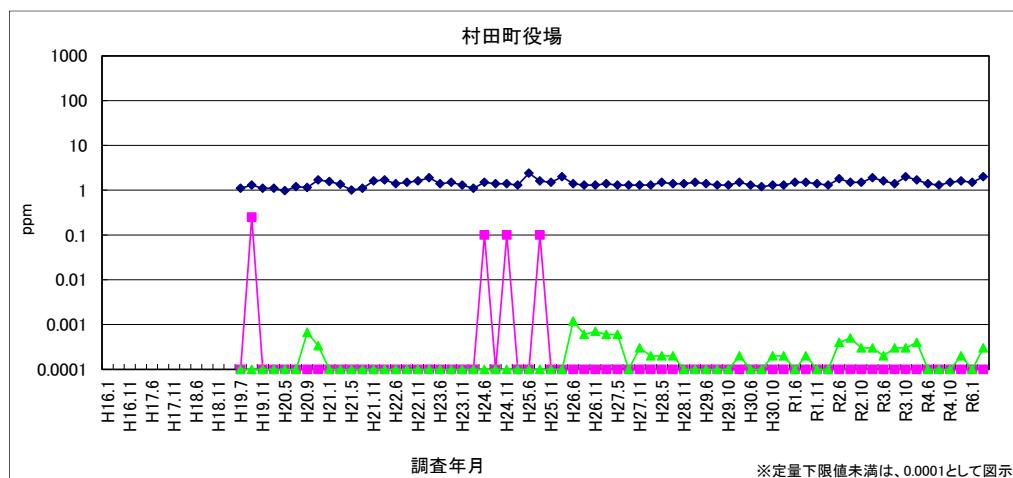


図 1-4 村田町役場

1.4.2 大気環境調査測定結果図（項目毎）

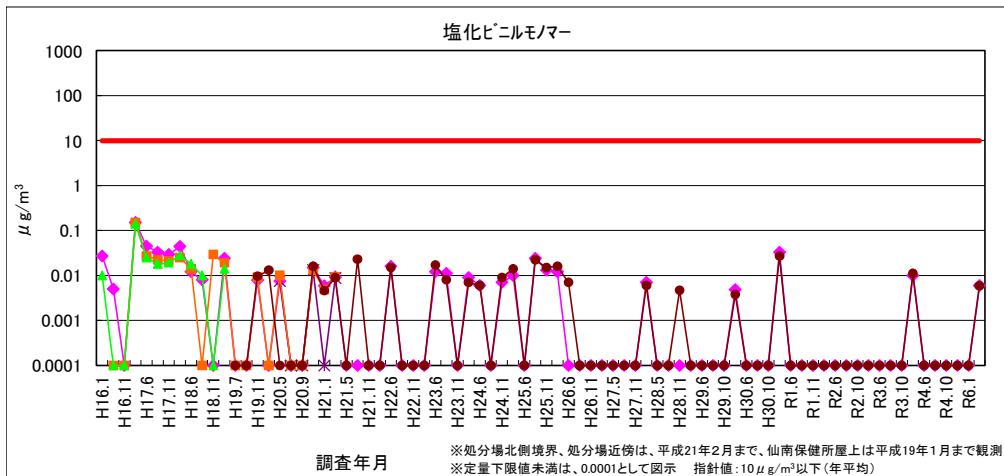


図 1-5 塩化ビニルモノマー

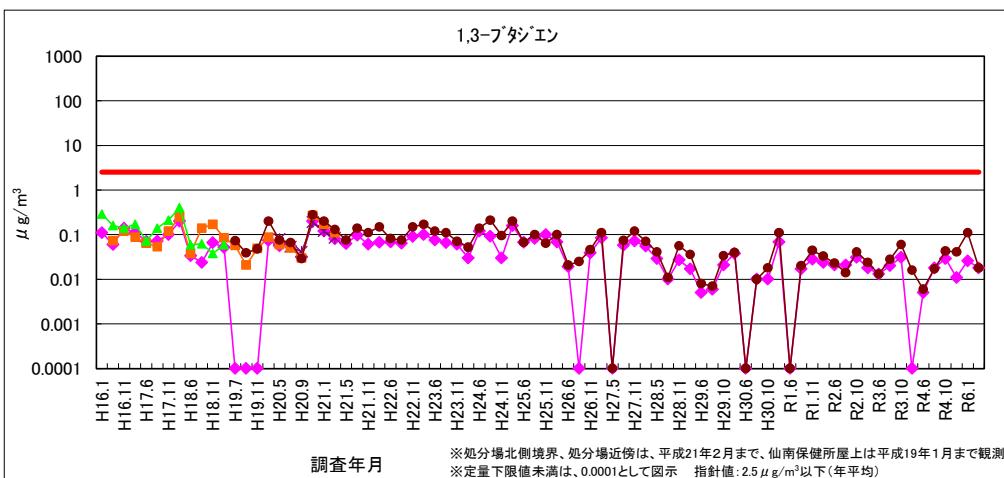


図 1-6 1,3-ブタジエン

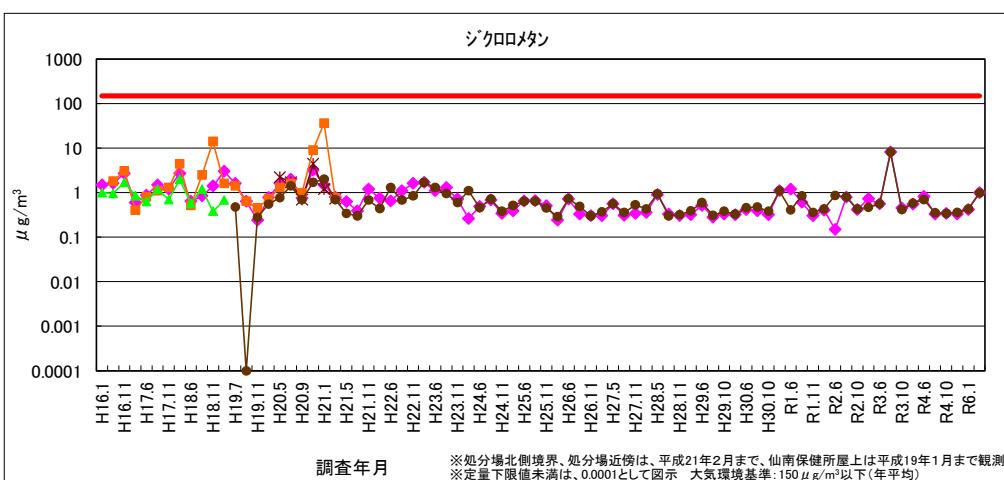


図 1-7 ジクロロメタン

- | | |
|------------------|-------------------|
| 最終処分場(処分場内中央) | 処分場北側敷地境界(平成20年度) |
| 処分場近傍(～平成20年度) | 村田町役場 |
| 仙南保健所屋上(～平成18年度) | 指針値・大気環境基準 |

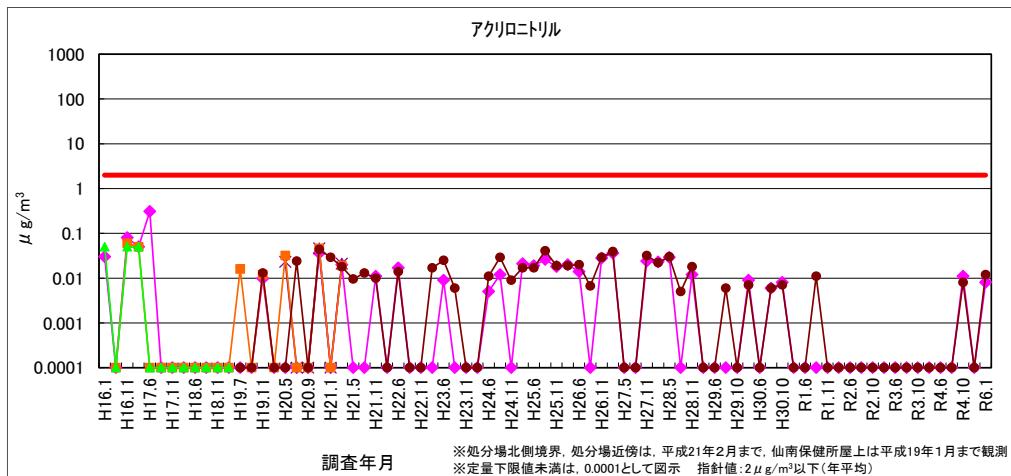


図 1-8 アクリロニトリル



図 1-9 クロロホルム

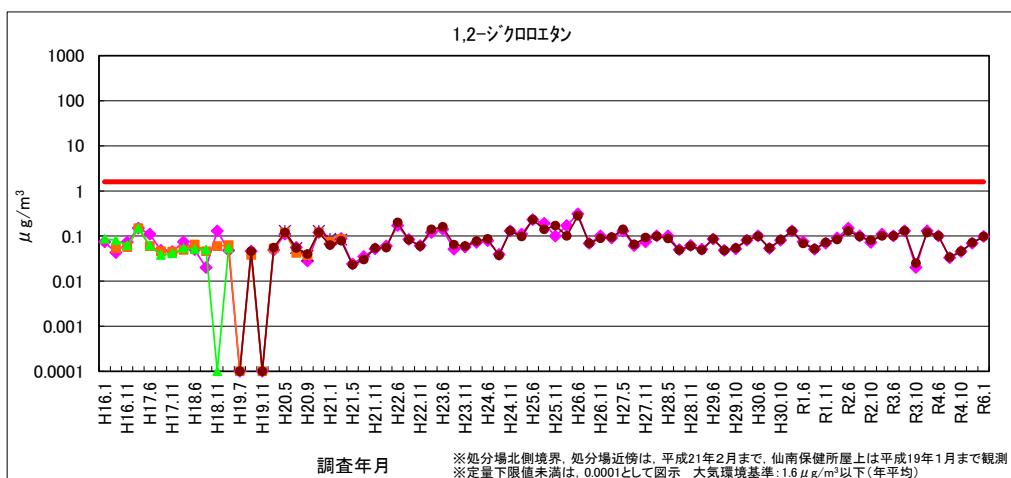


図 1-10 1,2-ジクロロエタン

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ■最終処分場(処分場内中央) | ■処分場北側敷地境界(平成20年度) |
| ■処分場近傍(～平成20年度) | ●村田町役場 |
| ■仙南保健所屋上(～平成18年度) | ■指針値・大気環境基準 |

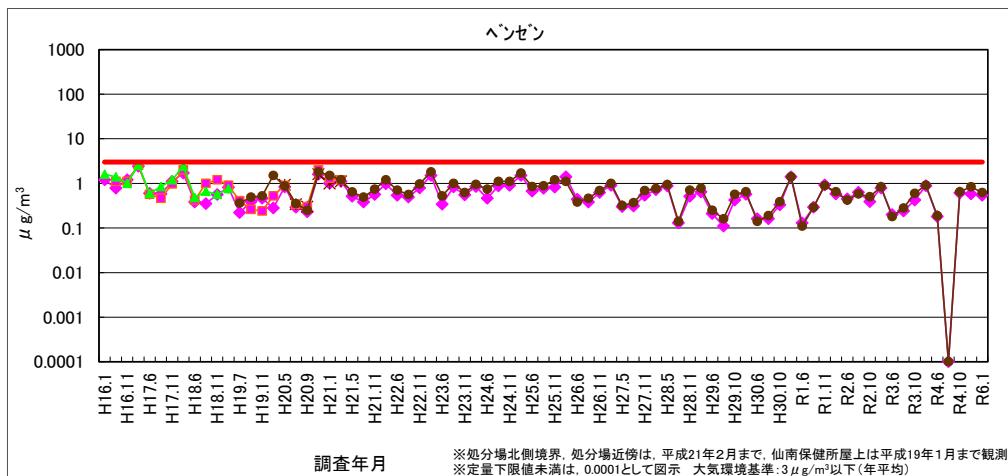


図 1-11 ベンゼン

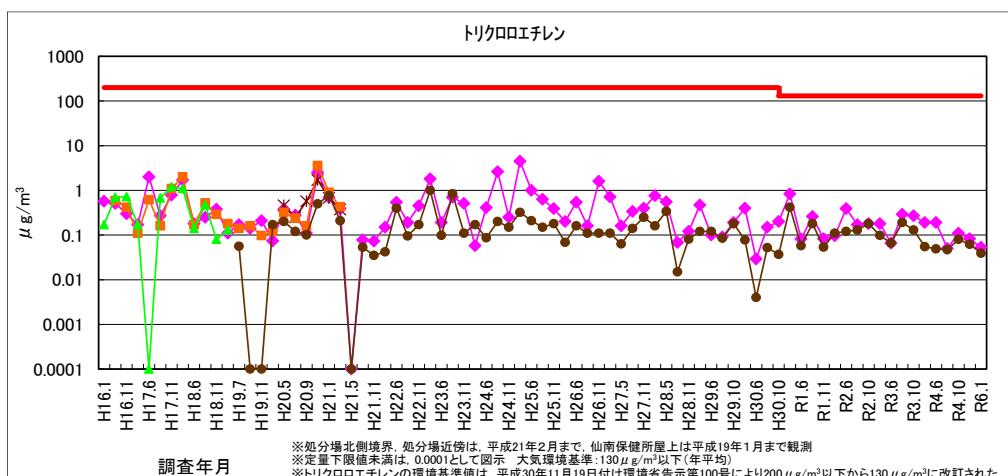


図 1-12 トリクロロエチレン

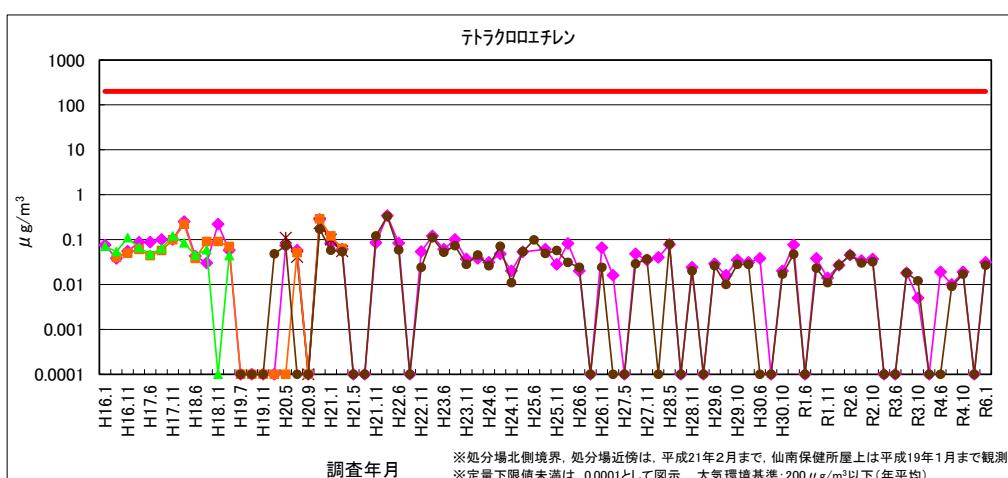
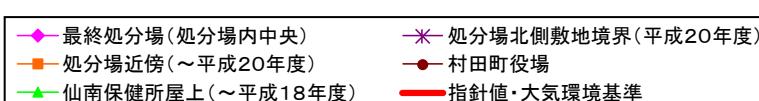


図 1-13 テトラクロロエチレン



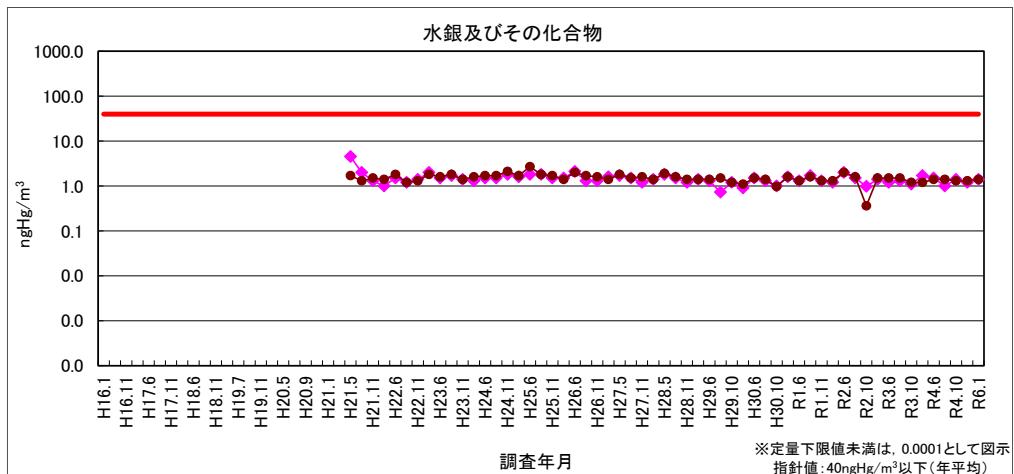


図 1-14 水銀及びその化合物

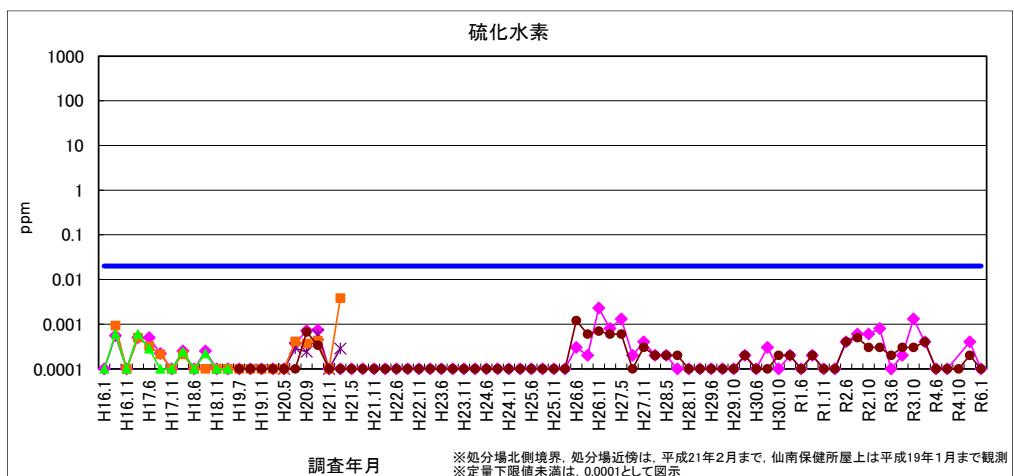


図 1-15 硫化水素

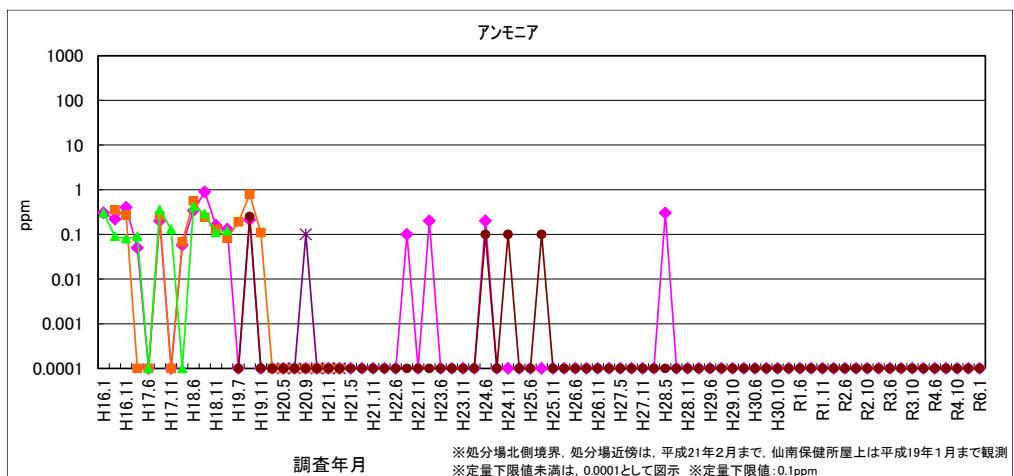
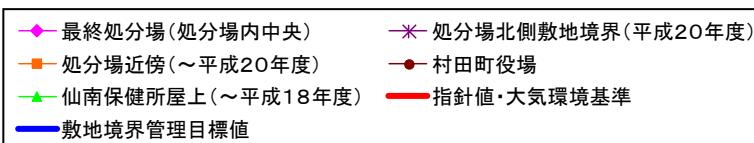


図 1-16 アンモニア



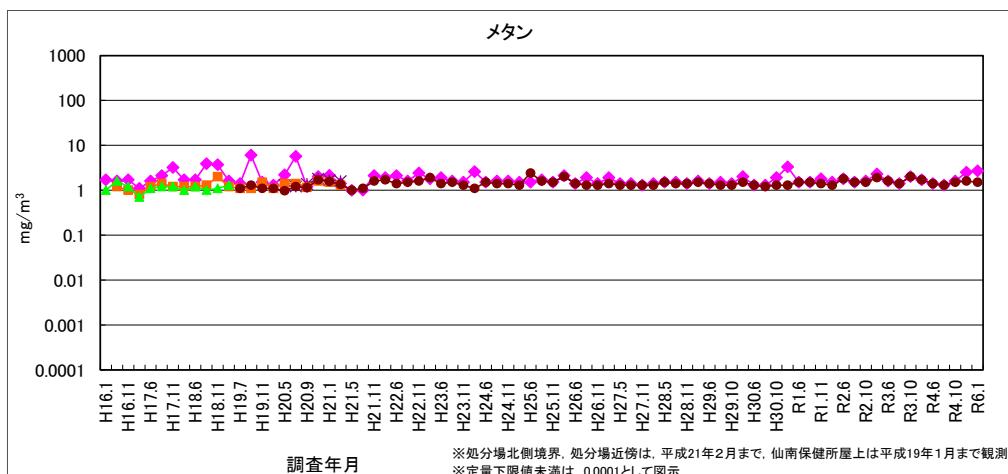
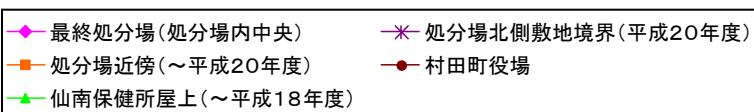


図 1-17 メタン



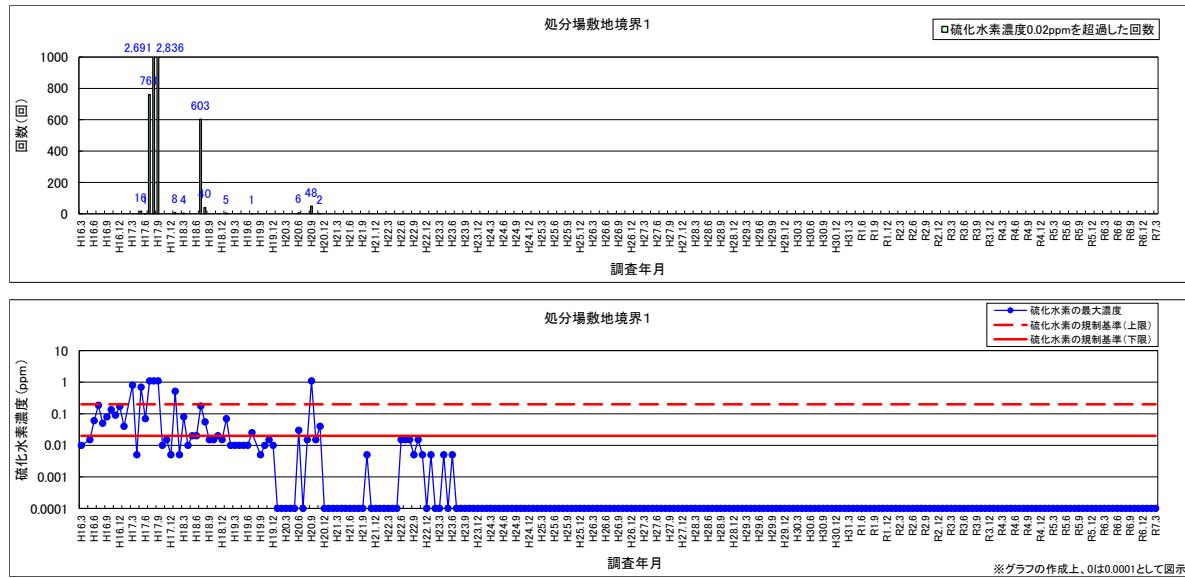
1.5 硫化水素連続調査結果表

表 1-4 平成 19~令和 6 年度下半期 硫化水素連続モニタリング測定結果表

平成19年度														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
処分場敷地境界1		超過個数	0	0	0	1	—	0	0	0	0	0	0	0
		最大濃度	0.010	0.010	0.010	0.005	—	0.005	0.000	0.015	0.000	0.000	0.000	0.000
処分場敷地境界2		超過個数	0	0	0	0	4	—	0	0	0	0	0	0
		最大濃度	0.010	0.020	0.015	0.005	0.025	0.010	0.010	0.005	0.000	0.005	0.000	0.000
村田第二中学校		超過個数	0	12	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0
		最大濃度	0.005	0.035	0.030	0.015	0.015	0.040	0.015	0.015	0.010	0.010	0.000	0.005
平成20年度														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
処分場敷地境界1		超過個数	0	0	6	0	0	48	0	2	0	0	0	0
		最大濃度	0.000	0.000	0.030	0.000	0.015	1.105	0.015	0.040	0.000	0.000	0.000	0.000
処分場敷地境界2		超過個数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		最大濃度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.005	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
村田第二中学校		超過個数	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0
		最大濃度	0.015	0.015	0.015	0.030	0.015	0.045	0.015	0.005	0.000	0.000	0.000	0.000
平成21年度														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
処分場敷地境界1		超過個数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		最大濃度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.005	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
処分場敷地境界2		超過個数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		最大濃度	0.005	0.005	0.010	0.005	0.005	0.005	0.010	0.000	0.000	0.005	0.005	0.005
村田第二中学校		超過個数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		最大濃度	0.010	0.010	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.000	0.000	0.005
平成22年度														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
処分場敷地境界1		超過個数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		最大濃度	0.000	0.000	0.015	0.015	0.015	0.005	0.015	0.005	0.000	0.005	0.000	0.005
処分場敷地境界2		超過個数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		最大濃度	0.015	0.010	0.010	0.005	0.005	0.005	0.010	0.000	0.000	0.015	0.010	0.005
村田第二中学校		超過個数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		最大濃度	0.015	0.010	0.005	0.010	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005
平成23年度														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
処分場敷地境界1		超過個数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		最大濃度	0.005	0.000	0.005	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
処分場敷地境界2		超過個数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		最大濃度	0.015	0.010	0.010	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.000
村田第二中学校		超過個数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		最大濃度	0.005	0.010	0.005	0.010	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.005	0.000
平成24年度														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
処分場敷地境界1		超過個数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		最大濃度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
処分場敷地境界2		超過個数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		最大濃度	0.000	0.015	0.010	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
村田第二中学校		超過個数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		最大濃度	0.005	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
平成25年度														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
処分場敷地境界1		超過個数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		最大濃度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
処分場敷地境界2		超過個数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		最大濃度	0.000	0.015	0.010	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
村田第二中学校		超過個数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		最大濃度	0.005	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
平成26年度														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
処分場敷地境界1		超過個数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		最大濃度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
村田第二中学校		超過個数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		最大濃度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
平成27年度														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
処分場敷地境界1		超過個数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		最大濃度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
村田第二中学校		超過個数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		最大濃度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
平成28年度														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
処分場敷地境界1		超過個数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		最大濃度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
村田第二中学校		超過個数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		最大濃度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
平成29年度														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
処分場敷地境界1		超過個数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		最大濃度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
村田第二中学校		超過個数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		最大濃度	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
令和元年度														
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
処分場敷地境界1		超過個数												

1.6 硫化水素連続調査結果図

(1) 処分場敷地境界



(2) 村田第二中学校

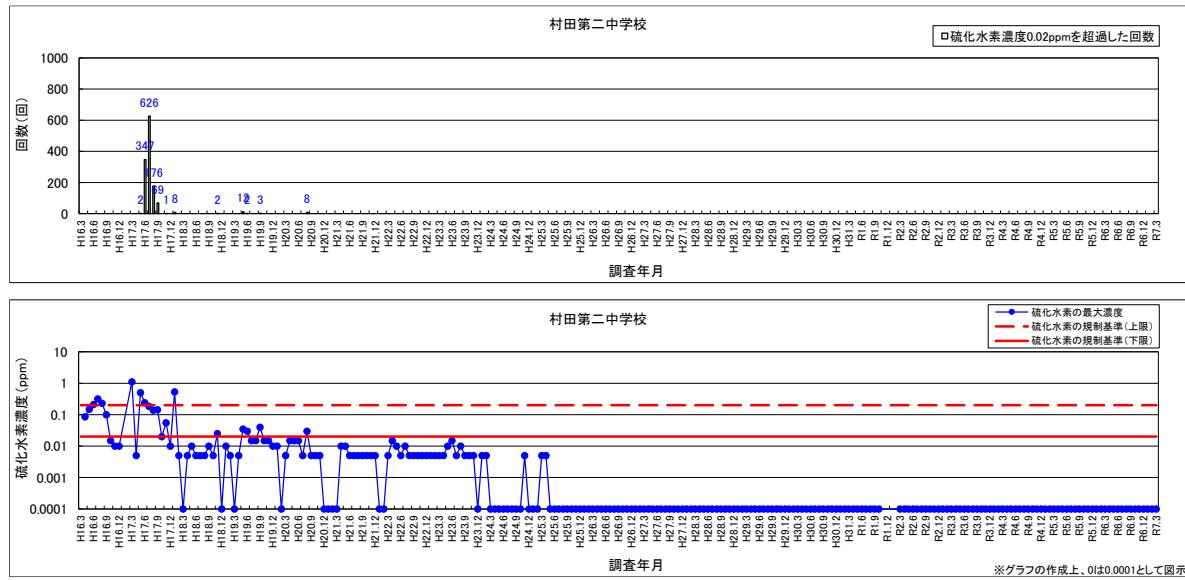


図 1-18 硫化水素連続調査結果図

2. 放流水及び河川水水質調査

2.1 放流水及び河川水水質測定結果表

2.1.1 放流水及び河川水水質測定結果表

表 2-1 放流水及び河川水水質結果一覧表

分析項目	単位	定量下限値	放 流 水		河 川				廃棄物処理法放流水基準 ^(※1)	
			放 流 水		荒川上流		荒川下流			
			令和6年12月10日	令和7年2月18日	令和6年12月10日	令和7年2月18日	令和6年12月10日	令和7年2月18日		
アルキル水銀化合物	mg/L	0.0005	-	-	-	-	-	-	検出されないこと	
総水銀	mg/L	0.0005	-	-	-	-	-	-	0.005	
カドミウム及びその化合物	mg/L	0.001	-	-	-	-	-	-	0.03	
鉛及びその化合物	mg/L	0.002	-	-	-	-	-	-	0.1	
有機燐化合物	mg/L	0.1	-	-	-	-	-	-	1	
六価クロム化合物	mg/L	0.02	-	-	-	-	-	-	0.5	
砒素及びその化合物	mg/L	0.001	-	-	-	-	-	-	0.1	
シアノ化合物	mg/L	0.1	-	-	-	-	-	-	1	
ポリ塩化ビフェニル(PCB)	mg/L	0.0005	-	-	-	-	-	-	0.003	
トリクロロエチレン	mg/L	0.002	-	-	-	-	-	-	0.1	
テトラクロロエチレン	mg/L	0.0005	-	-	-	-	-	-	0.1	
ジクロロメタン	mg/L	0.002	-	-	-	-	-	-	0.2	
四塩化炭素	mg/L	0.0002	-	-	-	-	-	-	0.02	
1,2-ジクロロエタン	mg/L	0.0004	-	-	-	-	-	-	0.04	
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	0.002	-	-	-	-	-	-	1	
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	0.004	-	-	-	-	-	-	0.4	
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	0.0005	-	-	-	-	-	-	3	
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	0.0006	-	-	-	-	-	-	0.06	
1,3-ジクロロプロパン	mg/L	0.0002	-	-	-	-	-	-	0.02	
チウラム	mg/L	0.0006	-	-	-	-	-	-	0.06	
シマジン	mg/L	0.0003	-	-	-	-	-	-	0.03	
チオベンカルブ	mg/L	0.002	-	-	-	-	-	-	0.2	
ヘンゼン	mg/L	0.001	-	-	-	-	-	-	0.1	
ゼレン及びその化合物	mg/L	0.002	-	-	-	-	-	-	0.1	
ほう素及びその化合物	mg/L	0.02	-	-	-	-	-	-	50	
ふつ素及びその化合物	mg/L	0.08	-	-	-	-	-	-	15	
アミゴ, アミカル化合物	mg/L	0.04	-	-	0.05	0.05	0.08	0.06	200 ^{※2}	
亜硝酸化合物	mg/L	0.1	-	-	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満		
硝酸化合物	mg/L	0.1	-	-	0.4	0.3	0.4	0.3		
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	0.2	-	-	0.5	0.4	0.5	0.4	-	
水素イオン濃度(pH)	pH	-	7.9(20°C)	7.9(21°C)	8.1(20°C)	7.8(21°C)	7.9(21°C)	7.8(21°C)	5.8~8.6	
生物化学的酸素要求量(BOD)	mg/L	0.5	-	-	1.5	2.4	1.4	2.4	60	
浮遊物質量(SS)	mg/L	1	-	-	3	2	1	2	60	
ノルマルキシン抽出物質(鉛油)	mg/L	0.5	-	-	-	-	-	-	5	
ノルマルキシン抽出物質(動植物油)	mg/L	0.5	-	-	-	-	-	-	30	
フェノール類含有量	mg/L	0.02	-	-	-	-	-	-	5	
銅含有量	mg/L	0.03	-	-	-	-	-	-	3	
亜鉛含有量	mg/L	0.02	-	-	-	-	-	-	2	
溶解性鉄含有量	mg/L	0.02	-	-	-	-	-	-	10	
溶解性マンガン含有量	mg/L	0.02	-	-	-	-	-	-	10	
クロム含有量	mg/L	0.02	-	-	-	-	-	-	2	
大腸菌群数	個/cm ³	0	-	-	-	-	-	-	3000	
大腸菌数	CFU/100mL	1	-	-	-	-	-	-	-	
溶存酸素量	mg/L	0.5	6.3	9.7	14.1	15.4	14.2	14.9	-	
無機体炭素	mg/L	1	-	-	-	-	-	-	-	
塩化物イオン	mg/L	0.2	82	86	18	28	17	28		
硫酸イオン	mg/L	0.2	3.1	2.6	16	17	18	15	-	
1,4-ジオキサン	mg/L	0.005	0.052	0.028	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.5	
採取時刻	-	-	14:32	13:58	10:34	10:35	10:00	10:00	-	
採取時の天候	-	-	晴れ	曇り	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	-	
気温	°C	-	8.8	1.7	9.9	0.5	8.5	0.9	-	
水温	°C	-	4.8	4.1	8.1	3.9	6.9	3.2	-	
色相	-	-	淡黄色	淡黄色	淡黄色	淡黄色	無色	淡黄色	-	
臭気	-	-	微硫化水素臭	無臭	微土臭	微土臭	微土臭	微土臭		
濁り	-	-	無	無	無	無	無	無	-	
透視度	cm	-	50以上	50以上	50以上	50以上	50以上	50以上	-	
流量	m ³ /s	-	0.0006	0.0003	0.32	0.41	0.27	0.3993	-	
pH(現地)	pH	-	7.63	7.40	7.86	7.99	7.92	7.94	-	
電気伝導率	mS/m	-	153	161.5	20.7	23.0	20.2	24.4		
ORP(可触型ORPメーターにより現地で測定)	mV	-	77	97	109	82	98	92	-	
ORP(水素電極に対する換算値[-0.7198×水温+224.36+ORP])	mV	-	298	318	328	304	317	314	-	

*1 放流水基準とは、一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令（昭和52年3月14日総理府・厚生省第1号）

*2 アンモニア性窒素に0.4を乗じたもの、亜硝酸性窒素及び硝酸性窒素の合計量

2.1.2 放流水及び河川水水質測定結果図

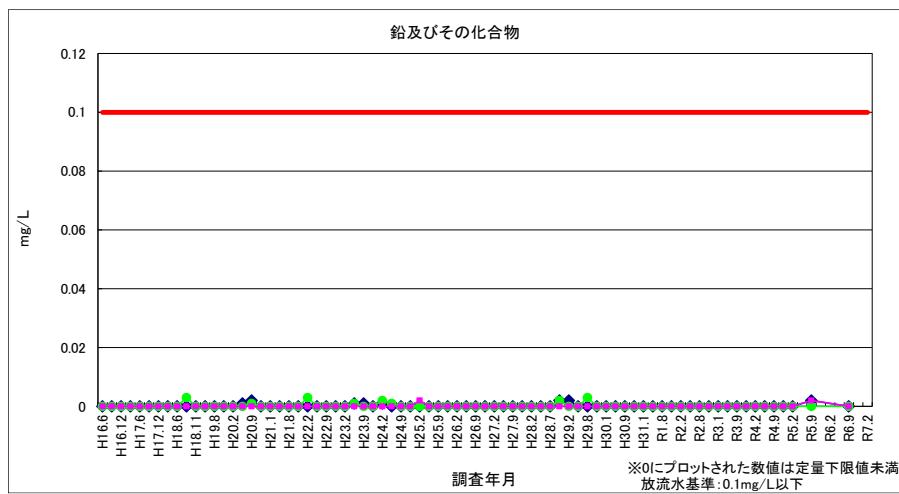


図 2-1 鉛及びその化合物（放流水・河川水）

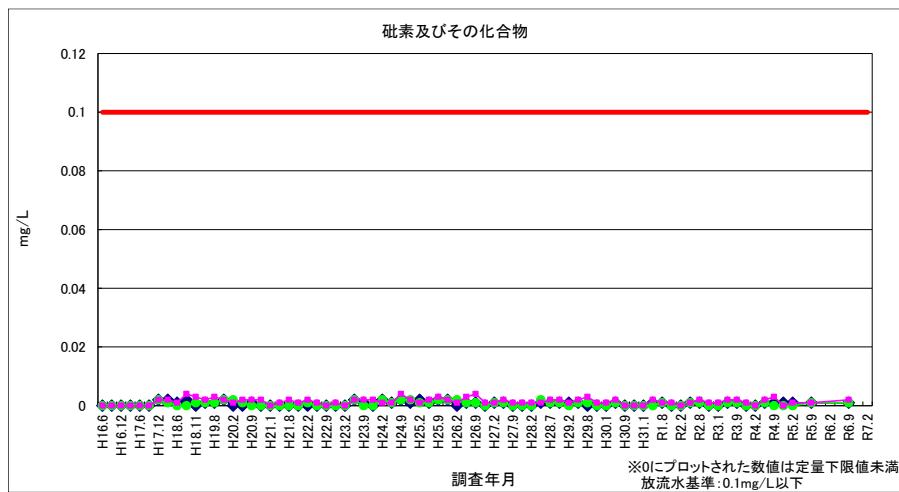


図 2-2 砒素及びその化合物（放流水・河川水）

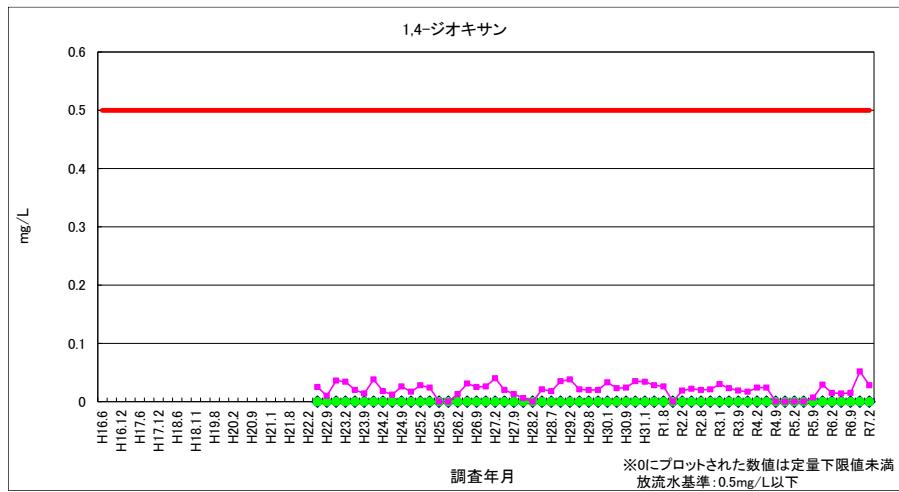


図 2-3 1,4-ジオキサン（放流水・河川水）

—◆— 荒川上流 —●— 荒川下流
—■— 放流水 —■— 放流水基準

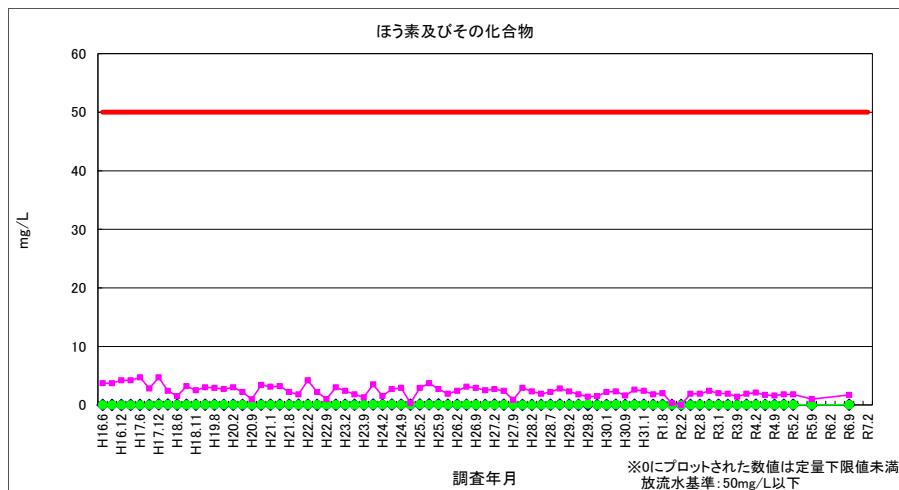


図 2-4 ほう素及びその化合物（放流水・河川水）

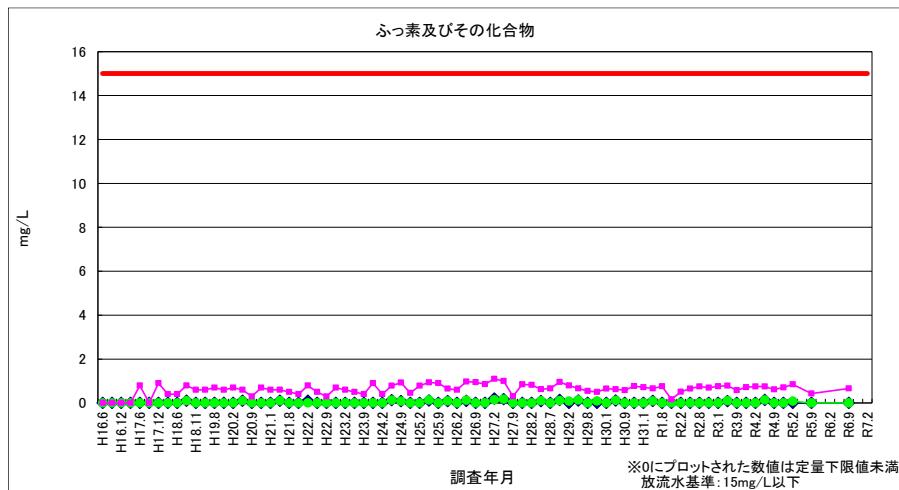


図 2-5 ふつ素及びその化合物（放流水・河川水）

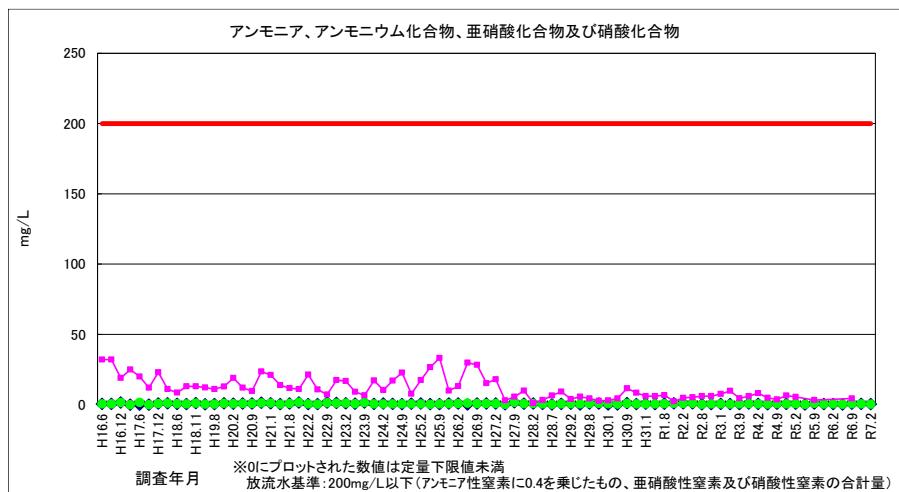
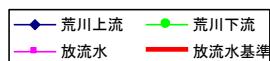


図 2-6 アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物（放流水・河川水）



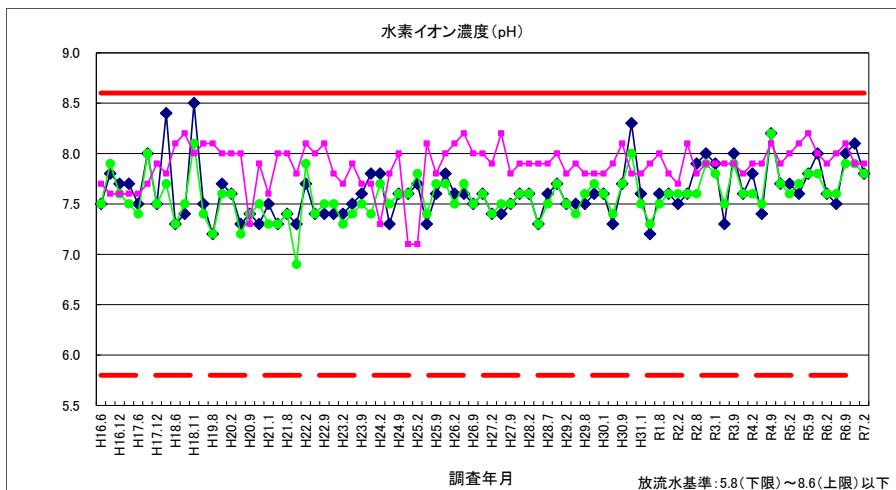


図 2-7 水素イオン濃度 (pH) (放流水・河川水)

● 荒川上流 ● 荒川下流
■ 放流水 ■ 放流水基準(上限)
■ 放流水基準(下限)

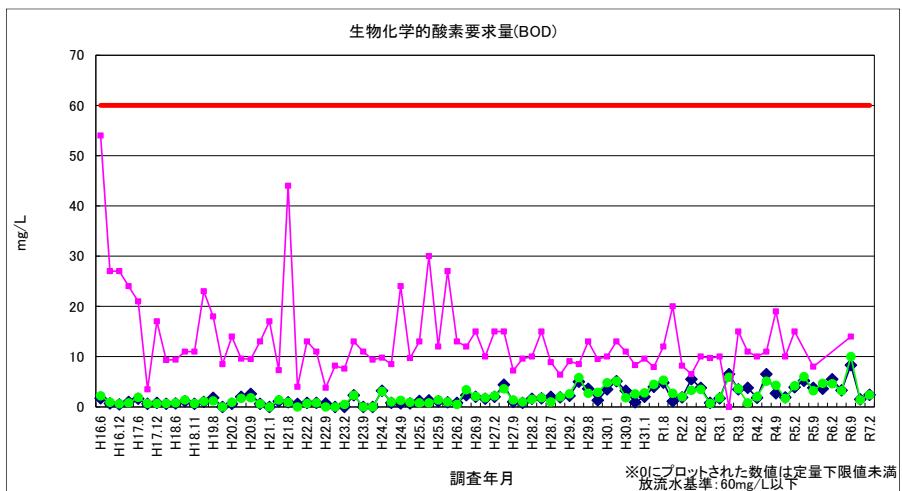


図 2-8 生物化学的酸素要求量 (BOD) (放流水・河川水)

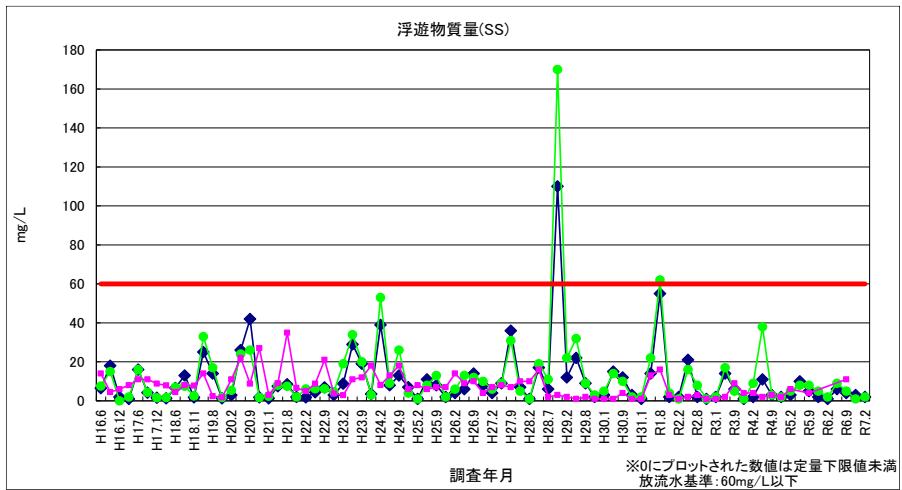


図 2-9 浮遊物質量 (SS) (放流水・河川水)

● 荒川上流 ● 荒川下流
■ 放流水 ■ 放流水基準

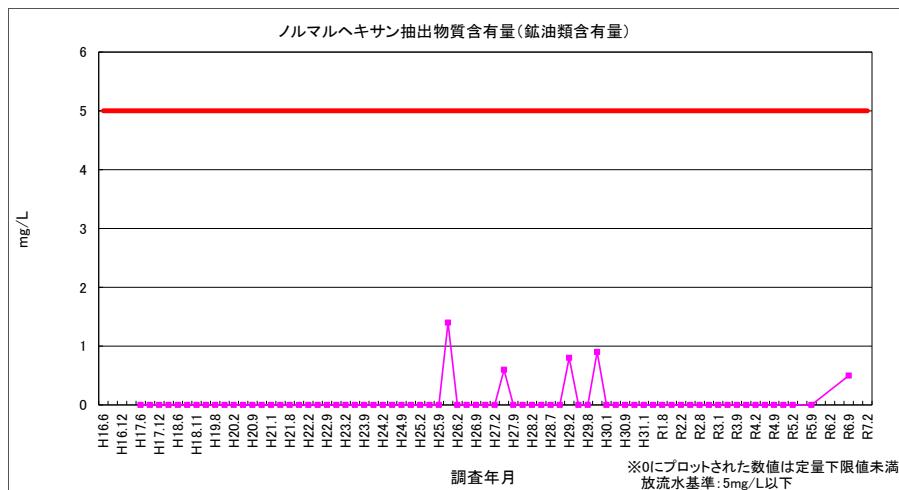


図 2-10 ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量) (放流水)

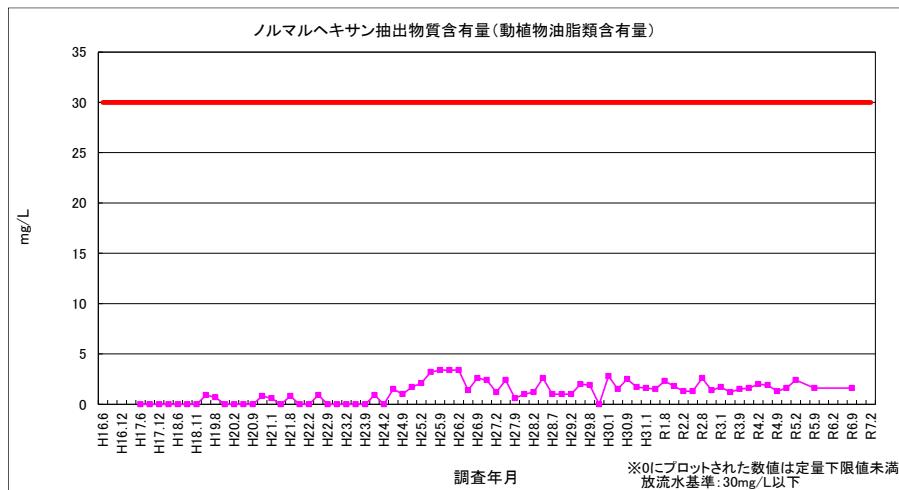


図 2-11 ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動植物油脂類含有量) (放流水)

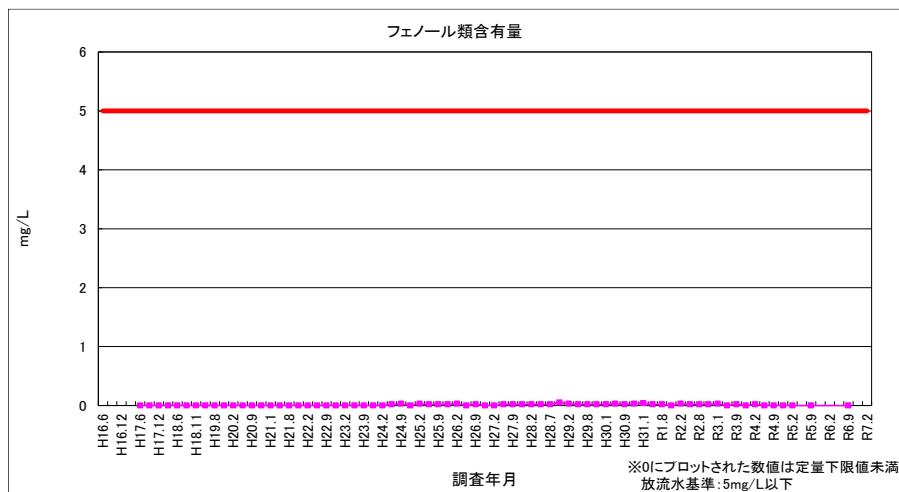


図 2-12 フェノール類含有量 (放流水)

■ 放流水
■ 放流水基準

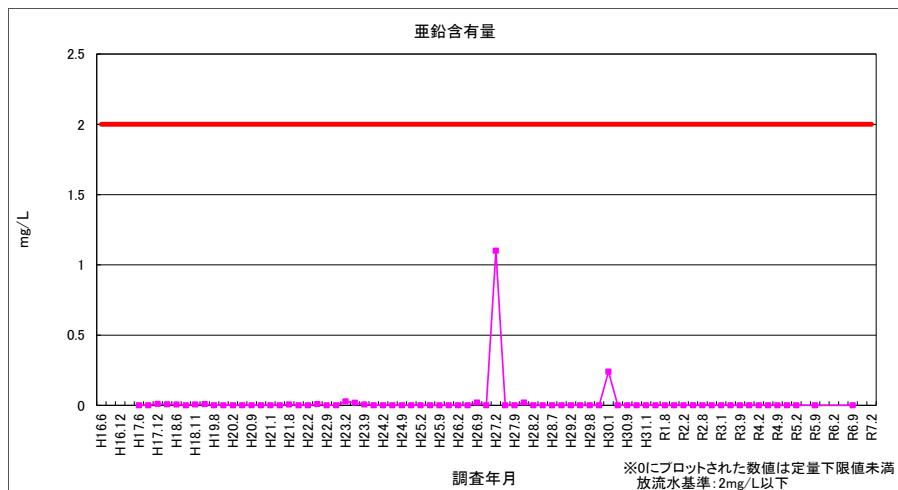


図 2-13 亜鉛含有量（放流水）

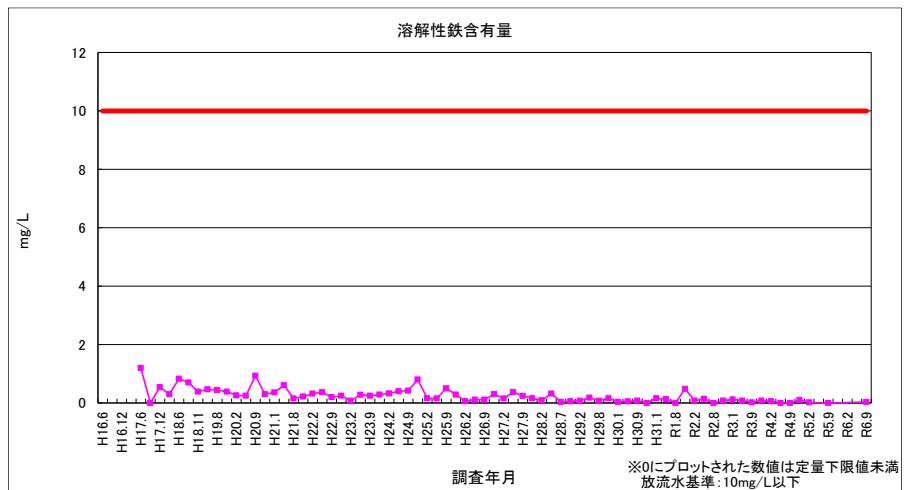


図 2-14 溶解性鉄含有量（放流水）

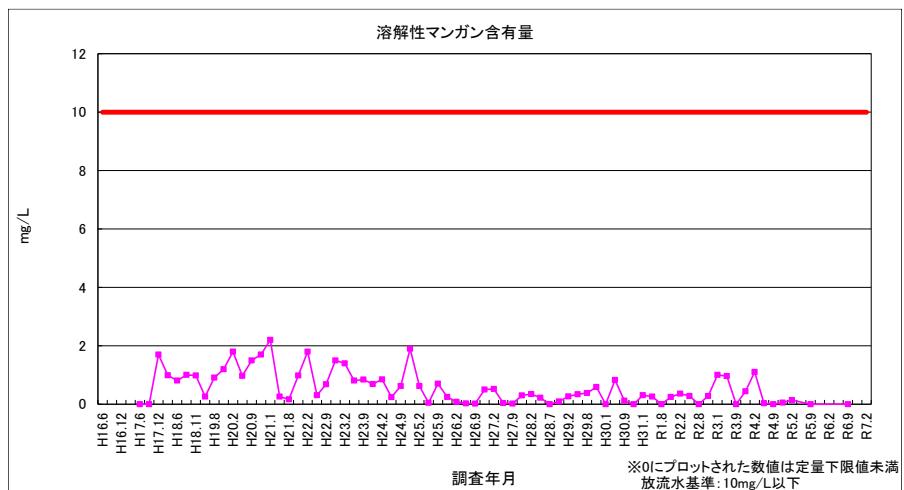
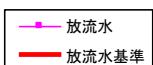


図 2-15 溶解性マンガン含有量（放流水）



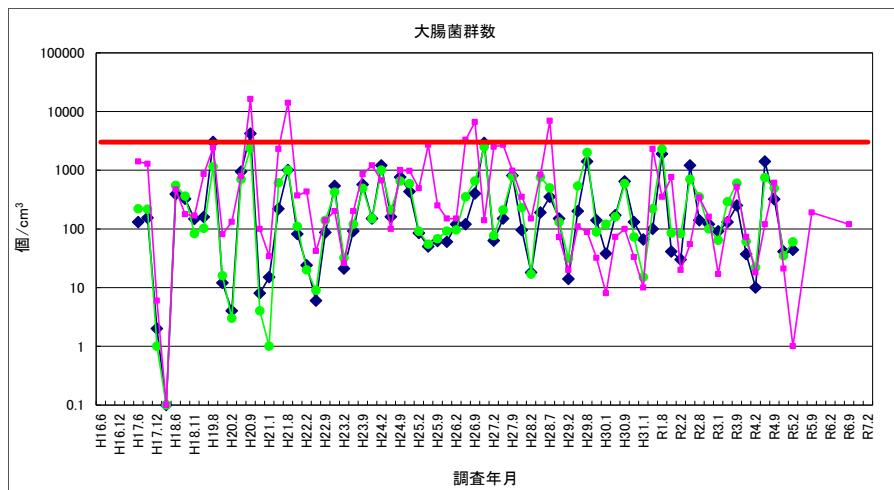


図 2-16 大腸菌群数（放流水）

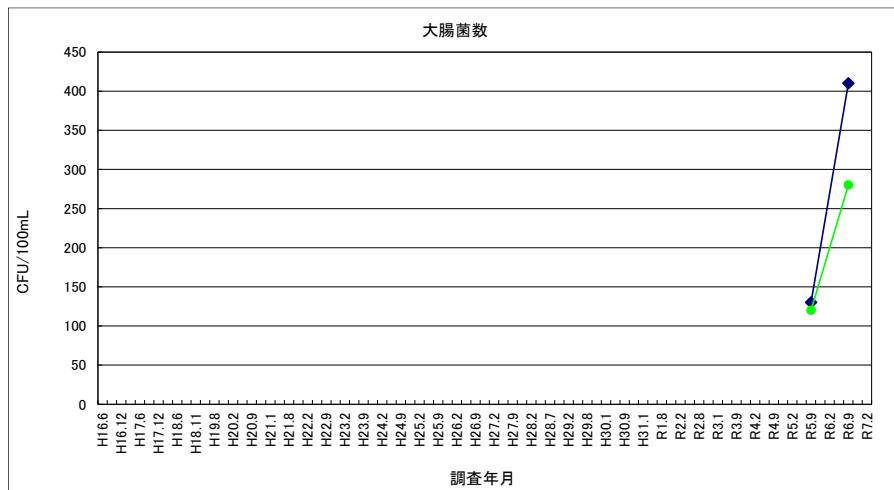


図 2-17 大腸菌数（河川水）

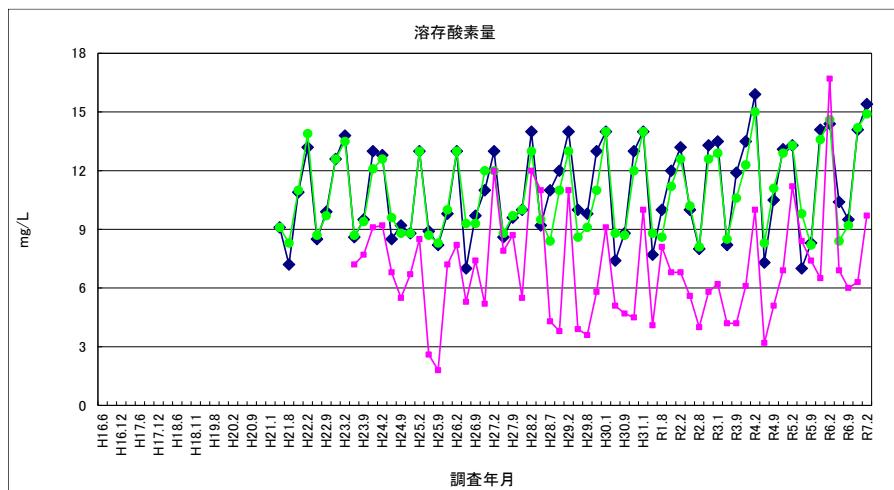
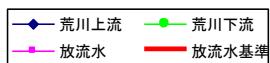


図 2-18 溶存酸素量（河川水・放流水）



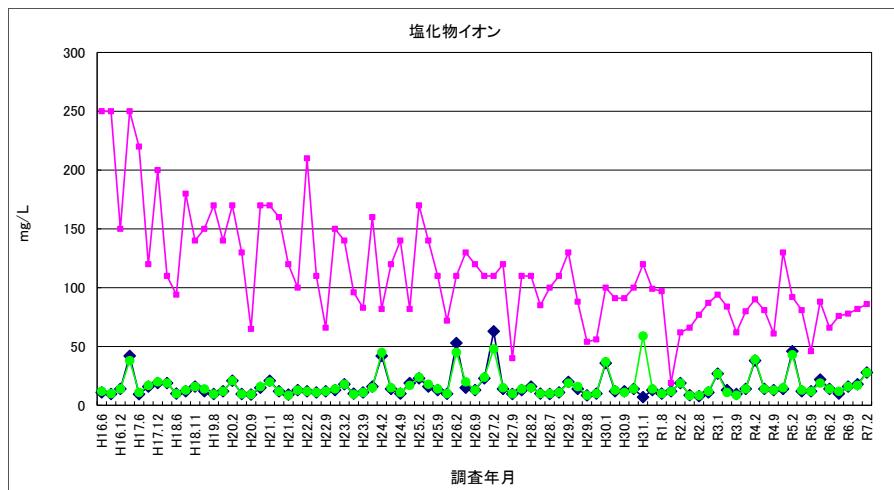


図 2-19 塩化物イオン（放流水・河川水）

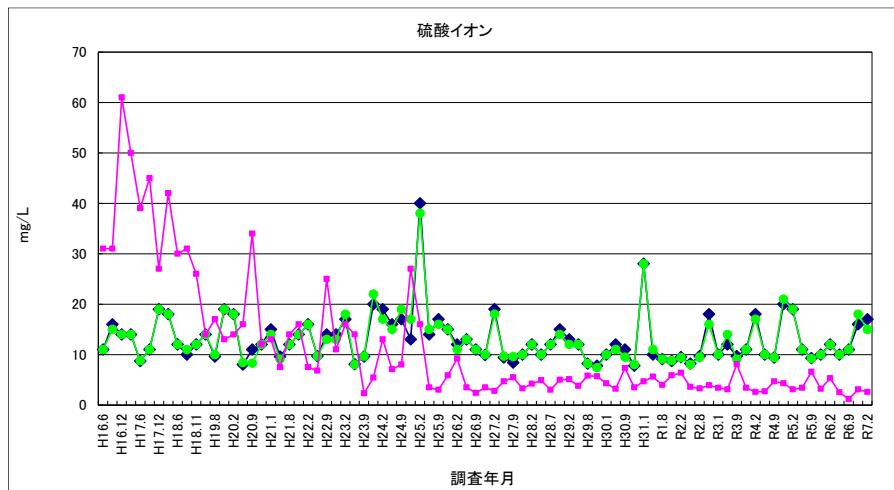


図 2-20 硫酸イオン（放流水・河川水）

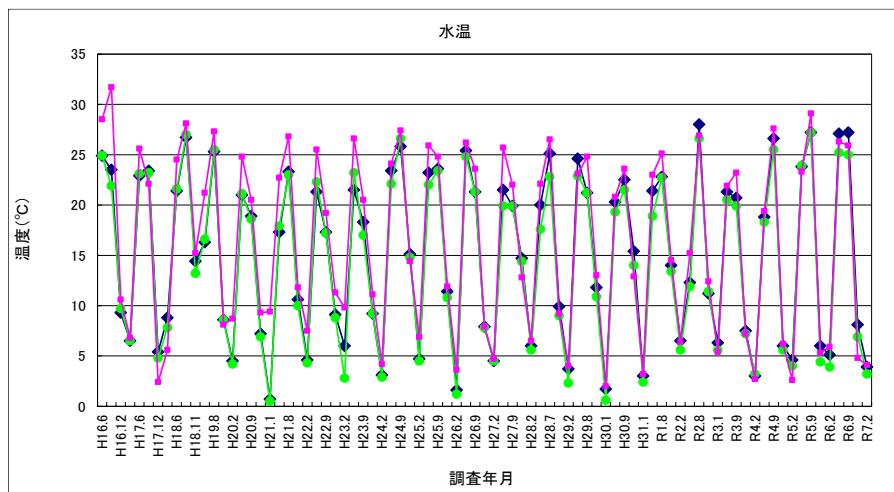


図 2-21 水温（放流水・河川水）

◆ 荒川上流	● 荒川下流
■ 放流水	

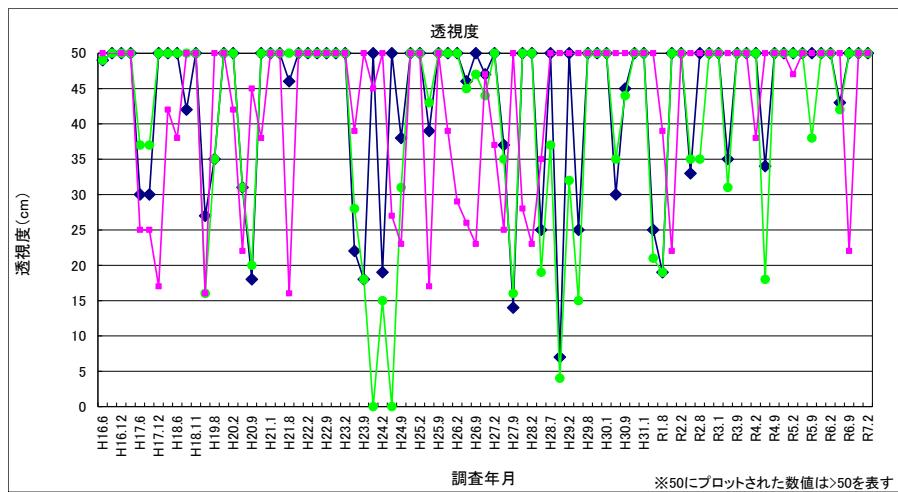


図 2-22 透視度（放流水・河川水）

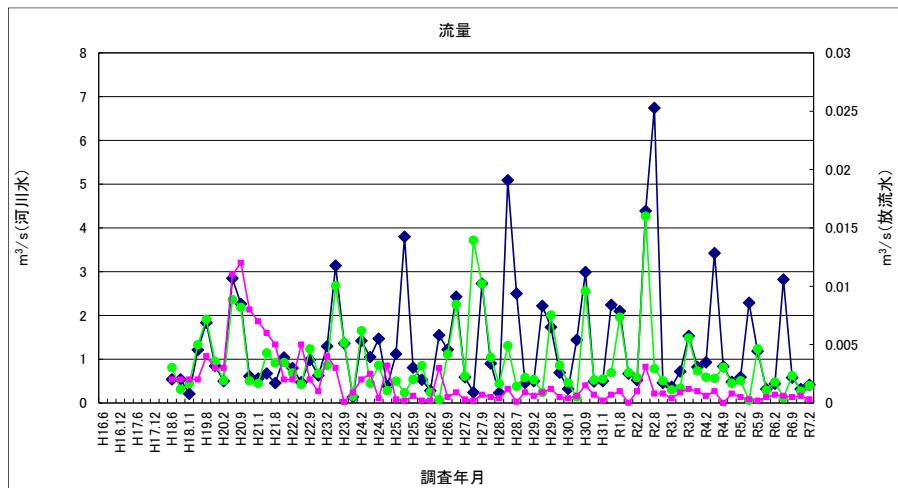


図 2-23 流量（放流水・河川水）

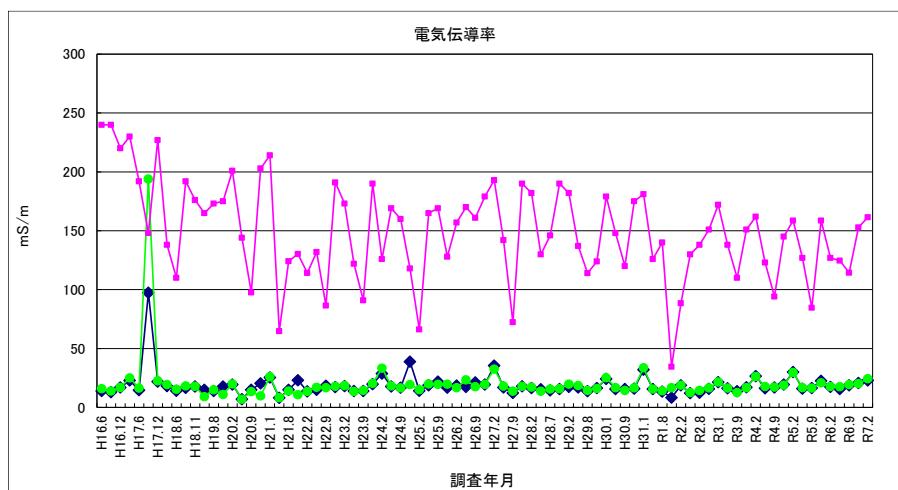


図 2-24 電気伝導率（放流水・河川水）

◆ 荒川上流
● 荒川下流
■ 放流水

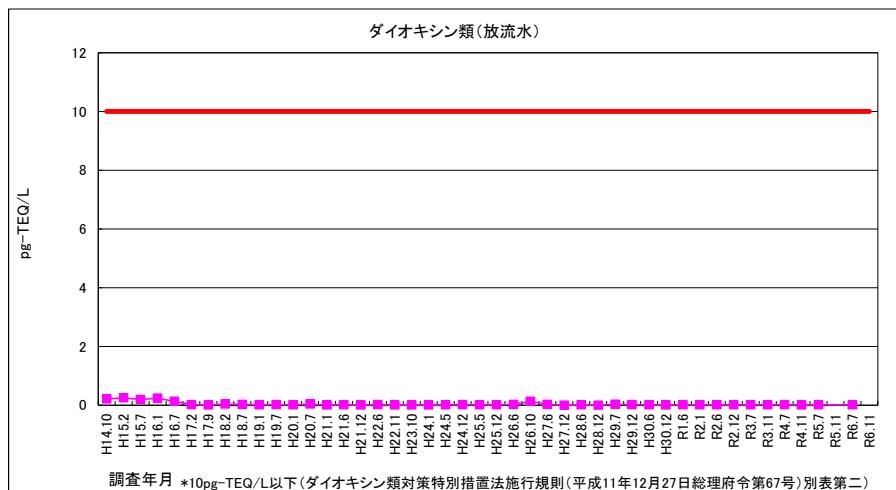


図 2-25 ダイオキシン類 (放流水)

■ 放流水
■ 放流水基準

3. バイオモニタリング調査

3.1 バイオモニタリング調査結果

表 3-1 バイオモニタリング結果表

採取日	AOD 値 (%)	
	荒川上流	荒川下流
令和 6 年 12 月 10 日	600	420

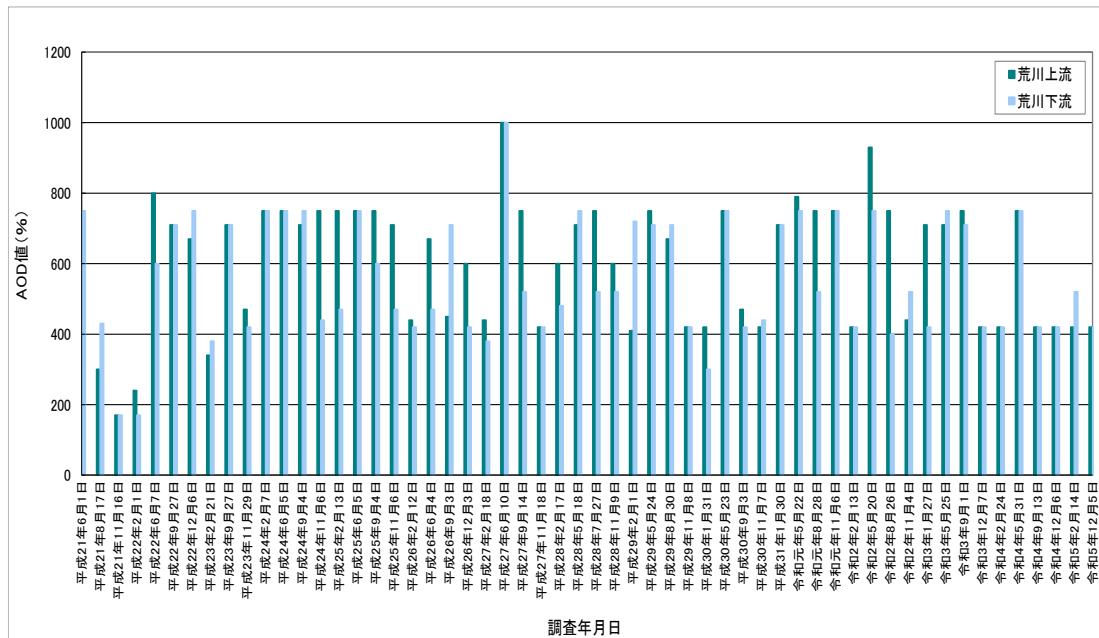


図 3-1 バイオモニタリング調査結果

4. 浸透水及び地下水水質調査

4.1 浸透水及び地下水水質測定結果表

4.1.1 浸透水及び地下水水質測定結果表

表 4-1 浸透水及び地下水測定結果表①

分析項目	単位	定量下限値	浸透水及び地下水												廃棄物処理法 地下水等検査 項目基準 ^{*1}		
			浸透水 (No. 3b)		浸透水 (No. 5b)		浸透水 (H16-3)		浸透水 (H16-5)		浸透水 (H16-6)		浸透水 (H16-10)				
			令和6年12月10日	令和7年2月18日	令和6年12月10日	令和7年2月18日	令和6年12月10日	令和7年2月18日	令和6年12月10日	令和7年2月18日	令和6年12月10日	令和7年2月18日	令和6年12月10日	令和7年2月18日			
アルキル水銀	mg/L	0.0005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	検出されないこと		
総水銀	mg/L	0.0005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0005以下		
カドミウム	mg/L	0.0003	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.003以下		
鉛	mg/L	0.002	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002	0.002未満	0.002未満	0.003	0.002未満	0.003	0.002未満	0.002	0.002	0.011	0.01以下	
六価クロム	mg/L	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.05以下		
砒素	mg/L	0.001	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.004	0.001	0.002	0.002	0.001未満	0.001未満	0.001	0.01以下	
全シアン	mg/L	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	検出されないこと		
ポリ塩化ビフェニル (PCB)	mg/L	0.0005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	検出されないこと		
トリクロロエチレン	mg/L	0.002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01以下		
テトラクロロエチレン	mg/L	0.0005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01以下		
ジクロロメタン	mg/L	0.002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02以下		
四塩化炭素	mg/L	0.0002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.002以下		
1, 2-ジクロロエタン	mg/L	0.0004	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.004以下		
1, 1-ジクロロエチレン	mg/L	0.002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1以下		
1, 2-ジクロロエチレン (シス体・トランス体の和)	mg/L	0.004	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.04以下		
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/L	0.0005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1以下		
1, 1, 2-トリクロロエタン	mg/L	0.0006	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.006以下		
1, 3-ジクロロプロペン	mg/L	0.0002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.002以下		
チウラム	mg/L	0.0006	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.006以下		
シマジン	mg/L	0.0003	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.003以下		
チオベンカルブ	mg/L	0.002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02以下		
ベンゼン	mg/L	0.001	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01以下		
セレン及びその化合物	mg/L	0.002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01以下		
1, 4-ジオキサン	mg/L	0.005	0.017	0.016	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.008	0.005未満	0.009	0.005未満	0.006	0.025	0.029	0.005未満	0.009	0.05以下
塩化ビニルモノマー	mg/L	0.0002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.002以下	
生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	0.5	24	30	20	14	25	26	31	18	10	18	17	28	29	26	20以下
水素イオン濃度 (pH)	pH	-	7.9 (21°C)	8.0 (22°C)	7.2 (19°C)	7.4 (22°C)	7.5 (19°C)	7.7 (23°C)	7.6 (20°C)	7.6 (22°C)	7.7 (20°C)	8.0 (23°C)	8.0 (20°C)	8.1 (23°C)	7.4 (20°C)	7.8 (23°C)	-
浮遊物質量 (SS)	mg/L	1	1	3	7	2	14	15	15	15	13	1	1未満	5	19	60	-
ほう素	mg/L	0.02	1.5	1.6	0.95	0.98	1.3	1.1	0.52	0.19	0.93	0.91	2.0	1.8	1.8	1.8	1 ^{*2}
ふつ素	mg/L	0.08	0.88	0.97	0.98	1.0	1.0	0.93	0.57	0.23	0.68	0.77	1.1	1.2	2.2	1.8	0.8 ^{*2}
アンモニア, アンモニウム化合物	mg/L	0.04	14	16	17	19	37	33	13	4.5	7.2	7.4	16	16	44	71	-
亜硝酸化合物	mg/L	0.2	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	
硝酸化合物	mg/L	0.2	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	-	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	0.2	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	10 ^{*2}	
塩化物イオン	mg/L	0.2	46	55	18	19	49	45	140	16	33	48	100	95	58	57	-
硫酸イオン	mg/L	0.2	1.0	1.3	6	65	1.1	1.5	59	49	6.8	4.1	8.3	10	1.2	2.8	-
重炭酸イオン (炭酸水素イオン)	mgHCO ₃ ⁻ /L	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
硫化物イオン	mg/L	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
採取時刻	-	-	13:28	13:35	14:53	14:48	15:15	14:33	14:05	14:25	13:47	13:52	15:08	15:00	14:05	13:40	-
採取時の天候	-	-	晴れ	曇り	晴れ	曇り	晴れ	曇り	晴れ	曇り	晴れ	曇り	晴れ	曇り	晴れ	曇り	-
気温	°C	-	11.3	1.2	9.8	1.8	7.5	1.1	10.8	-0.1	10.9	1.5	9.8	0.8	10.5	2.9	-
水温	°C	-	17.7	13.7	18.7	15.0	17.3	13.4	16.9	13.5	15.8	14.1	16.7	15.7	14.5	14.2	-
色相	-	-	淡黄色	淡黄色	淡灰黄色	淡黑色	淡灰黑色	淡青色	淡黑色	淡黄色	淡黄色	淡黄色	淡黄色	淡黄色	淡黄色	淡黄色	-
臭気	-	-	微硫化水素臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭	-
濁り	-	-	無	無	無	無	無	無	有	有	無	無	無	有	有	-	-
透視度	cm	-	50以上	50以上	50以上	50以上	50以上	50以上	50以上	38	50以上	50以上	50以上	50以上	29	10	-
管頭下水位	m	-	-2.78	-3.15	-4.32	-4.74	-4.01	-4.40	-3.00	-3.25	-19.09	-19.53	-3.60	-3.96	-4.32	-4.73	-
pH (現地)	pH	-	7.50	7.49	7.02	6.82	7.28	6.96	7.25	7.12	7.44	7.56	7.64	7.			

表 4-2 浸透水及び地下水測定結果表②

分析項目	単位	定量下限値	浸透水及び地下水												廃棄物処理法 地下水等検査 項目基準 ¹			
			浸透水 (H16-13)		浸透水 (H17-15)		浸透水 (H26-3a)		浸透水 (H26-3b)		地下水 (H17-19)		地下水 (Loc. 1)		地下水 (Loc. 3)			
			令和6年12月10日	令和7年2月18日	令和6年12月10日	令和7年2月18日	令和6年12月10日											
アルキル水銀	mg/L	0.0005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	検出されないこと
総水銀	mg/L	0.0005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0005以下
カドミウム	mg/L	0.0003	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.003以下
鉛	mg/L	0.002	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.003	0.01以下											
六価クロム	mg/L	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.05以下
砒素	mg/L	0.001	0.015	0.004	0.001	0.001	0.001未満	0.001	0.002	0.001	0.007	0.020	0.001	0.001	0.001未満	0.001未満	0.01以下	
全シアン	mg/L	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	検出されないこと
ポリ塩化ビフェニル (PCB)	mg/L	0.0005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	検出されないこと
トリクロロエチレン	mg/L	0.002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	0.0005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01以下
ジクロロメタン	mg/L	0.002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02以下
四塩化炭素	mg/L	0.0002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.002以下
1, 2-ジクロロエタン	mg/L	0.0004	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.004以下
1, 1-ジクロロエチレン	mg/L	0.002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1以下
1, 2-ジクロロエチレン (シス体・トランス体の和)	mg/L	0.004	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.04以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/L	0.0005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1以下
1, 1, 2-トリクロロエタン	mg/L	0.0006	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.006以下
1, 3-ジクロロプロペン	mg/L	0.0002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.002以下
チララム	mg/L	0.0006	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.006以下
シマジン	mg/L	0.0003	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.003以下
チオベンカルブ	mg/L	0.002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02以下
ベンゼン	mg/L	0.001	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01以下
セレン及びその化合物	mg/L	0.002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01以下
1, 4-ジオキサン	mg/L	0.005	0.010	0.023	0.024	0.019	0.017	0.005未満	0.034	0.035	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.05以下
塩化ビニルモノマー	mg/L	0.0002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.002以下
生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	0.5	47	25	25	23	18	13	13	15	1.2	1.9	2.5	3.8	2.6	5.0	20以下	
水素イオン濃度 (pH)	pH	-	7.6 (21°C)	7.7 (23°C)	7.7 (21°C)	8.0 (23°C)	7.6 (21°C)	7.9 (23°C)	7.7 (21°C)	8.1 (23°C)	7.5 (21°C)	7.8 (23°C)	7.8 (21°C)	8.1 (22°C)	8.1 (21°C)	8.2 (22°C)	-	
浮遊物質量 (SS)	mg/L	1	21	14	17	9	8	15	17	7	25	27	1	2	3	4	-	
ほう素	mg/L	0.02	9.1	1.9	1.0	0.95	0.06	0.03	0.36	0.32	0.02未満	0.02未満	0.15	0.12	0.02未満	0.02未満	1 ²	
ふつ素	mg/L	0.08	2.1	0.65	0.94	0.99	0.11	0.13	0.14	0.15	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.08未満	0.09	0.09	0.8 ²	
アソニア、アソニウム化合物	mg/L	0.04	190	45	19	19	0.35	0.22	0.70	0.70	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	0.05未満	-	
亜硝酸化合物	mg/L	0.1	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	-											
硝酸化合物	mg/L	0.1	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	-											
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	0.2	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	10 ²											
塩化物イオン	mg/L	0.2	510	74	51	53	25	7.7	38	41	5.6	5.8	160	150	3.9	4.2	-	
硫酸イオン	mg/L	0.2	1.6	3.2	2.6	1.2	0.5	35	0.2未満	0.2未満	4.9	5.3	30	28	16	18	-	
重炭酸イオン (炭酸水素イオン)	mgHCO ₃ ⁻ /L	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
硫化物イオン	mg/L	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
採取時刻	-	-	14:52	14:20	14:34	14:45	13:14	13:27	13:06	13:12	13:27	13:22	11:13	11:25	9:12	9:16	-	
採取時の天候	-	-	晴れ	曇り	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	-									
気温	°C	-	10.3	2.0	10.2	0.7	11.5	3.0	11.5	3.3	7.8	3.3	10.4	3.7	8.0	2.2	-	
水温	°C	-	19.9	16.3	16.7	14.5	17.3	11.9	16.5	12.5	12.9	9.8	17.0	10.8	13.5	9.1	-	
色相	-	-	淡灰黄色	淡灰黄色	淡黄色	淡黄色	無色	淡黄色	淡黄色	濃黄色	淡灰黄色	濃黄色	無色	淡黄色	無色	無色	-	
臭気	-	-	強硫化水素臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	無臭	-	
濁り	-	-	有	有	無	無	有	有	有	有	有	有	無	無	無	無	-	
透視度	cm	-	40	25	50以上	50以上	37	33										

表 4-3 浸透水及び地下水測定結果表③

分析項目	単位	定量下限値	浸透水及び地下水														廃棄物処理法 地下水等検査 項目基準 ¹	
			地下水 (H16-1b)		地下水 (H16-15)		地下水 (Loc. 1a)		地下水 (Loc. 1b)		地下水 (H26-1a)		地下水 (H26-1b)		地下水 (H26-2)			
			令和6年12月10日	令和7年2月18日	令和6年12月10日	令和7年2月18日	令和6年12月10日	令和7年2月18日	令和6年12月10日	令和7年2月18日	令和6年12月10日	令和7年2月18日	令和6年12月10日	令和7年2月18日	令和6年12月10日	令和7年2月18日		
アルキル水銀	mg/L	0.0005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	検出されないこと	
総水銀	mg/L	0.0005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0005以下	
カドミウム	mg/L	0.0003	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.003以下	
鉛	mg/L	0.002	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.01以下	
六価クロム	mg/L	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.05以下	
砒素	mg/L	0.001	0.001	0.002	0.001未満	0.001未満	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.006	0.006	0.01以下	
全シアン	mg/L	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	検出されないこと	
ポリ塩化ビフェニル (PCB)	mg/L	0.0005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	検出されないこと	
トリクロロエチレン	mg/L	0.002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01以下	
テトラクロロエチレン	mg/L	0.0005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01以下	
ジクロロメタン	mg/L	0.002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02以下	
四塩化炭素	mg/L	0.0002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.002以下	
1, 2-ジクロロエタン	mg/L	0.0004	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.004以下	
1, 1-ジクロロエチレン	mg/L	0.002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1以下	
1, 2-ジクロロエチレン (シス体・トランス体の和)	mg/L	0.004	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.04以下	
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/L	0.0005	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1以下	
1, 1, 2-トリクロロエタン	mg/L	0.0006	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.006以下	
1, 3-ジクロロプロパン	mg/L	0.0002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.002以下	
チララム	mg/L	0.0006	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.006以下	
シマジン	mg/L	0.0003	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.003以下	
チオベンカルブ	mg/L	0.002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02以下	
ベンゼン	mg/L	0.001	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01以下	
セレン及びその化合物	mg/L	0.002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.01以下	
1, 4-ジオキサン	mg/L	0.005	0.005未満	0.005未満	0.011	0.011	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.005未満	0.05以下	
塩化ビニルモノマー	mg/L	0.0002	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.002以下	
生物化学的酸素要求量 (BOD)	mg/L	0.5	10	12	6.9	12	5.0	3.7	7.9	9.1	3.9	8.4	3.0	2.5	18	21	20以下	
水素イオン濃度 (pH)	pH	-	7.1(21°C)	7.3(23°C)	7.4(21°C)	7.7(22°C)	8.1(22°C)	7.5(21°C)	7.7(23°C)	7.9(21°C)	8.2(23°C)	8.1(21°C)	8.4(23°C)	7.3(21°C)	7.8(23°C)	-	-	
浮遊物質量 (SS)	mg/L	1	100	83	5	3	5	2	13	10	110	74	4	3	83	84	-	
ほう素	mg/L	0.02	0.02	0.02	0.43	0.39	0.11	0.10	0.08	0.08	0.02未満	0.02未満	0.11	0.10	0.07	0.09	1 ²	
ふつ素	mg/L	0.08	0.15	0.14	0.08未満	0.08未満	0.08	0.11	0.08未満	0.08未満	0.13	0.16	0.08未満	0.08未満	0.08	0.11	0.8 ²	
アンモニア, アンモニア化合物	mg/L	0.04	0.47	0.64	0.05未満	0.06	0.09	0.05未満	1.8	1.8	0.05未満	0.05未満	0.07	0.05未満	2.3	2.4	-	
亜硝酸化合物	mg/L	0.1	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	-	
硝酸化合物	mg/L	0.1	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.2	0.2	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	-	
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	0.2	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.3	0.3	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	0.2未満	10 ²	
塩化物イオン	mg/L	0.2	8.8	11	56	62	130	120	130	130	6.6	15	160	160	61	65	-	
硫酸イオン	mg/L	0.2	0.6	0.9	21	20	0.3	0.2	0.2	0.2未満	2.4	1.9	31	32	0.9	2.1	-	
重炭酸イオン (炭酸水素イオン)	mgHCO ₃ ⁻ /L	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
硫化物イオン	mg/L	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
採取時刻	-	-	9:21	9:31	9:08	9:16	11:23	11:35	11:32	11:45	11:37	11:47	13:05	11:58	11:19	11:28	-	
採取時の天候	-	-	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	-	
気温	°C	-	9.4	1.4	9.6	1.3	10.5	3.0	10.5	3.0	12.6	5.8	12.0	3.3	12.8	4.2	-	
水温	°C	-	15.4	8.5	14.7	10.4	16.2	11.5	16.3	10.9	15.6	9.2	16.7	9.4	14.4	9.2	-	
色相	-	-	濃黄色	濃黄色	無色	無色	無色	淡黄色	濃黄色	濃黄色	淡灰黄色	淡黄色	淡黄色	淡黄色	濃灰黄色	淡灰黄色	-	
臭気	-	-	微硫化水素臭	微土臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭	無臭	無臭	微土臭	無臭	微土臭	微土臭	無臭	無臭	微土臭	無臭	-	
濁り	-	-	有	有	無	無	無	無	有	有	有	有	有	有	有	有	-	
透視度	cm	-	8	9	50以上	50以上	50以上	12	17	6	13	41	43	9	14	-	-	
管頭下水位	m	-	-1.75	-1.61	-1.90	-2.12	-1.87	-2.23	-									

表 4-4 浸透水の濃度範囲（令和6年度下半期）

分析項目	適応基準	単位	基準値	浸透水(令和6年度下半期)																										
				9工区		8工区				ビートストックエリア				6工区				4工区				2工区				1工区				
				H16-11	R6.12	R7.2	R6.12	R7.2	R6.12	R7.2	R6.12	R7.2	R6.12	R7.2	R6.12	R7.2	R6.12	R7.2	R6.12	R7.2	R6.12	R7.2	R6.12	R7.2	R6.12	R7.2				
アルキル水銀	廃棄物処理法 地下水等検査 項目基準*1	mg/L	検出されないこと	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		mg/L	0.0005以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		mg/L	0.003以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		mg/L	0.01以下	0.002	0.011	<0.002	<0.002	<0.002	-	-	<0.002	0.002	<0.002	0.003	-	-	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.003	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	
		mg/L	0.05以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		mg/L	0.01以下	<0.001	0.001	<0.001	<0.001	0.015	0.004	-	<0.001	<0.001	0.002	0.002	-	-	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.004	0.001	0.001	0.001	<0.001	0.001	0.002	0.001		
		mg/L	検出されないこと	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		mg/L	0.01以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		mg/L	0.01以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		mg/L	0.01以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		mg/L	0.02以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		mg/L	0.002以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		mg/L	0.004以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		mg/L	0.1以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		mg/L	0.04以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		mg/L	1以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		mg/L	1,2-ジクロロエタン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		mg/L	1,1-ジクロロエタン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		mg/L	1,2-ジクロロエチレン(ジ体・トランヌ体の和)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		mg/L	1,1,1-トリクロロエタン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		mg/L	1,1,2-トリクロロエタン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		mg/L	1,3-ジクロロプロパン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		mg/L	チウラム	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		mg/L	シマジン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		mg/L	チオベンカルブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		mg/L	ベンゼン	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		mg/L	セレン及びその化合物	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		mg/L	1,4-ジオキサン	<0.005	0.009	<0.005	0.008	0.01	0.023	-	<0.005	<0.005	0.005	0.006	-	-	0.017	0.016	0.025	0.029	<0.005	0.009	0.024	0.019	0.017	<0.005	0.034	0.035		
		mg/L	クロロエチレン(塩化ビニルモノマー)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		mg/L	生物化学的酸素要求量(BOD)	20以下	29	26	25	26	47	25	-	-	20	14	10	18	-	-	24	30	17	28	31	18	25	23	18	13	13	15
		mg/L	ほう素	1*	1.8	1.8	1.3	1.1	9.1	1.9	-	-	0.95	0.98	0.93	0.9	-	-	1.5	1.6	2.0	1.8	0.52	0.19	1.0	0.95	0.06	0.03	0.36	0.32
		mg/L	ふつ素	0.8*	2.2	1.8	1.0	0.93	2.1	0.65	-	-	0.98	1.0	0.68	0.77	-	-	0.88	0.97	1.1	1.2	0.57	0.23	0.94	0.99	0.11	0.13	0.14	0.15
		mg/L	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10*	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	-	-	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	-	-	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	<0.2	
		mg/L	ダイオキシン(Total TEQ)	環境基準*3</																										

表 4-6 地下水の濃度範囲（令和 6 年度下半期）

表 4-7 令和 5 年度までの地下水の基準超過回数と濃度範囲

*1 地下水等検査項目基準：一般廃棄物の最終処分場及び産業廃棄物の最終処分場に係る技術上の基準を定める省令（昭和52年3月14日総理府・厚生省第1号）別表第二等

*2 地下水環境基準：地下水の水質汚濁に係る環境基準について（平成9年3月13日環境庁告示第10号）別表

*3 ダイオキシン類による大気の汚染、水質の汚濁（水底の汚染を含む。）及び土壤汚染に係る環境基準（平成 11 年 12 月 27 日環境庁告示第 68 号）別表を準用する。

*4 数値0は定量下限値未満を示す

※基準値超過回数/測定実施回数

基準超過1~9回

基準超過10~19回

基準超過20以上

基準超過值

4.1.2 浸透水及び地下水水質調査結果表（ダイオキシン類）

表 4-8 ダイオキシン類測定結果表（浸透水）

分析項目	単位	浸透水											基準値
		No. 3b 令和6年10月15日	No. 5b 令和6年10月15日	H16-3 令和6年11月5日	H16-5 令和6年10月15日	H16-6 令和6年11月5日	H16-10 令和6年10月15日	H16-11 令和6年11月5日	H16-13 令和6年10月15日	H17-15 令和6年10月15日	H26-3a 令和6年10月15日	H26-3b 令和6年10月15日	
TotalTEQ	pg-TEQ/L	0.028	0.039	0.14	0.096	0.16	0.028	0.075	0.13	0.061	0.041	0.043	1以下
PCDDs+PCDFs	pg-TEQ/L	0.025	0.026	0.12	0.086	0.087	0.024	0.055	0.098	0.040	0.038	0.041	
Co-PCB	pg-TEQ/L	0.0033	0.013	0.018	0.0096	0.076	0.0037	0.020	0.030	0.021	0.0028	0.0016	
浮遊物質量	mg/L	3	11	12	8	5	<1	5	35	9	4	15	
採取時刻	-	11:58	12:15	11:55	10:38	11:33	12:18	11:06	10:05	11:50	11:36	11:15	
採取時の天候	-	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	
気温	°C	23.8	24.9	17.5	24.8	19.0	23.3	16.8	24.2	26.0	24.7	25.1	
水温	°C	22.0	22.6	19.0	22.1	17.7	20.8	19.7	22.5	20.6	18.4	18.6	
色相	-	淡黄色	淡灰黄色	淡灰黄色	淡黄色	淡黄色	淡黄色	淡黄色	淡黄色	淡黄色	淡黄色	淡黄色	
臭気	-	微硫化水素臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭	強硫化水素臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭	
濁り	-	無	有	無	有	有	無	微濁	有	有	有	無	
透視度	cm	50以上	37	50以上	37	40	50以上	45	12	16	36	50以上	
管頭下水位	m	-2.40	-3.92	-3.74	-2.34	-18.77	-3.20	-4.20	-3.27	-3.00	-1.58	-1.66	
pH	pH	6.89	6.97	7.27	6.83	7.52	7.58	6.77	7.19	7.25	7.10	6.94	
EC	mS/m	40.5	129	140	88.4	56.5	103	78.6	335	118	74.3	105	
ORP	mV	-108	-107	-113	47	-175	-134	-16	-89	-120	-109	-61	
ORP (水素電極に対する換算値 [-0.7198*水温+224.36+ORP])	mV	101	101	98	255	37	75	194	119	90	102	150	-

■ : 基準値超過

注1) 地下水、浸透水については、検出下限値未満のものは検出下限値の1/2の値を用いて各異性体のTEQを算出した。

注2) 測定結果におけるPCDD+PCDFとCo-PCBの和がTotalTEQ値と異なるのは、TotalTEQの算出方法が各2,3,7,8-位塩素置換異性体の毒性等量を計算し、その合計値をもって有効数字2桁で数値を丸めることとなっており、個々の異性体の毒性等量についての丸めの操作を行わないことによる。

基準値：ダイオキシン類による大気の汚染、水質の汚濁（水底の汚染を含む。）及び土壤汚染に係る環境基準（平成11年12月27日環境庁告示第68号）別表を準用。

表 4-9 ダイオキシン類測定結果表 (地下水)

分析項目	単位	地下水									基準値
		Loc. 1	Loc. 1a	Loc. 1b	Loc. 3	H16-15	H17-19	H26-1a	H26-1b	H26-2	
		令和6年11月5日	令和6年11月5日	令和6年11月5日	令和6年11月5日	令和6年10月15日	令和6年11月5日	令和6年10月15日	令和6年11月5日	令和6年10月15日	
TotalTEQ	pg-TEQ/L	0.026	0.027	0.045	0.13	0.042	0.094	0.22	0.50	0.12	1以下
PCDDs+PCDFs	pg-TEQ/L	0.025	0.026	0.043	0.13	0.041	0.092	0.12	0.49	0.12	
Co-PCB	pg-TEQ/L	0.0013	0.0014	0.0024	0.0050	0.0014	0.0015	0.10	0.0053	0.0027	
浮遊物質量	mg/L	<1	11	15	5	9	350	25	8	76	
採取時刻	-	10:10	10:30	10:55	10:10	10:15	10:43	11:20	11:23	10:55	
採取時の天候	-	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	
気温	℃	16.4	19.6	17.3	17.8	26.1	15.6	25.4	18.4	28.3	
水温	℃	16.4	17.2	16.9	15.5	20.2	14.4	22.8	16.8	21.8	
色相	-	無色	淡黄色	淡黄色	無色	淡黄色	濃灰黄色	淡黄色	淡黄色	淡黄色	
臭気	-	無臭	無臭	無臭	無臭	微硫化水素臭	微硫化水素臭	微土臭	無臭	微金気臭	
濁り	-	無	無	有	無	無	有	有	無	有	-
透視度	cm	50以上	50以上	40	50以上	50以上	4	32	50以上	6	-
管頭下水位	m	-1.74	-1.77	-1.66	-2.43	-1.67	-1.74	-1.84	-1.97	-1.78	-
pH	pH	7.48	7.20	7.13	7.52	7.15	7.01	7.34	7.41	6.81	-
EC	mS/m	88.0	92.9	82.7	29.2	117	40.3	51.6	83.4	115	-
ORP	mV	59	-57	-49	-10	-152	-13	32	-127	-94	-
ORP (水素電極に対する換算値 [-0.7198*水温+224.36+ORP])	mV	272	155	163	203	58	201	240	85	115	-

注1) 地下水、浸透水については、検出下限値未満のものは検出下限値の1/2の値を用いて各異性体のTEQを算出した。

注2) 測定結果におけるPCDD+PCDFとCo-PCBの和がTotalTEQ値と異なるのは、TotalTEQの算出方法が各2,3,7,8-位塩素置換異性体の毒性等量を計算し、その合計値をもって有効数字2桁で数値を丸めることとなっており、個々の異性体の毒性等量についての丸めの操作を行わないことによる。

基準値：ダイオキシン類による大気の汚染、水質の汚濁（水底の汚染を含む。）及び土壤汚染に係る環境基準（平成11年12月27日環境庁告示第68号）別表を準用。

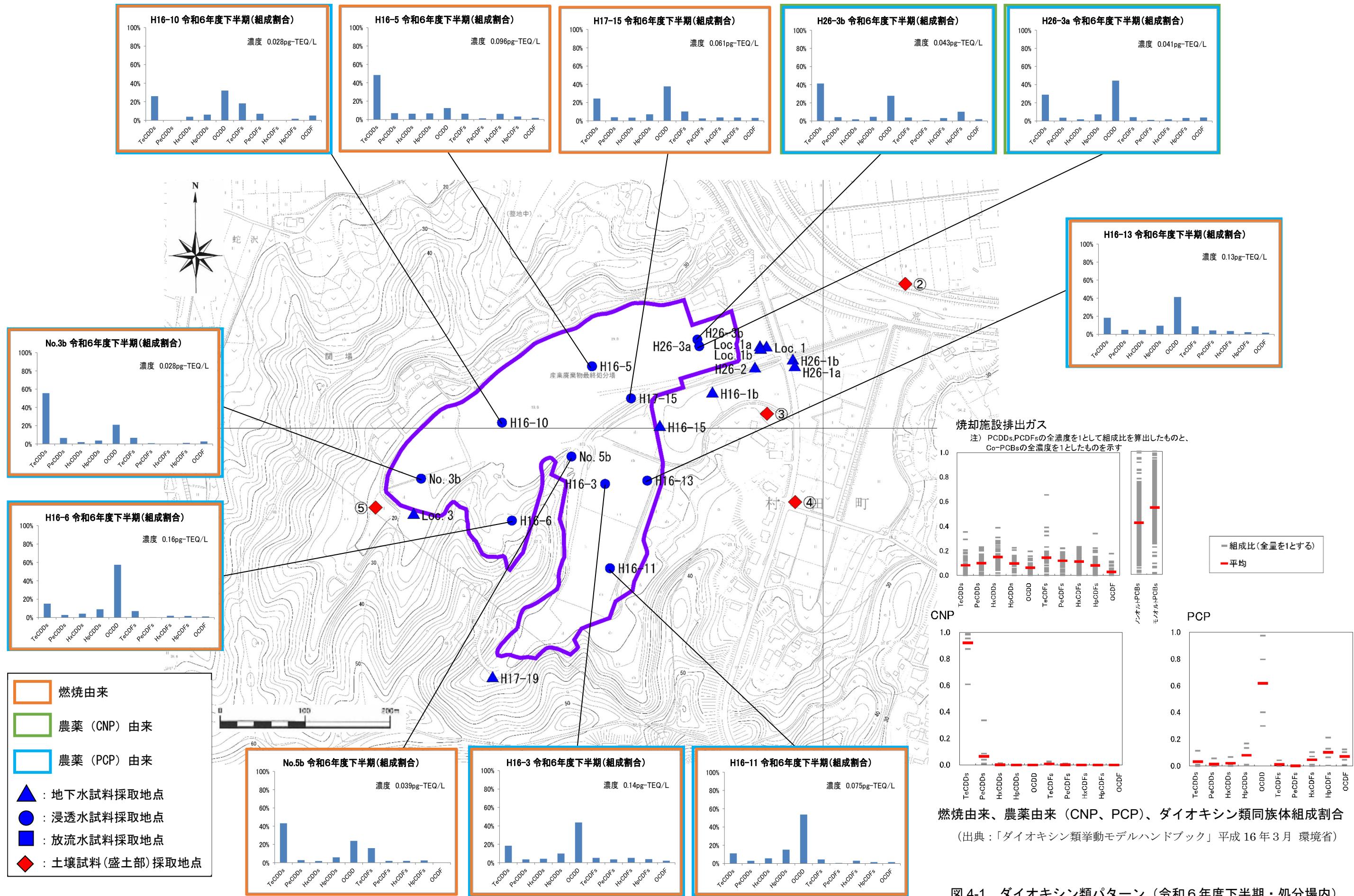


図4-1 ダイオキシン類パターン (令和6年度下半期・処分場内)

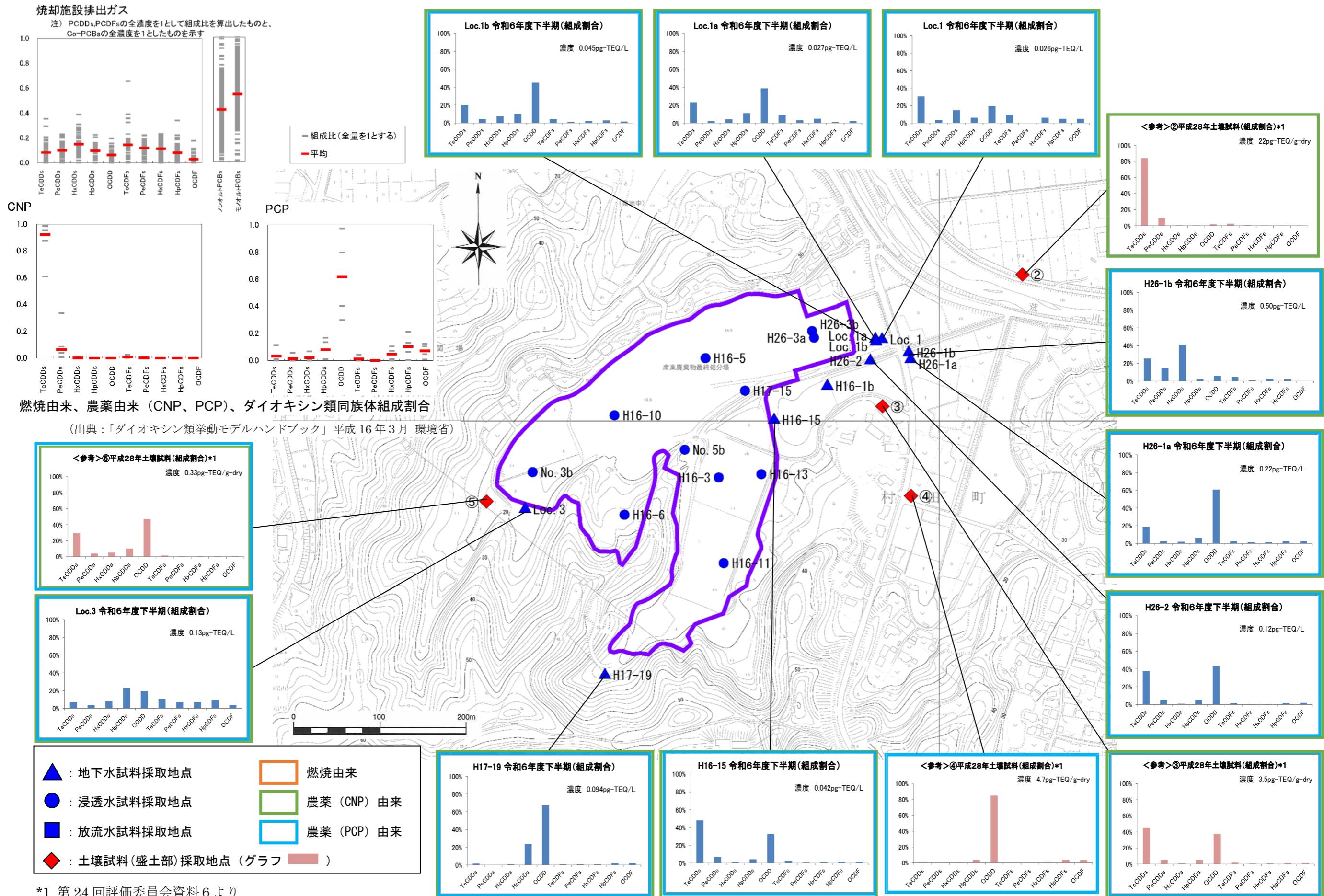
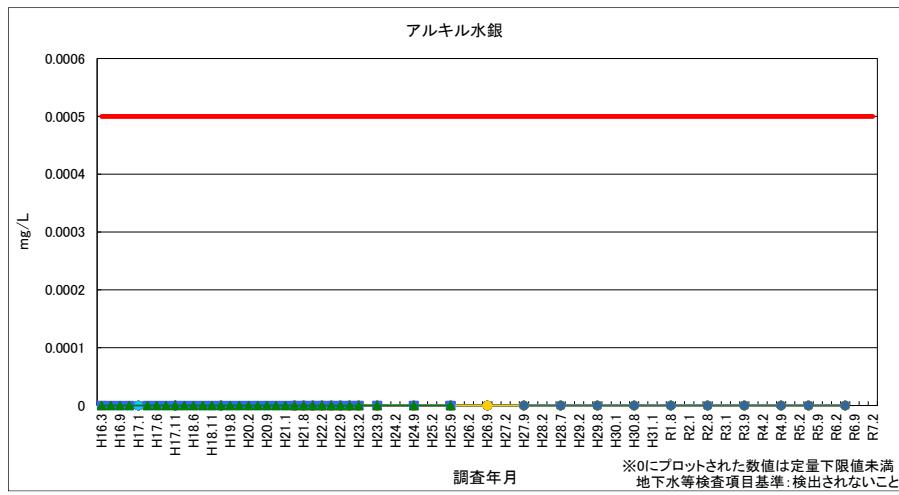


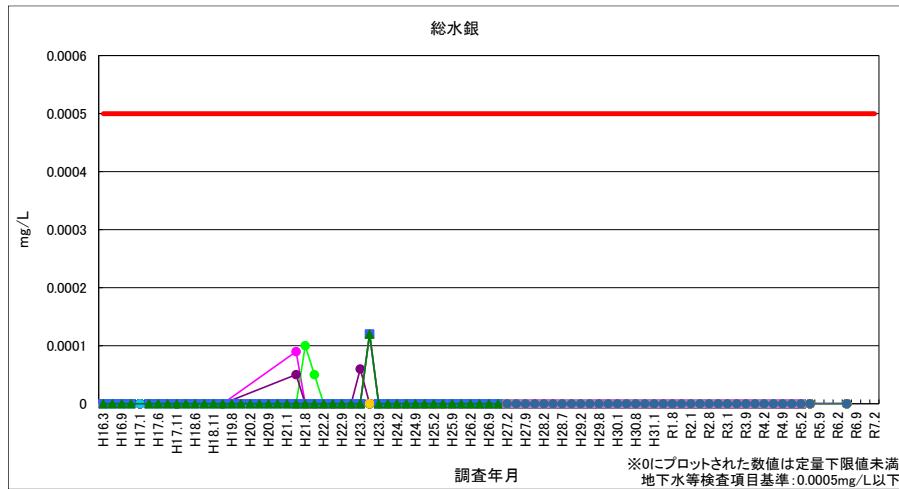
図 4-2 ダイオキシン類パターン（令和 6 年度下半期・処分場外）

4.2 浸透水及び地下水水質測定結果図



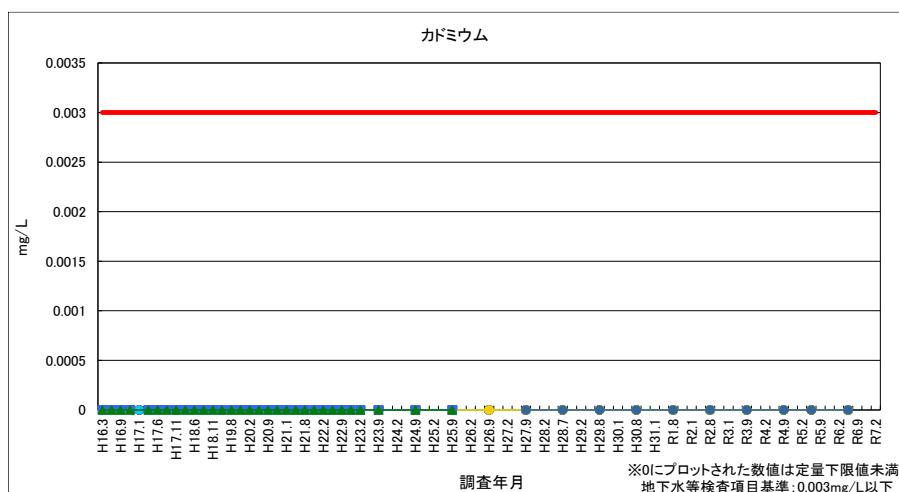
※Loc.1b の平成 18 年 8 月以前と、Loc.3 の平成 19 年 8 月以前は事業者設置井戸によるもの

図 4-3 アルキル水銀（浸透水・地下水）



※Loc.1b の平成 18 年 8 月以前と、Loc.3 の平成 19 年 8 月以前は事業者設置井戸によるもの

図 4-4 総水銀（浸透水・地下水）



※Loc.1b の平成 18 年 8 月以前と、Loc.3 の平成 19 年 8 月以前は事業者設置井戸によるもの

図 4-5 カドミウム（浸透水・地下水）

No.3(浸透水)
No.5(浸透水)
No.5b(浸透水)
H16-1b(下流側地下水)
H16-3(浸透水)
H16-5(浸透水)
H16-6(浸透水)
H16-10(浸透水)
H16-11(浸透水)
H16-13(浸透水)
H16-15(下流側地下水)
H17-15(浸透水)
H17-19(上流側地下水)
Loc.1(下流側地下水)
Loc.1a(下流側地下水)
Loc.1b(下流側地下水)
Loc.3(上流側地下水)
H26-1a(下流側地下水)
H26-1b(下流側地下水)
H26-2(下流側地下水)
H26-3a(浸透水)
H26-3b(浸透水)
地下水等検査項目基準

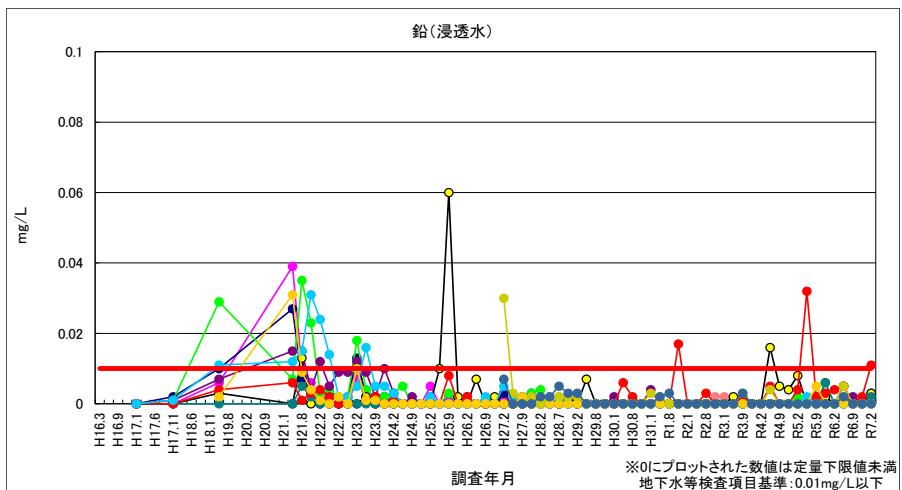
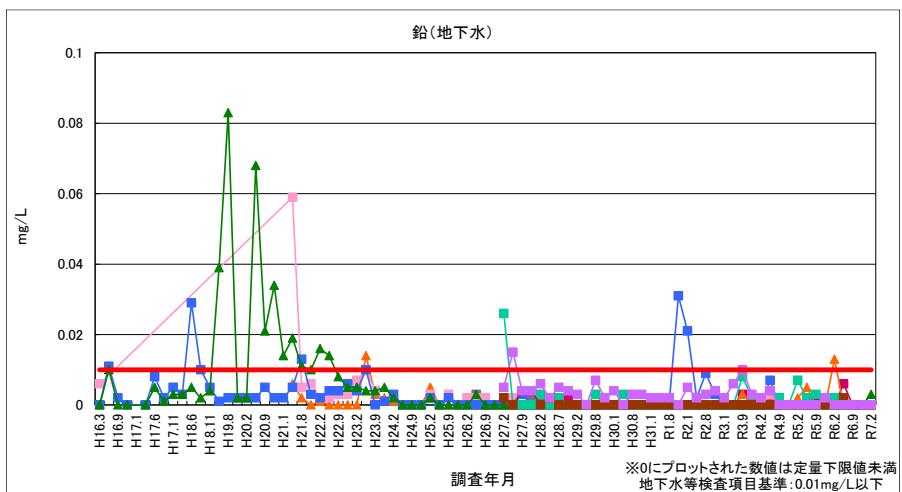
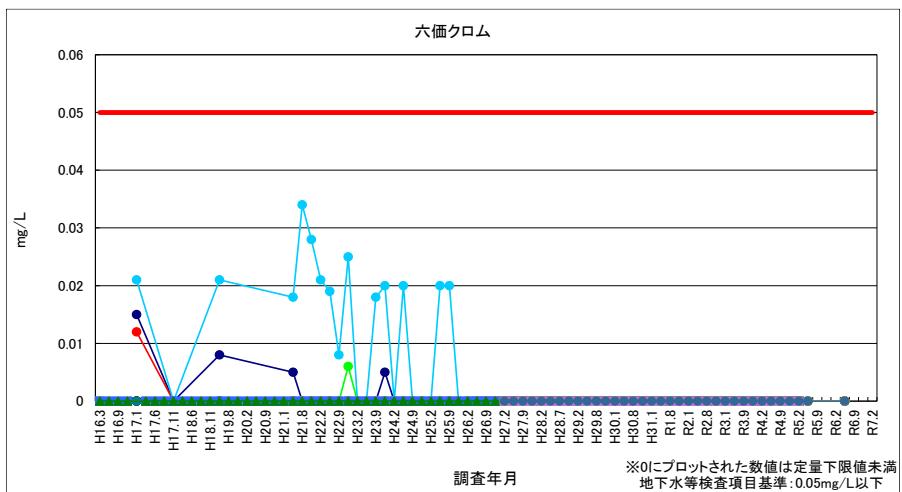


図 4-6 鉛 (浸透水)



※Loc.1b の平成 18 年 8 月以前と、Loc.3 の平成 19 年 8 月以前は事業者設置井戸によるもの

図 4-7 鉛 (地下水)



※Loc.1b の平成 18 年 8 月以前と、Loc.3 の平成 19 年 8 月以前は事業者設置井戸によるもの

図 4-8 六価クロム (浸透水・地下水)

- No.3(浸透水)
- No.3b(浸透水)
- No.5(浸透水)
- No.5b(浸透水)
- H16-1b(下流側地下水)
- H16-3(浸透水)
- H16-5(浸透水)
- H16-6(浸透水)
- H16-10(浸透水)
- H16-11(浸透水)
- H16-13(浸透水)
- H16-15(下流側地下水)
- H17-15(浸透水)
- H17-19(上流側地下水)
- Loc.1(下流側地下水)
- Loc.1a(下流側地下水)
- Loc.1b(下流側地下水)
- Loc.3(上流側地下水)
- H26-1a(下流側地下水)
- H26-1b(下流側地下水)
- H26-2(下流側地下水)
- H26-3a(浸透水)
- H26-3b(浸透水)
- 地下水等検査項目基準

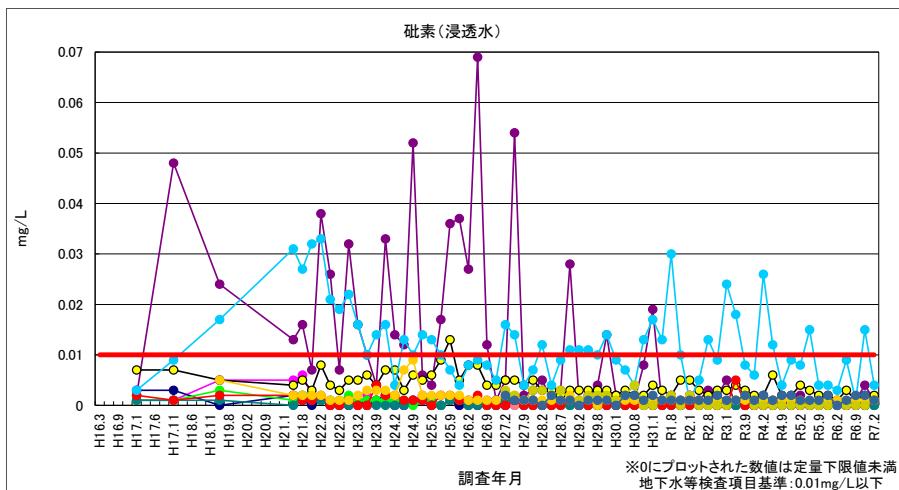


図 4-9 硝素 (浸透水)

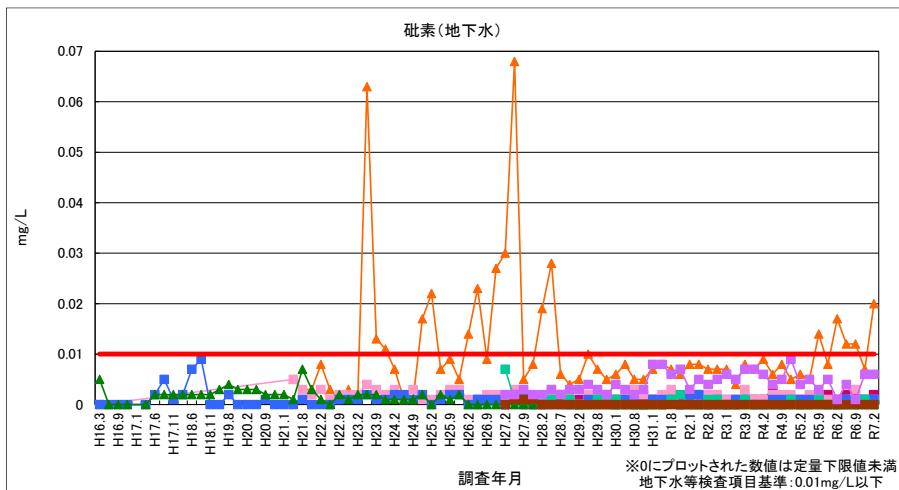
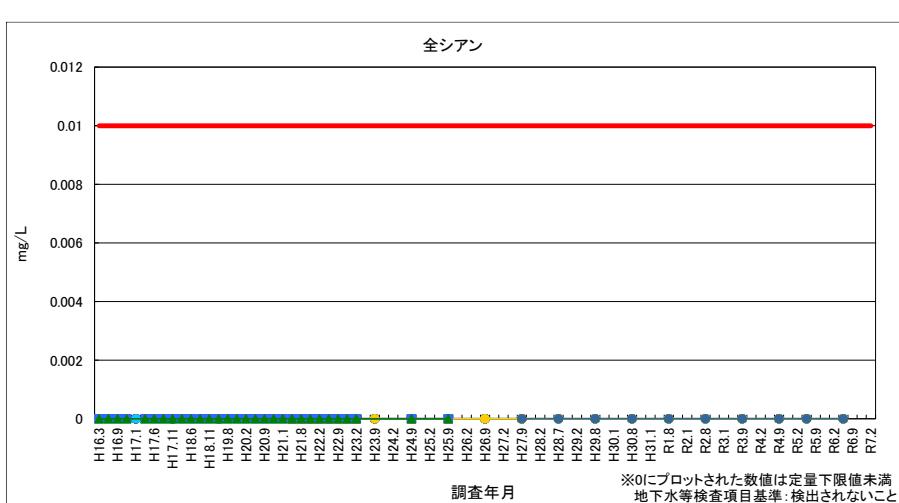
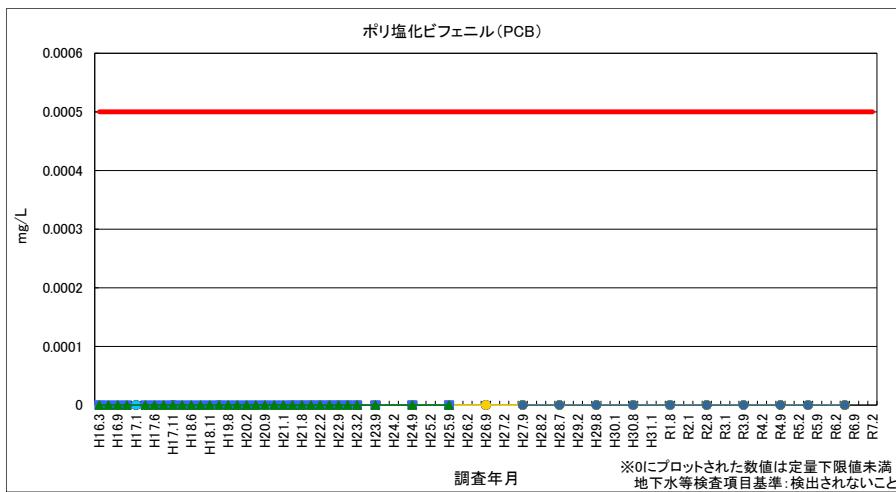


図 4-10 硝素 (地下水)

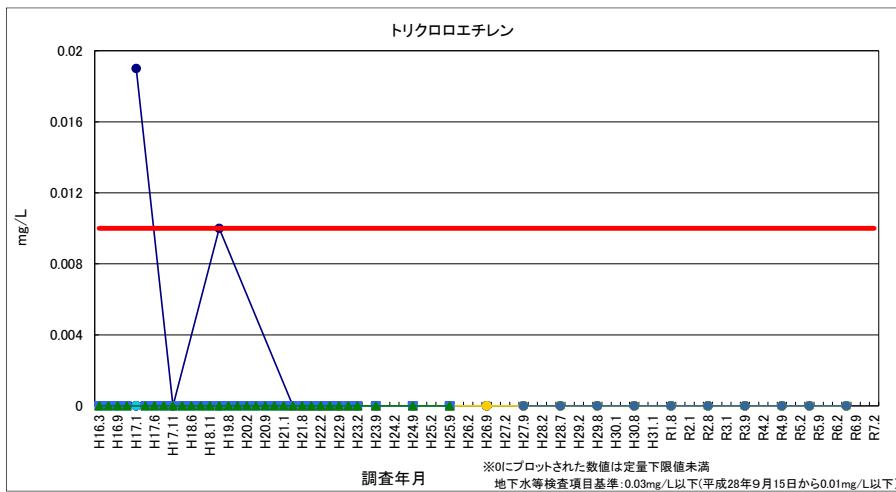


- No.3(浸透水)
- No.3b(浸透水)
- No.5(浸透水)
- No.5b(浸透水)
- H16-1b(下流側地下水)
- H16-3(浸透水)
- H16-5(浸透水)
- H16-6(浸透水)
- H16-10(浸透水)
- H16-11(浸透水)
- H16-13(浸透水)
- H16-15(下流側地下水)
- H17-15(浸透水)
- H17-19(上流側地下水)
- Loc.1(下流側地下水)
- Loc.1a(下流側地下水)
- Loc.1b(下流側地下水)
- Loc.3(上流側地下水)
- H26-1a(下流側地下水)
- H26-1b(下流側地下水)
- H26-2(下流側地下水)
- H26-3a(浸透水)
- H26-3b(浸透水)
- 地下水等検査項目基準



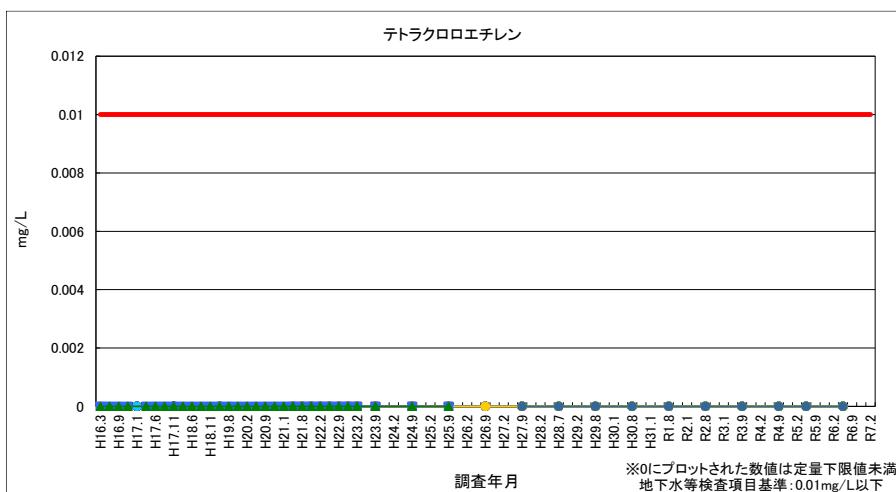
※Loc.1b の平成 18 年 8 月以前と、Loc.3 の平成 19 年 8 月以前は事業者設置井戸によるもの

図 4-12 ポリ塩化ビフェニル (PCB) (浸透水・地下水)



※Loc.1b の平成 18 年 8 月以前と、Loc.3 の平成 19 年 8 月以前は事業者設置井戸によるもの

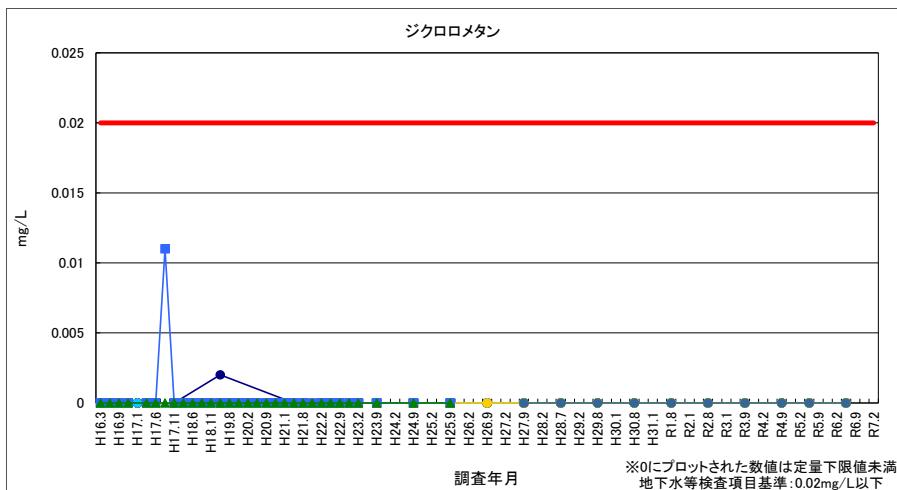
図 4-13 トリクロロエチレン (浸透水・地下水)



※Loc.1b の平成 18 年 8 月以前と、Loc.3 の平成 19 年 8 月以前は事業者設置井戸によるもの

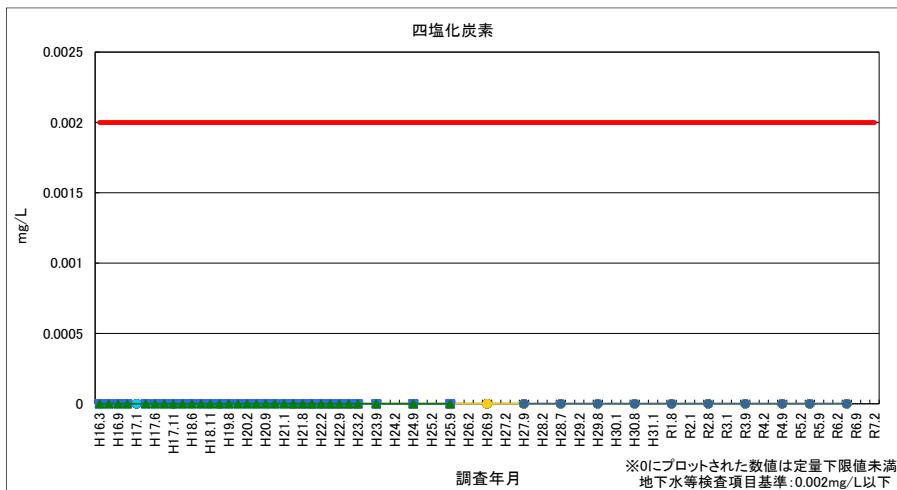
図 4-14 テトラクロロエチレン (浸透水・地下水)

- No.3(浸透水)
- No.3b(浸透水)
- No.5(浸透水)
- No.5b(浸透水)
- H16-1b(下流側地下水)
- H16-3(浸透水)
- H16-5(浸透水)
- H16-6(浸透水)
- H16-10(浸透水)
- H16-11(浸透水)
- H16-13(浸透水)
- H16-15(下流側地下水)
- H17-15(浸透水)
- H17-19(上流側地下水)
- Loc.1(下流側地下水)
- Loc.1a(下流側地下水)
- Loc.1b(下流側地下水)
- Loc.3(上流側地下水)
- H26-1a(下流側地下水)
- H26-1b(下流側地下水)
- H26-2(下流側地下水)
- H26-3a(浸透水)
- H26-3b(浸透水)
- 地下水等検査項目基準



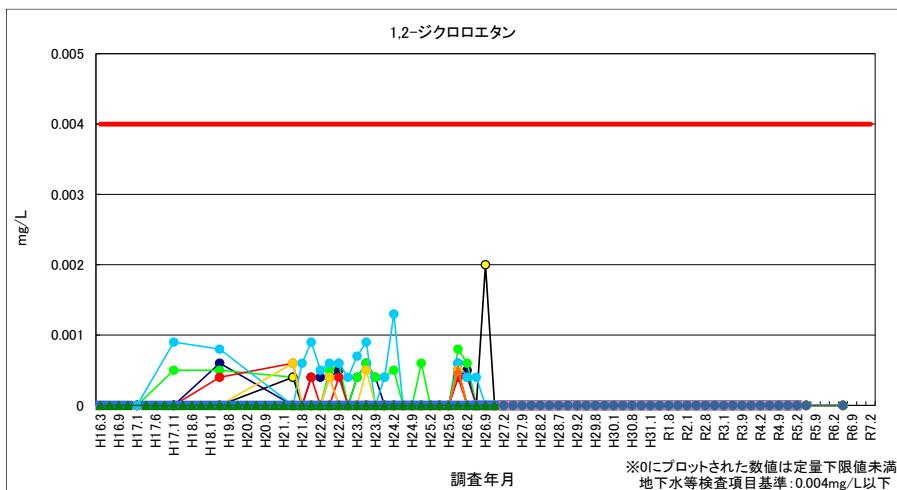
※Loc.1b の平成 18 年 8 月以前と、Loc.3 の平成 19 年 8 月以前は事業者設置井戸によるもの

図 4-15 ジクロロメタン (浸透水・地下水)



※Loc.1b の平成 18 年 8 月以前と、Loc.3 の平成 19 年 8 月以前は事業者設置井戸によるもの

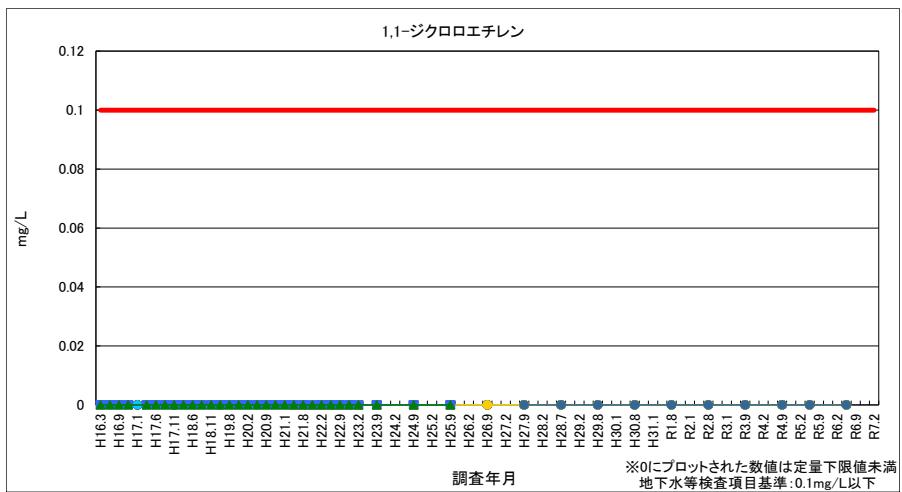
図 4-16 四塩化炭素 (浸透水・地下水)



※Loc.1b の平成 18 年 8 月以前と、Loc.3 の平成 19 年 8 月以前は事業者設置井戸によるもの

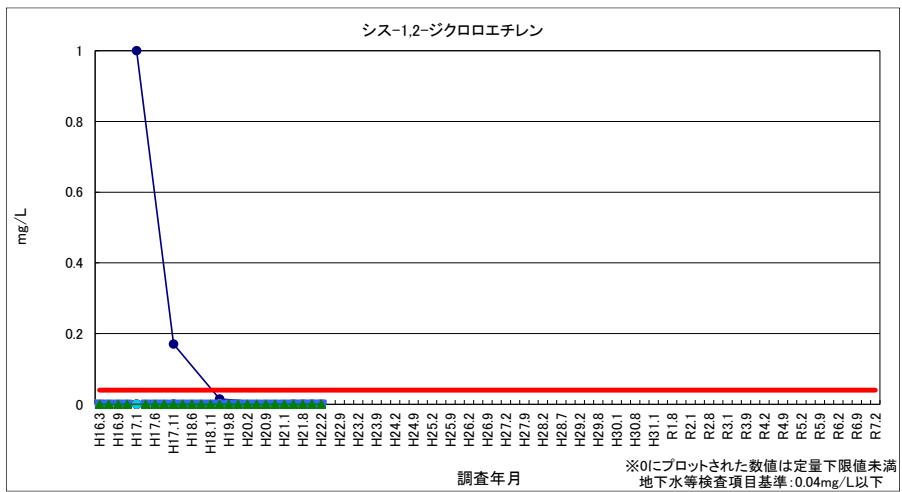
図 4-17 1,2-ジクロロエタン (浸透水・地下水)

- No.3(浸透水)
- No.3b(浸透水)
- No.5(浸透水)
- No.5b(浸透水)
- H16-1b(下流側地下水)
- H16-3(浸透水)
- H16-5(浸透水)
- H16-6(浸透水)
- H16-10(浸透水)
- H16-11(浸透水)
- H16-13(浸透水)
- H16-15(下流側地下水)
- H17-15(浸透水)
- H17-19(上流側地下水)
- Loc.1(下流側地下水)
- Loc.1a(下流側地下水)
- Loc.1b(下流側地下水)
- Loc.3(上流側地下水)
- H26-1a(下流側地下水)
- H26-1b(下流側地下水)
- H26-2(下流側地下水)
- H26-3a(浸透水)
- H26-3b(浸透水)
- 地下水等検査項目基準



※Loc.1b の平成 18 年 8 月以前と、Loc.3 の平成 19 年 8 月以前は事業者設置井戸によるもの

図 4-18 1,1-ジクロロエチレン (浸透水・地下水)



※Loc.1b の平成 18 年 8 月以前と、Loc.3 の平成 19 年 8 月以前は事業者設置井戸によるもの

※平成 22 年度より 1,2-ジクロロエチレンに移行して測定

図 4-19 シス-1,2-ジクロロエチレン (浸透水・地下水)

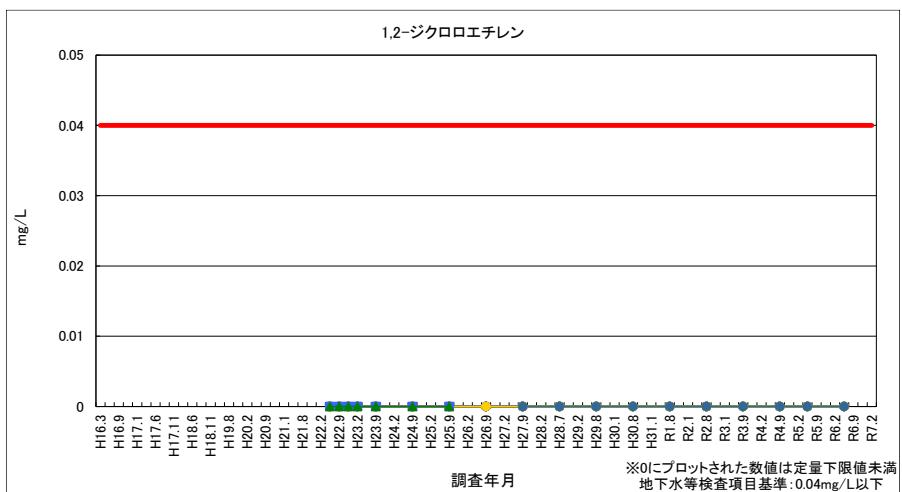
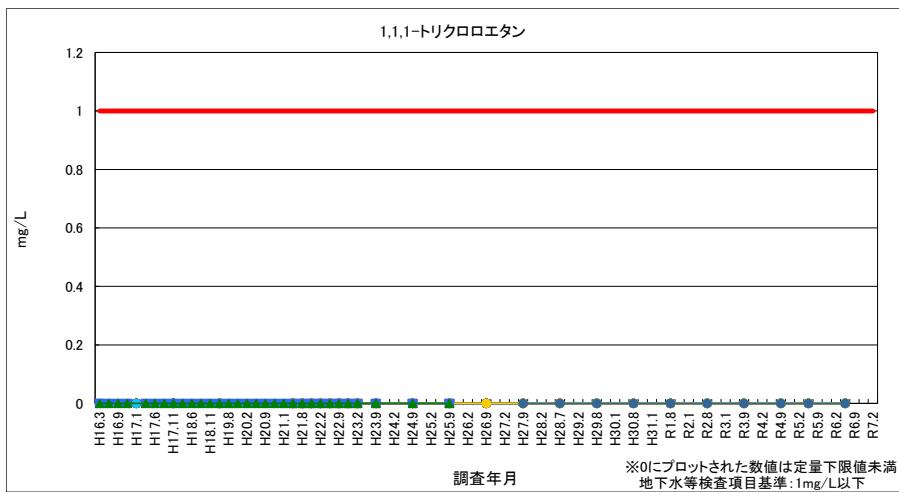


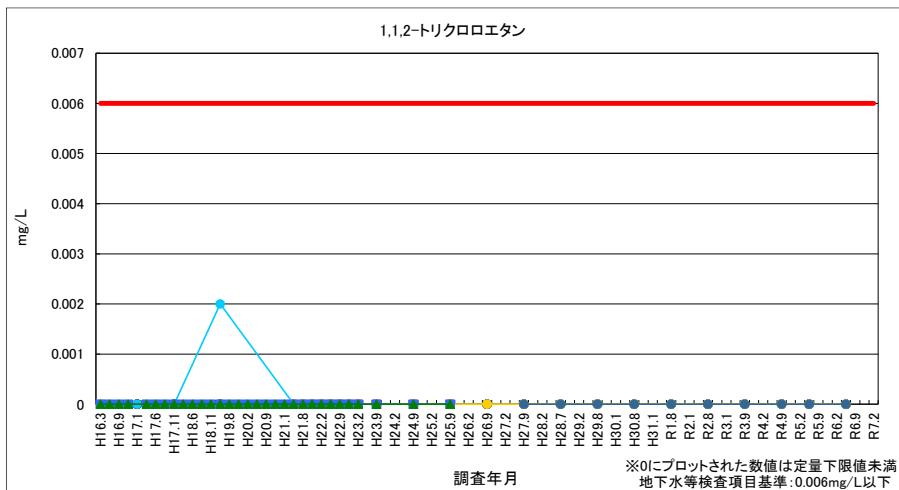
図 4-20 1,2-ジクロロエチレン (浸透水・地下水)

- No.3(浸透水)
- No.3b(浸透水)
- No.5(浸透水)
- No.5b(浸透水)
- H16-1b(下流側地下水)
- H16-3(浸透水)
- H16-5(浸透水)
- H16-6(浸透水)
- H16-10(浸透水)
- H16-11(浸透水)
- H16-13(浸透水)
- H16-15(下流側地下水)
- H17-15(浸透水)
- H17-19(上流側地下水)
- Loc.1(下流側地下水)
- Loc.1a(下流側地下水)
- Loc.1b(下流側地下水)
- Loc.3(上流側地下水)
- H26-1a(下流側地下水)
- H26-1b(下流側地下水)
- H26-2(下流側地下水)
- H26-3a(浸透水)
- H26-3b(浸透水)
- 地下水等検査項目基準



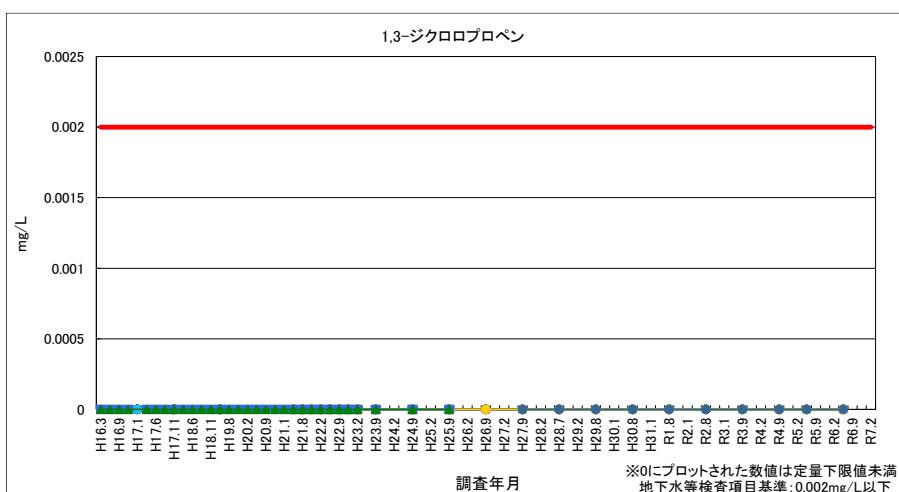
※Loc.1b の平成 18 年 8 月以前と、Loc.3 の平成 19 年 8 月以前は事業者設置井戸によるもの

図 4-21 1,1,1-トリクロロエタン (浸透水・地下水)



※Loc.1b の平成 18 年 8 月以前と、Loc.3 の平成 19 年 8 月以前は事業者設置井戸によるもの

図 4-22 1,1,2-トリクロロエタン (浸透水・地下水)



※Loc.1b の平成 18 年 8 月以前と、Loc.3 の平成 19 年 8 月以前は事業者設置井戸によるもの

図 4-23 1,3-ジクロロプロペン (浸透水・地下水)

- No.3(浸透水)
- No.3b(浸透水)
- No.5(浸透水)
- No.5b(浸透水)
- H16-1b(下流側地下水)
- H16-3(浸透水)
- H16-5(浸透水)
- H16-6(浸透水)
- H16-10(浸透水)
- H16-11(浸透水)
- H16-13(浸透水)
- H16-15(下流側地下水)
- H17-15(浸透水)
- H17-19(上流側地下水)
- Loc.1(下流側地下水)
- Loc.1a(下流側地下水)
- Loc.1b(下流側地下水)
- Loc.3(上流側地下水)
- H26-1a(下流側地下水)
- H26-1b(下流側地下水)
- H26-2(下流側地下水)
- H26-3a(浸透水)
- H26-3b(浸透水)
- 地下水等検査項目基準

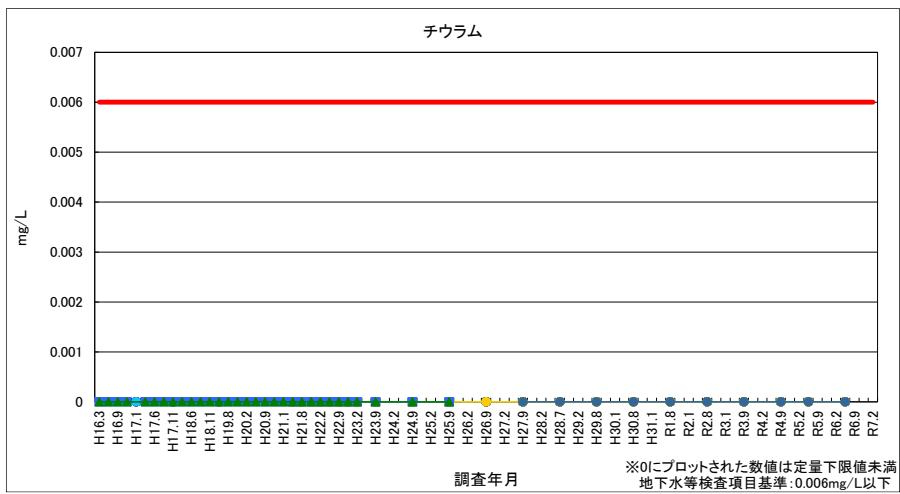


図 4-24 チウラム (浸透水・地下水)

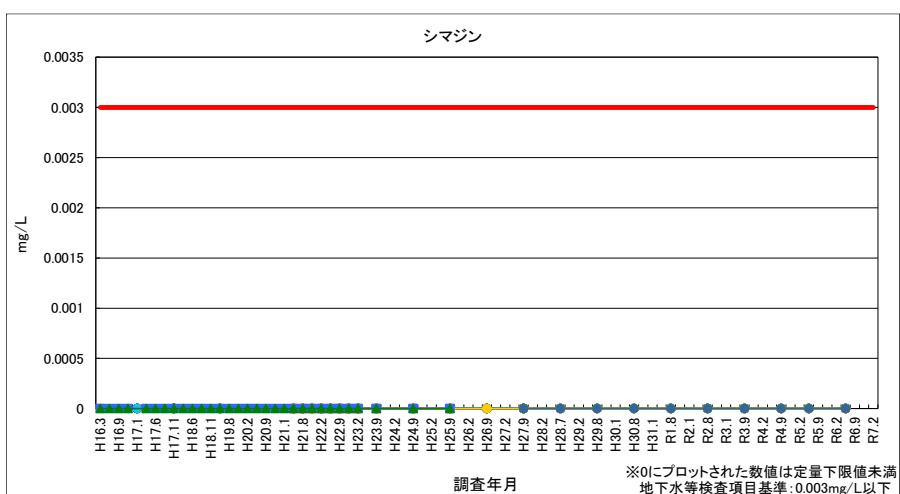


図 4-25 シマジン (浸透水・地下水)

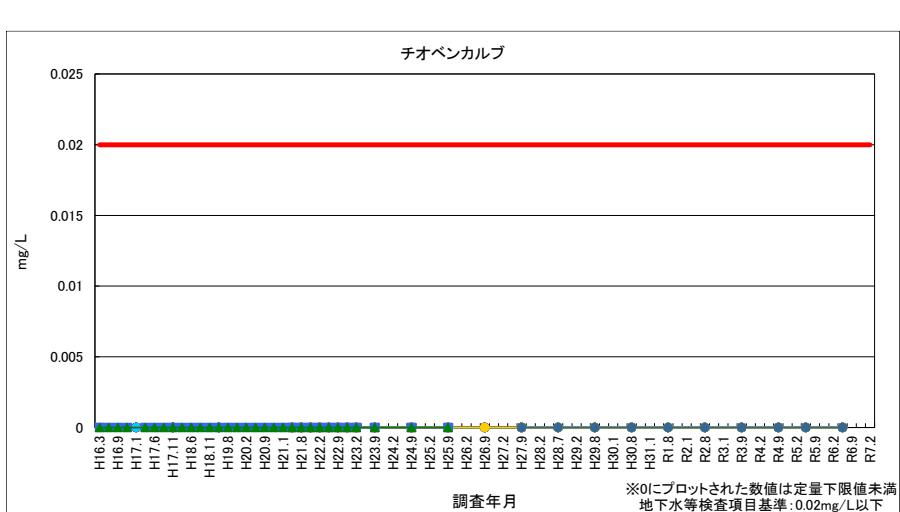


図 4-26 チオベンカルブ (浸透水・地下水)

- No.3(浸透水)
- No.3b(浸透水)
- No.5(浸透水)
- No.5b(浸透水)
- H16-1b(下流側地下水)
- H16-3(浸透水)
- H16-5(浸透水)
- H16-6(浸透水)
- H16-10(浸透水)
- H16-11(浸透水)
- H16-13(浸透水)
- H16-15(下流側地下水)
- H17-15(浸透水)
- H17-19(上流側地下水)
- Loc.1(下流側地下水)
- Loc.1a(下流側地下水)
- Loc.1b(下流側地下水)
- ▲ Loc.3(上流側地下水)
- H26-1a(下流側地下水)
- H26-1b(下流側地下水)
- H26-2(下流側地下水)
- H26-3a(浸透水)
- H26-3b(浸透水)
- 地下水等検査項目基準

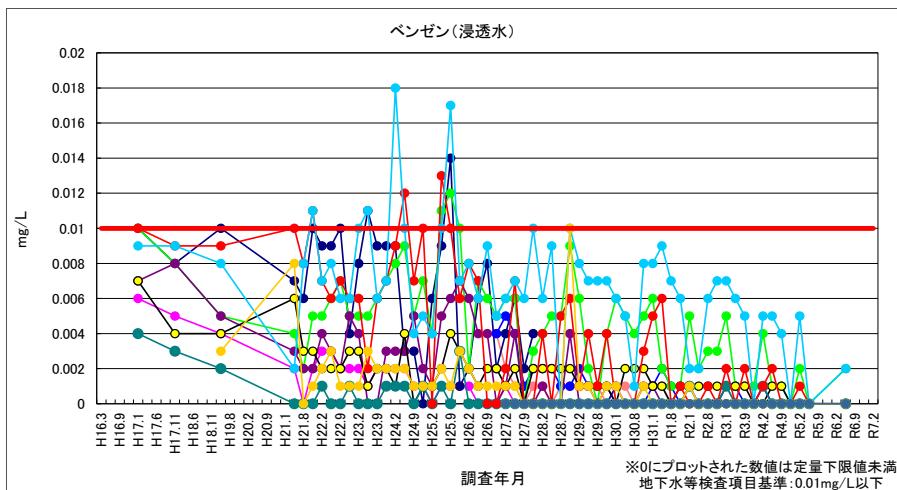
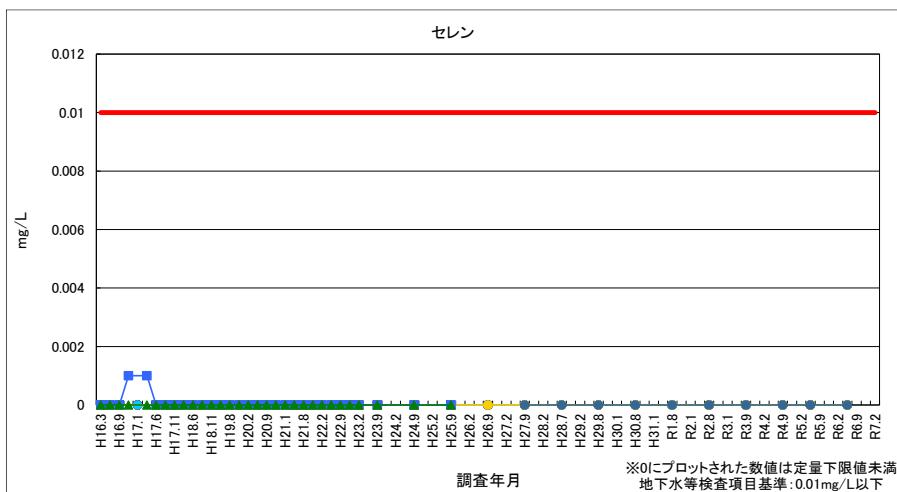


図 4-27 ベンゼン (浸透水)



※Loc.1b の平成 18 年 8 月以前と、Loc.3 の平成 19 年 8 月以前は事業者設置井戸によるもの

図 4-28 セレン (浸透水・地下水)

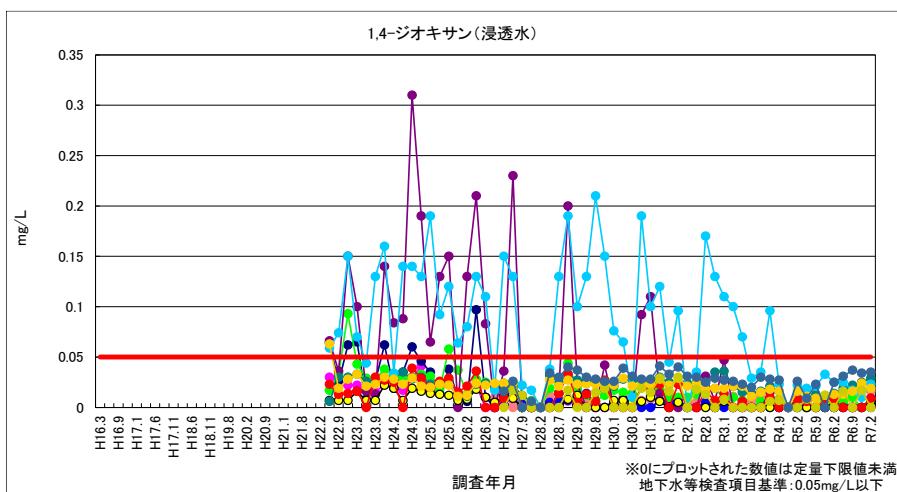


図 4-29 1,4-ジオキサン (浸透水)

- No.3 (浸透水)
- No.3b (浸透水)
- No.5 (浸透水)
- No.5b (浸透水)
- H16-1b (下流側地下水)
- H16-3 (浸透水)
- H16-5 (浸透水)
- H16-6 (浸透水)
- H16-10 (浸透水)
- H16-11 (浸透水)
- H16-13 (浸透水)
- H16-15 (下流側地下水)
- H17-15 (浸透水)
- H17-19 (上流側地下水)
- Loc.1 (下流側地下水)
- Loc.1a (下流側地下水)
- Loc.1b (下流側地下水)
- Loc.3 (上流側地下水)
- H26-1a (下流側地下水)
- H26-1b (下流側地下水)
- H26-2 (下流側地下水)
- H26-3a (浸透水)
- H26-3b (浸透水)
- 地下水等検査項目基準

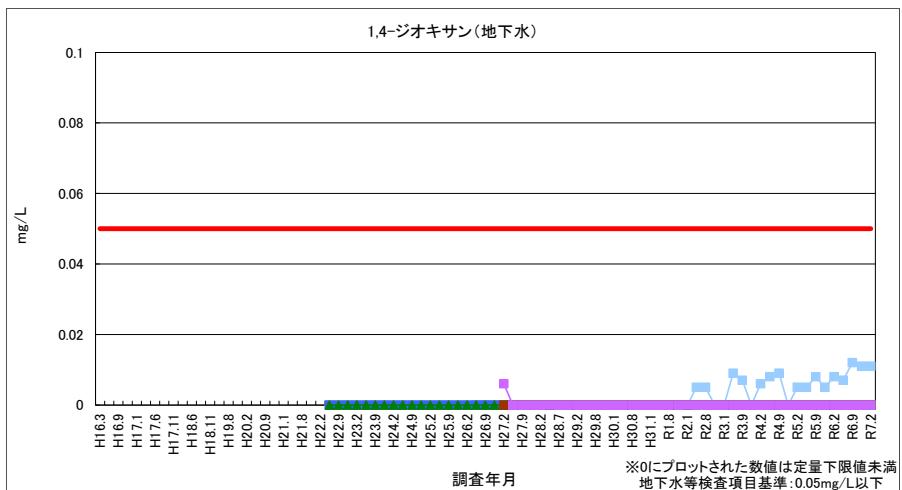


図 4-30 1,4-ジオキサン (地下水)

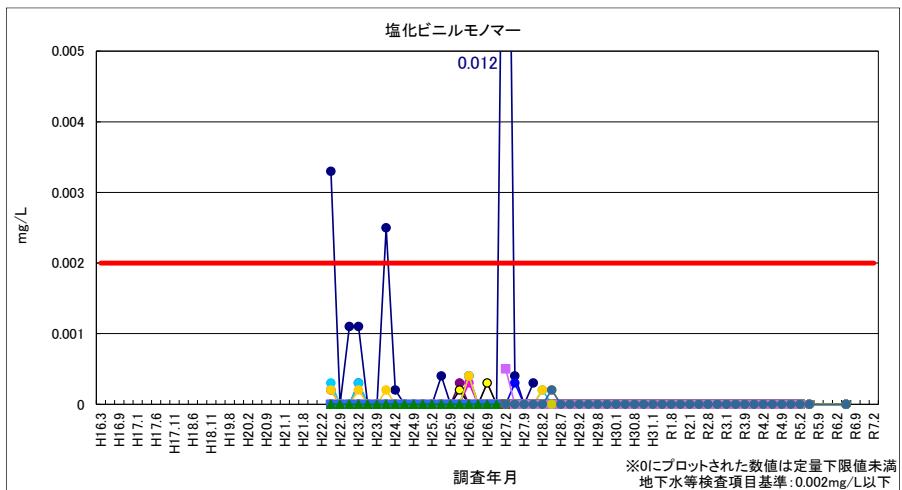


図 4-31 塩化ビニルモノマー (浸透水・地下水)

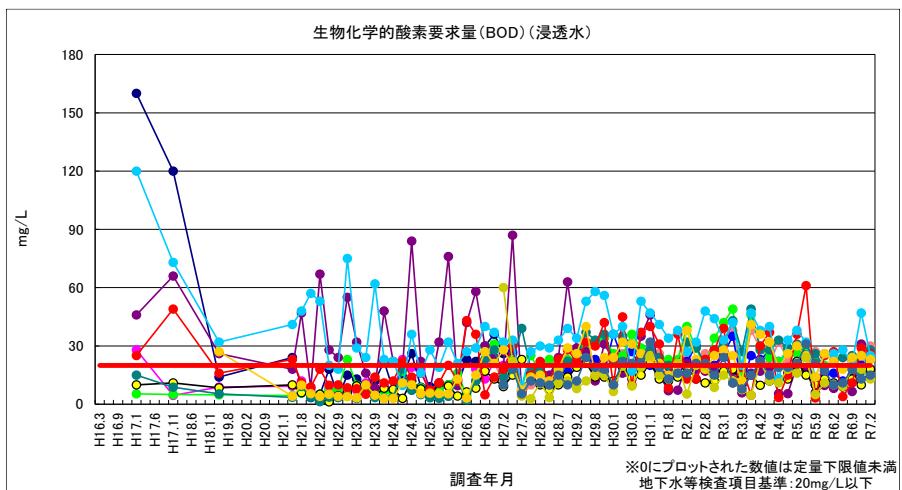
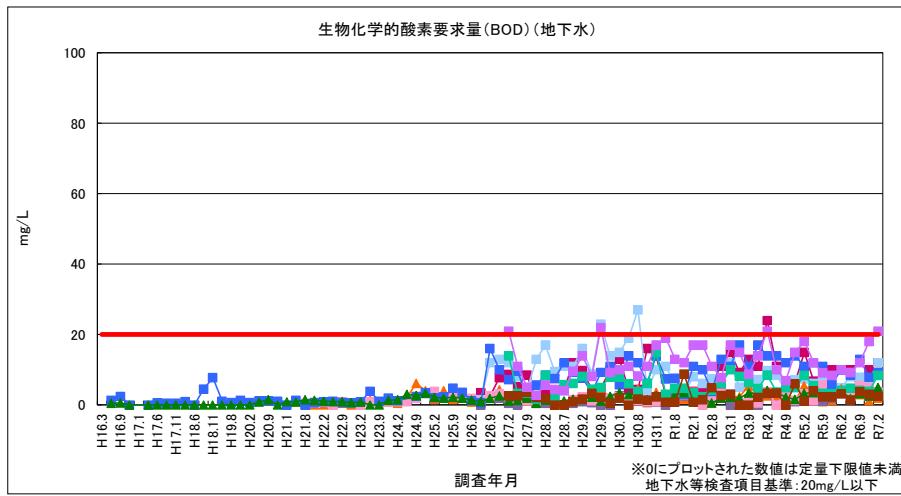


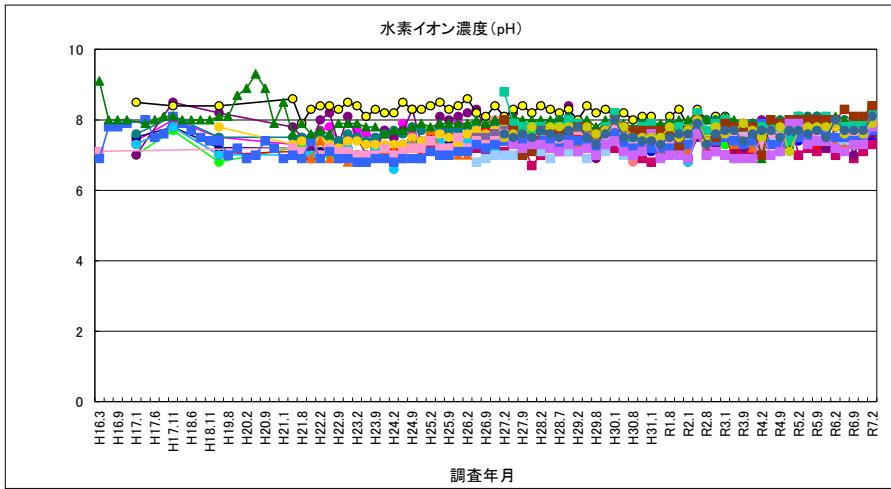
図 4-32 生物化学的酸素要求量 (BOD) (浸透水)

- No.3(浸透水)
- No.3b(浸透水)
- No.5(浸透水)
- No.5b(浸透水)
- H16-1b(下流側地下水)
- H16-3(浸透水)
- H16-5(浸透水)
- H16-6(浸透水)
- H16-10(浸透水)
- H16-11(浸透水)
- H16-13(浸透水)
- H16-15(下流側地下水)
- H17-15(浸透水)
- H17-19(上流側地下水)
- Loc.1(下流側地下水)
- Loc.1a(下流側地下水)
- Loc.1b(下流側地下水)
- Loc.3(上流側地下水)
- H26-1a(下流側地下水)
- H26-1b(下流側地下水)
- H26-2(下流側地下水)
- H26-3a(浸透水)
- H26-3b(浸透水)
- 地下水等検査項目基準



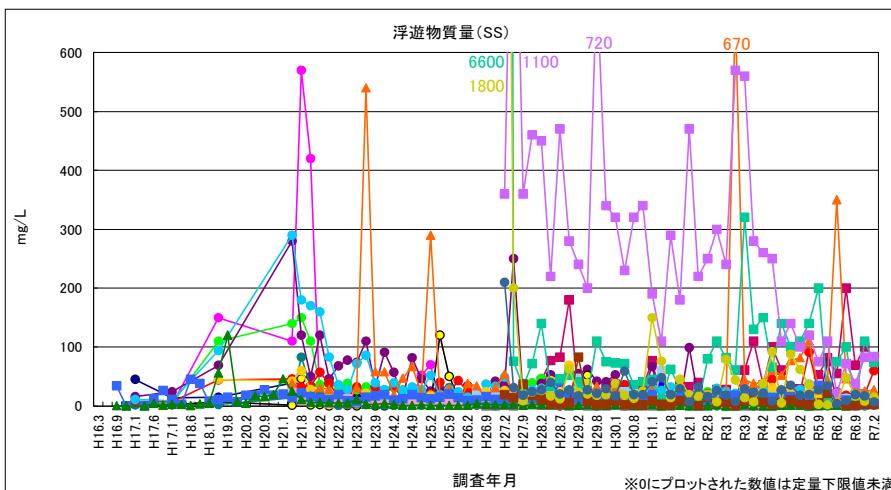
※Loc.1b の平成 18 年 8 月以前と、Loc.3 の平成 19 年 8 月以前は事業者設置井戸によるもの

図 4-33 生物化学的酸素要求量 (BOD) (地下水)



※Loc.1b の平成 18 年 8 月以前と、Loc.3 の平成 19 年 8 月以前は事業者設置井戸によるもの

図 4-34 水素イオン濃度 (pH) (浸透水・地下水)



※Loc.1b の平成 18 年 8 月以前と、Loc.3 の平成 19 年 8 月以前は事業者設置井戸によるもの

図 4-35 浮遊物質量 (SS) (浸透水・地下水)

- No.3(浸透水)
- No.3b(浸透水)
- No.5(浸透水)
- No.5b(浸透水)
- H16-1b(下流側地下水)
- H16-3(浸透水)
- H16-5(浸透水)
- H16-6(浸透水)
- H16-10(浸透水)
- H16-11(浸透水)
- H16-13(浸透水)
- H16-15(下流側地下水)
- H17-15(浸透水)
- H17-19(上流側地下水)
- Loc.1(下流側地下水)
- Loc.1a(下流側地下水)
- Loc.1b(下流側地下水)
- Loc.3(上流側地下水)
- H26-1a(下流側地下水)
- H26-1b(下流側地下水)
- H26-2(下流側地下水)
- H26-3a(浸透水)
- H26-3b(浸透水)
- 地下水等検査項目基準

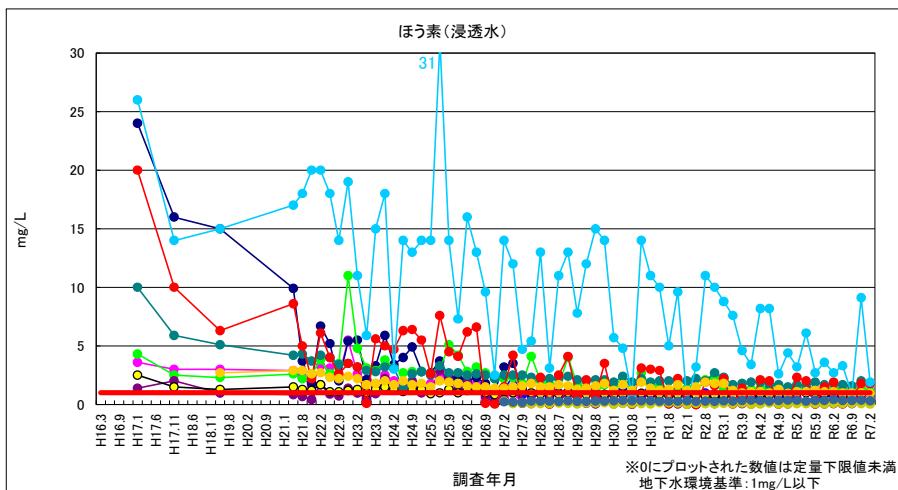
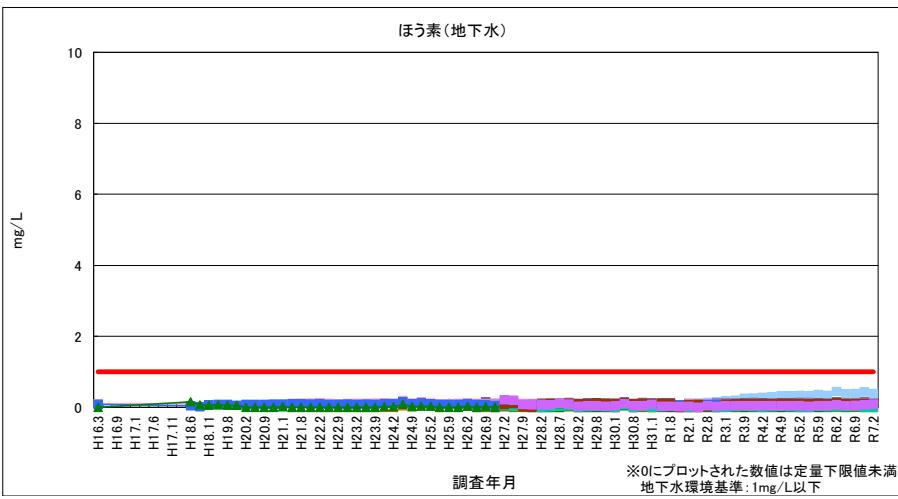


図 4-36 ほう素(浸透水)



※Loc.1b の平成 18 年 8 月以前と、Loc.3 の平成 19 年 8 月以前は事業者設置井戸によるもの

図 4-37 ほう素(地下水)

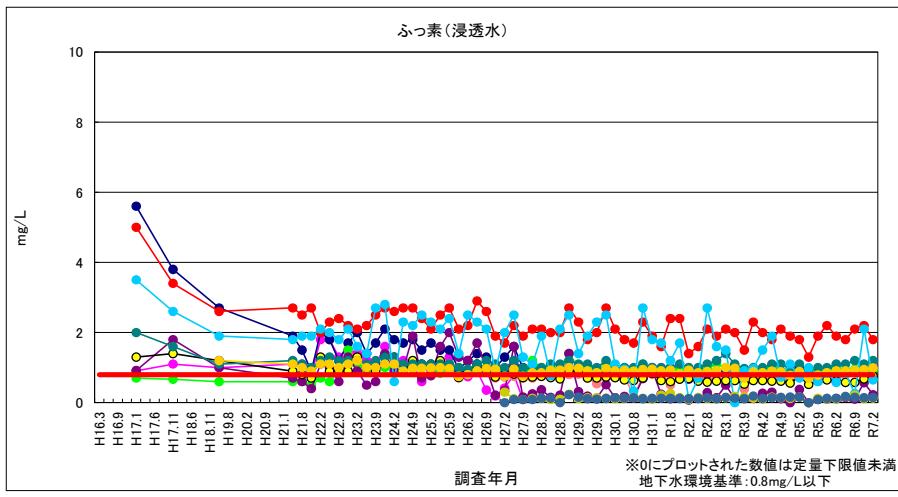
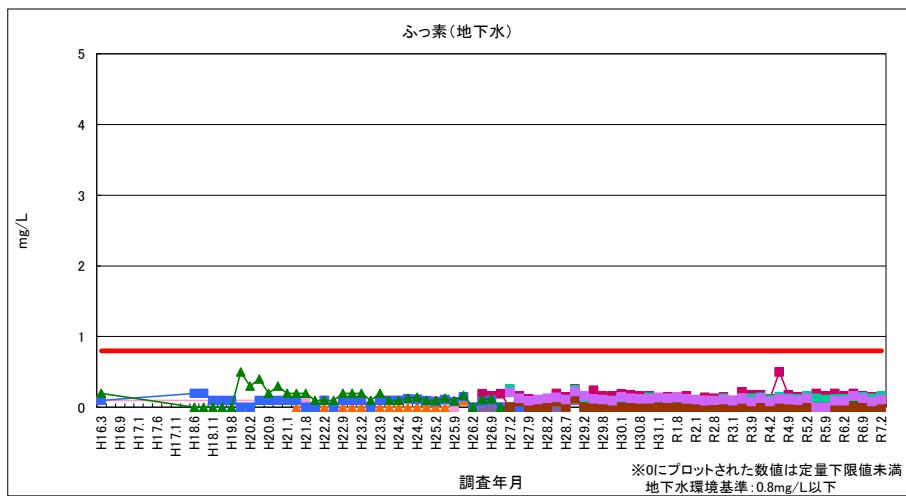


図 4-38 ふつ素(浸透水)

- No.3(浸透水)
- No.3b(浸透水)
- No.5(浸透水)
- No.5b(浸透水)
- H16-1b(下流側地下水)
- H16-3(浸透水)
- H16-6(浸透水)
- H16-10(浸透水)
- H16-11(浸透水)
- H16-13(浸透水)
- H16-15(下流側地下水)
- H17-15(浸透水)
- H17-19(上流側地下水)
- Loc.1(下流側地下水)
- Loc.1a(下流側地下水)
- Loc.1b(下流側地下水)
- Loc.3(上流側地下水)
- H26-1a(下流側地下水)
- H26-1b(下流側地下水)
- H26-2(下流側地下水)
- H26-3a(浸透水)
- H26-3b(浸透水)
- 地下水環境基準



※Loc.1b の平成 18 年8月以前と、Loc.3 の平成 19 年8月以前は事業者設置井戸によるもの

図 4-39 ふつ素 (地下水)

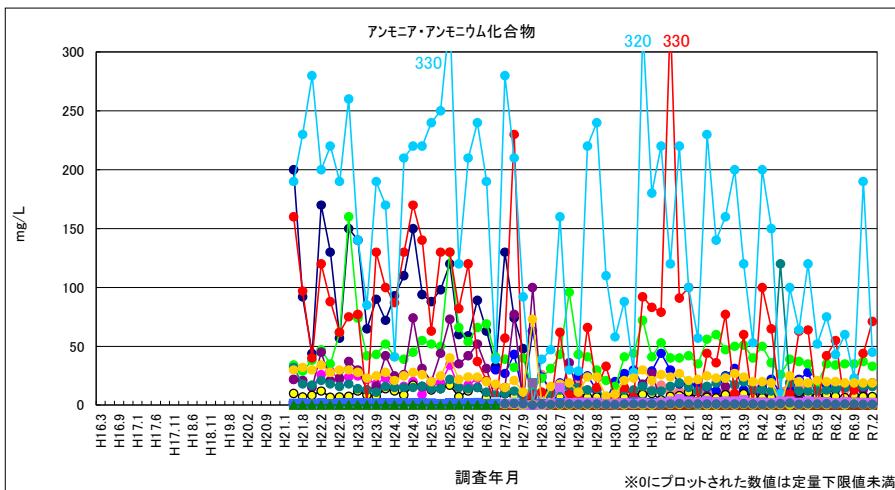


図 4-40 アンモニア、アンモニウム化合物 (浸透水・地下水)

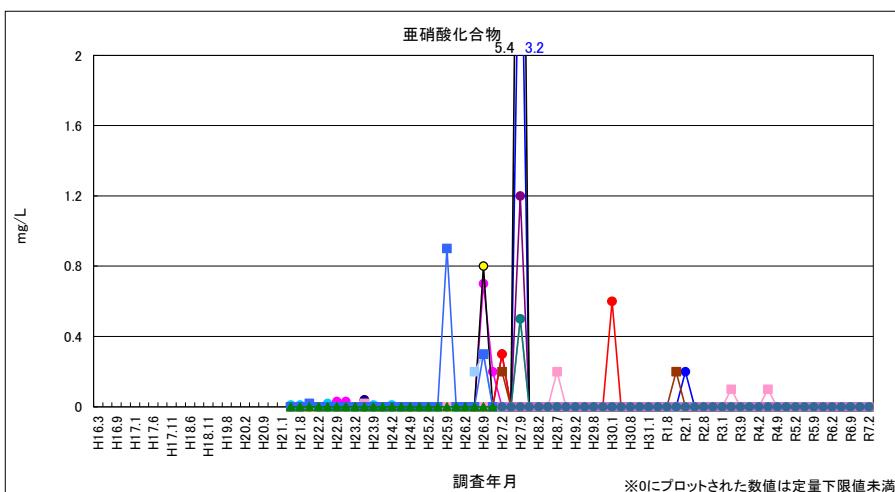


図 4-41 亜硝酸化合物 (浸透水・地下水)

- No.3(浸透水)
- No.3b(浸透水)
- No.5(浸透水)
- No.5b(浸透水)
- H16-1b(下流側地下水)
- H16-3(浸透水)
- H16-5(浸透水)
- H16-6(浸透水)
- H16-10(浸透水)
- H16-11(浸透水)
- H16-13(浸透水)
- H16-15(下流側地下水)
- H17-15(浸透水)
- H17-19(上流側地下水)
- Loc.1(下流側地下水)
- Loc.1a(下流側地下水)
- Loc.1b(下流側地下水)
- Loc.3(上流側地下水)
- H26-1a(下流側地下水)
- H26-1b(下流側地下水)
- H26-2(下流側地下水)
- H26-3a(浸透水)
- H26-3b(浸透水)
- 地下水環境基準

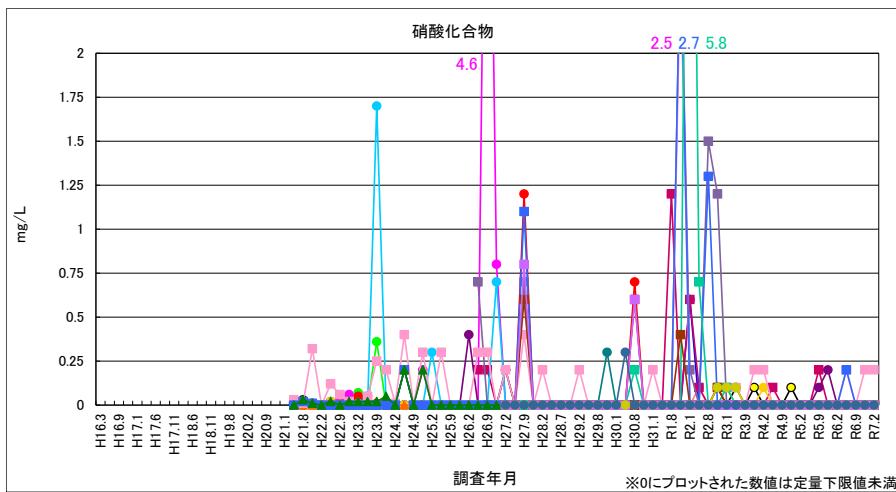
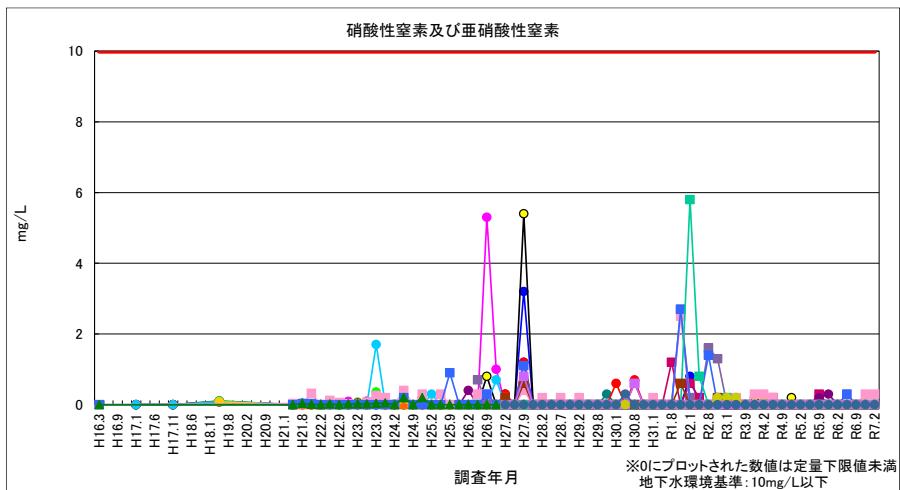
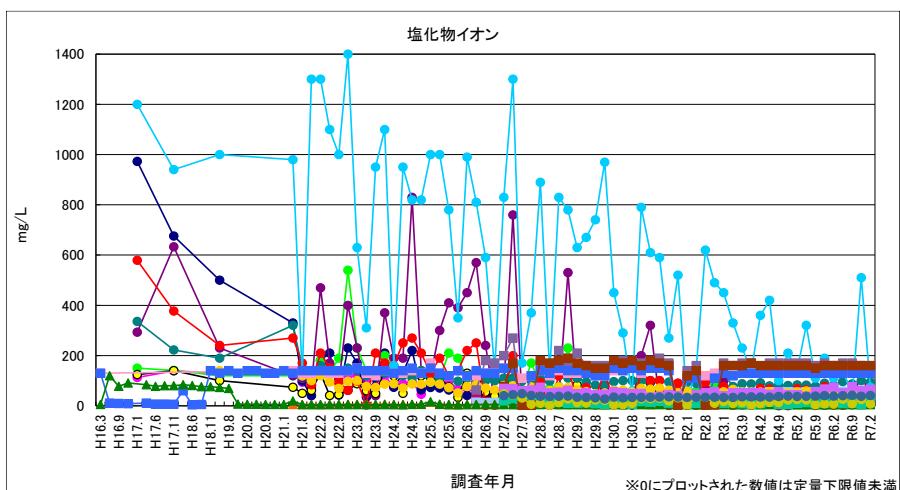


図 4-42 硝酸化合物（浸透水・地下水）



※Loc.1b の平成 18 年 8 月以前と、Loc.3 の平成 19 年 8 月以前は事業者設置井戸によるもの

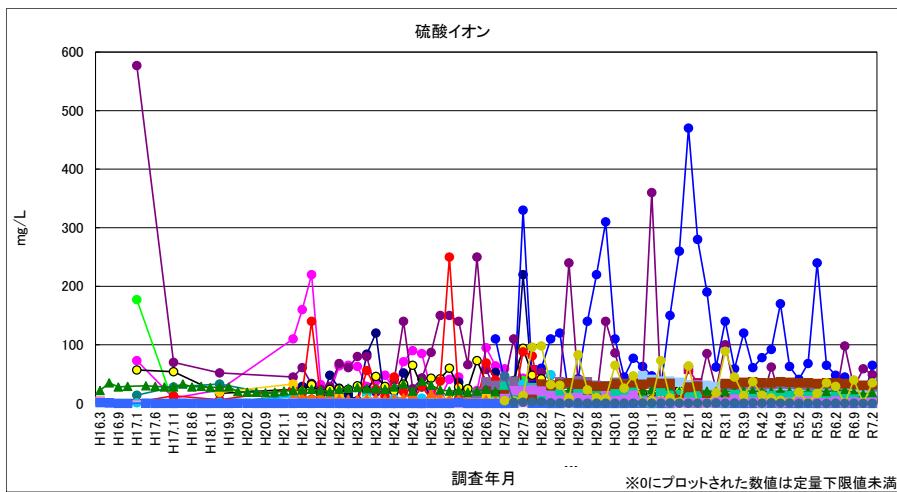
図 4-43 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素（浸透水・地下水）



※Loc.1b の平成 18 年 8 月以前と、Loc.3 の平成 19 年 8 月以前は事業者設置井戸によるもの

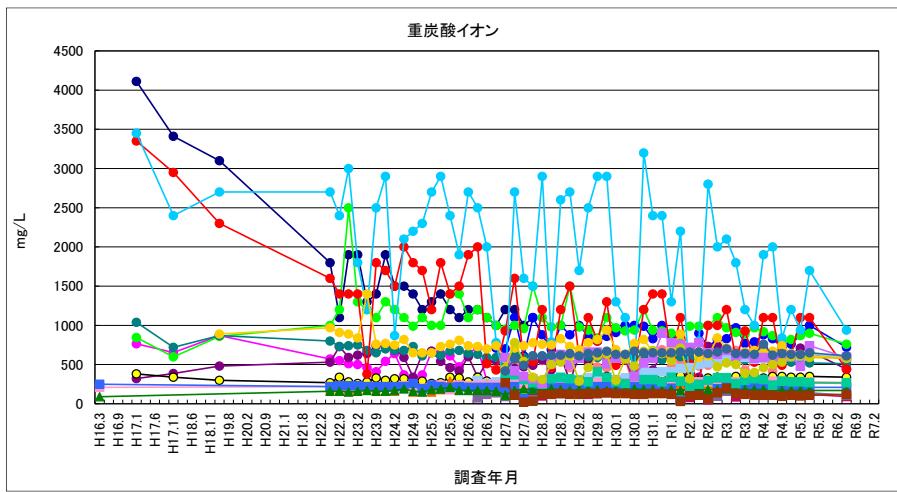
図 4-44 塩化物イオン（浸透水・地下水）





※Loc.1b の平成 18 年8月以前と、Loc.3 の平成 19 年8月以前は事業者設置井戸によるもの

図 4-45 硫酸イオン（浸透水・地下水）



※Loc.1b の平成 18 年8月以前と、Loc.3 の平成 19 年8月以前は事業者設置井戸によるもの

図 4-46 重炭酸イオン（浸透水・地下水）

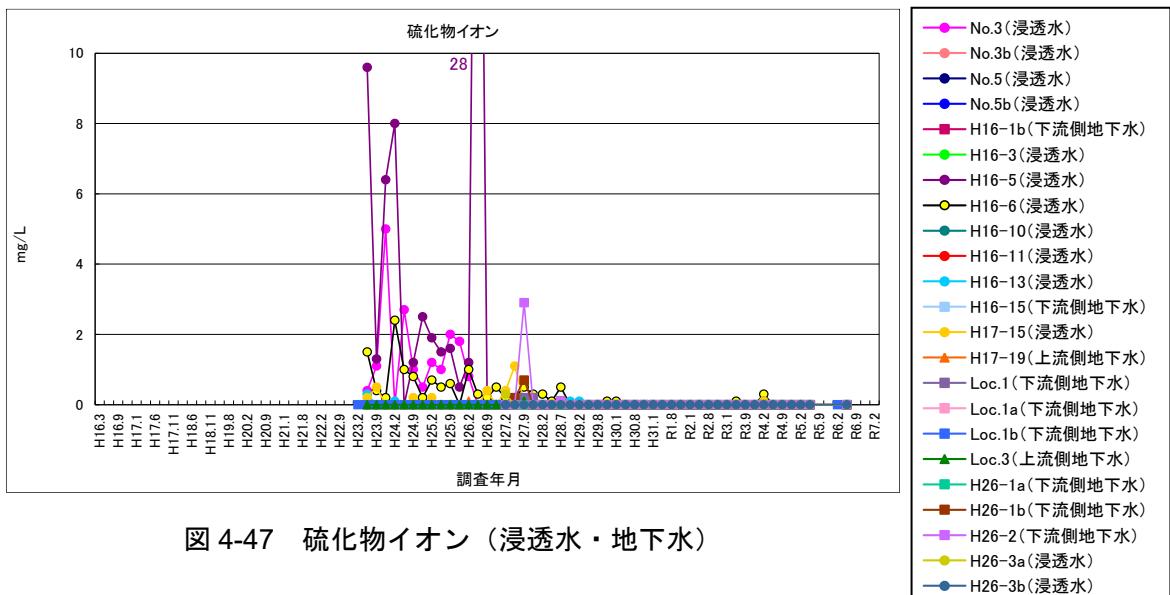
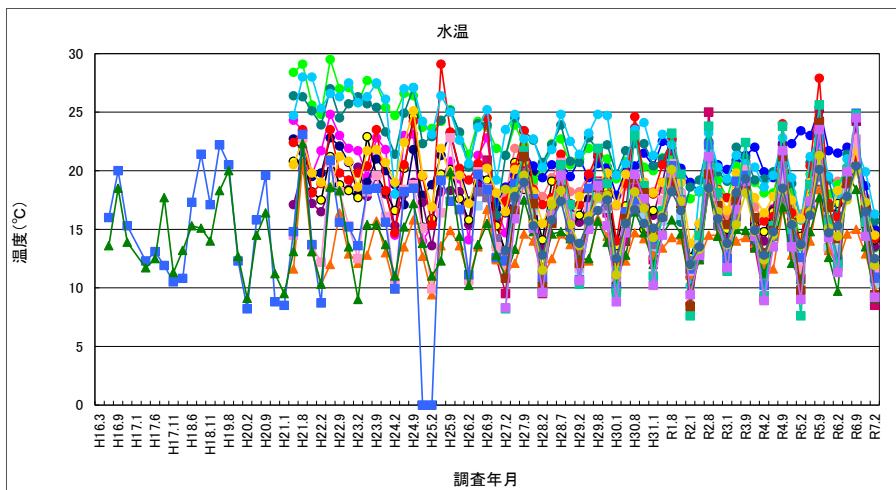
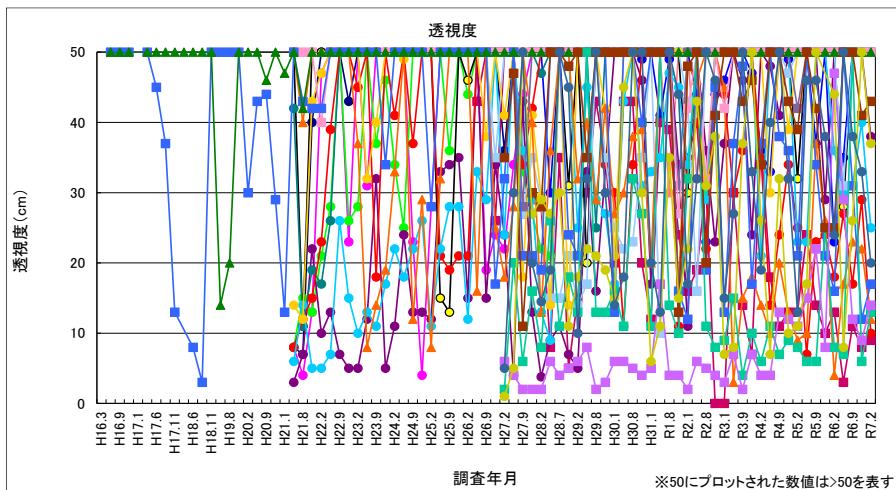


図 4-47 硫化物イオン（浸透水・地下水）



※Loc.1b の平成 18 年 8 月以前と、Loc.3 の平成 19 年 8 月以前は事業者設置井戸によるもの

図 4-48 水温（浸透水・地下水）



※Loc.1b の平成 18 年 8 月以前と、Loc.3 の平成 19 年 8 月以前は事業者設置井戸によるもの

図 4-49 透視度（浸透水・地下水）

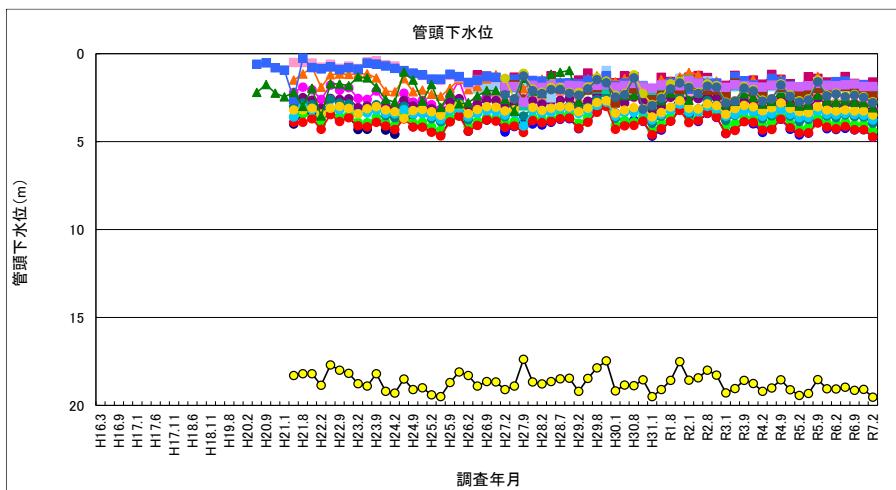
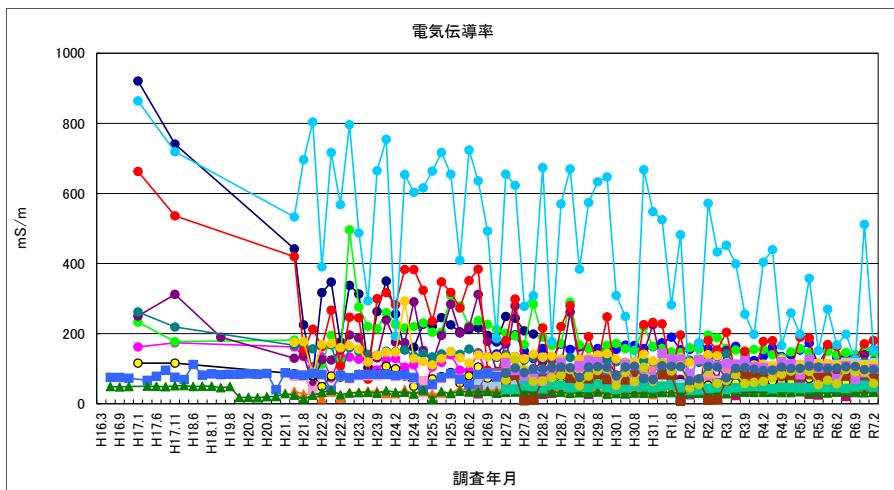


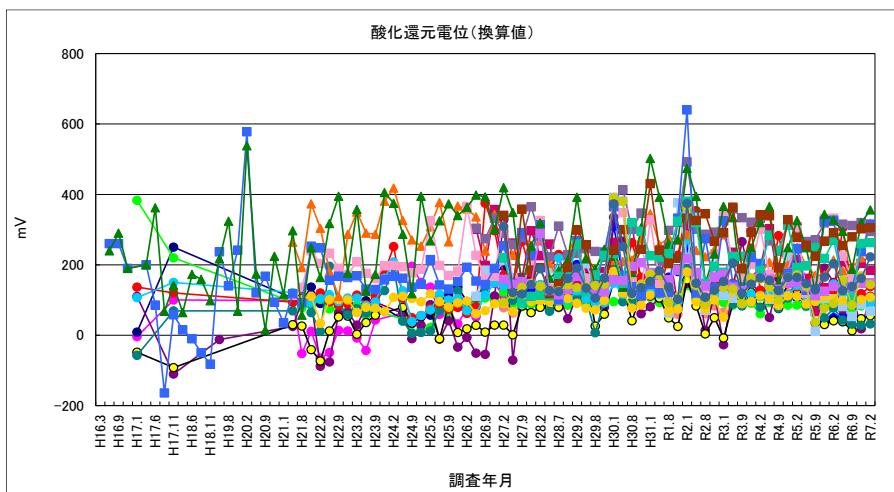
図 4-50 管頭下水位（浸透水・地下水）

- No.3(浸透水)
- No.3b(浸透水)
- No.5(浸透水)
- No.5b(浸透水)
- H16-1b(下流側地下水)
- H16-3(浸透水)
- H16-5(浸透水)
- H16-6(浸透水)
- H16-10(浸透水)
- H16-11(浸透水)
- H16-13(浸透水)
- H16-15(下流側地下水)
- H17-19(上流側地下水)
- Loc.1(下流側地下水)
- Loc.1a(下流側地下水)
- Loc.1b(下流側地下水)
- Loc.3(上流側地下水)
- H26-1a(下流側地下水)
- H26-1b(下流側地下水)
- H26-2(下流側地下水)
- H26-3a(浸透水)
- H26-3b(浸透水)



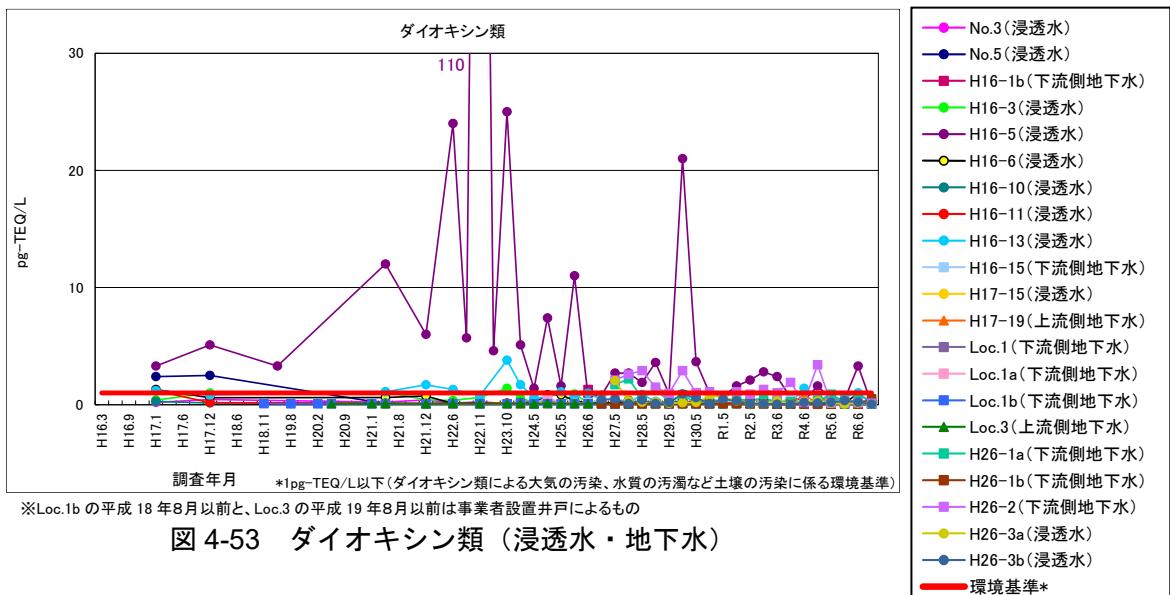
※Loc.1b の平成 18 年8月以前と、Loc.3 の平成 19 年8月以前は事業者設置井戸によるもの

図 4-51 電気伝導率（浸透水・地下水）



※Loc.1b の平成 18 年8月以前と、Loc.3 の平成 19 年8月以前は事業者設置井戸によるもの

図 4-52 酸化還元電位（浸透水・地下水）



※1 loc.1b の平成 18 年 8 月以前と、loc.3 の平成 19 年 8 月以前は事業者設置井戸によるもの

図 4-53 ダイオキシン類（浸透水・地下水）